

平成 19 年度

事業報告書

社会福祉法人楽友会

目 次

1. 社会福祉法人楽友会事業報告書…………… 1
2. 特別養護老人ホーム白楽荘事業報告書…………… 1 7
3. 白楽荘在宅サービスセンター事業報告書…………… 6 7
4. 軽費老人ホーム偕楽荘事業報告書…………… 1 2 3

平成 19 年 度

事 業 報 告 書

社会福祉法人楽友会

社会福祉法人 楽友会事業報告書

平成19年度法人事業計画に基づく事業実施状況について、次のとおり報告する。

◇ 利用者に「安心」と「安全」の提供

利用者の心身の安全を確保することは何よりも優先される法人・施設の最高の使命である。法人の経営理念・利用者権利宣言を念頭に全職員は利用者に対するサービス提供に積極的に取り組み事業計画に基づく処遇を行なうことができた。

◇ 利用者本位の事業経営を徹底するための基盤整備

平成21年度の介護保険制度の見直しに関連して今年度から白楽荘及び在宅サービスセンターを統合し介護サービス事業として基盤整備の充実を図った。会計の取扱いについては19年7月6日付厚生労働省老健局計画課長通知「指定介護老人福祉施設等に係る会計処理等の取扱いについての一部改正について」に基づき偕楽荘会計を会計基準から指導指針会計に変更し、会計基準上必要であった本部会計を白楽荘会計に移行した。今年度より楽友会は介護サービス事業の白楽荘会計（部門13）、補助金事業の偕楽荘会計で事業経営をおこなうことができた。

◇ 職員の資質の向上

介護現場から他産業への人材流出の影響は楽友会も例外ではなく人材確保に苦慮している現状のなかで、サービス提供の良否はそれに関わる職員の介護に対する熱意、心構えに大きく左右されている。良質なサービス提供を続けるためにも職員の専門的技術習得や研鑽のためサービスマナー、リスクマネジメント、感染症対策等各種研修に積極的に参加し、研修報告等で施設内で知識の共有化につとめた。

◇ リスクマネジメントの体制強化

18年8月に起きた特養ホーム虐待事件後、法人として虐待防止委員会を設置、今年度も月1回定例委員会を開催し、虐待事例の分析、対処法等検討した。また東社協主催のアクティブ福祉07で「虐待防止のために取り組んだこと」をテーマに委員会メンバー2名の意見発表をおこなった。今後も法人・施設として虐待委員会を継続して開催する。

◇ オンブズマン・心理相談・苦情処理制度の充実強化

毎月1回の定例相談日及びオンブズマン会議をもち、利用者および家族の苦情相談、解決にあたってきた。心理相談員については毎月2回相談日を設け利用者、家族、職

員の相談に対応した。またオンブズマン制度、心理相談員については広報紙、施設便り等で周知を図った。活動状況、相談内容については理事・評議員会で適宜報告した。

◇ 情報開示を図る

白楽荘、偕楽荘が19年度に受審した「福祉サービス第三者評価結果」について、とうきょう福祉ナビゲーションのホームページで公開をおこなった。また、楽友会広報紙おおぞら、法人ホームページを通して事業活動状況を掲載し、情報開示に努めた。職員に対する情報伝達方法として、社内メール、掲示板の活用により、情報の共有化を図ることが出来た。

◇ 人事考課制度のスキルアップを図っていく

人事考課制度も4年が経過し、評価方法は職員に理解され1年間の実績に対するフィードバックはスムーズに行なわれたが、中堅職員の退職も多く今後は新たな考課者に対する研修が必要となった。

◇ 地域貢献に努める

地域に密着した施設として、ボランティア、中学生の体験学習、実習生、見学者の受け入れを業務に支障ない限り積極的におこなった。また、7月26日法人納涼会を実施し利用者、家族、地元自治体、ボランティア、地域住民のご協力により盛大に開催することができた。

◇ 法人としての中、長期計画に基づく施策の施行に取り組んでいく

法人建物の一部劣化による外壁補修工事と共に、当建物の施行業者により建物外壁診断をおこなった。屋上屋根は現在特に問題はないが、建物外壁については竣工後15年を目途に大規模修繕の計画を提案された。今後PTを立ち上げ修繕計画を立案していくこととした。また、楽友会給食業務委託については理事、評議員会で可決承認され平成20年4月1日より一括委託することとなった。

◇ 施設処遇方針

利用者の複雑多様化するニーズに迅速的確に対応し、利用者の信頼と納得の得られる良質なサービスに提供に万全を期していく。
詳細については各施設のとおりであった。

◇ 各種会議の実施状況

○理事会・評議員会の開催

19年度は6回（臨時理事会1回含む）の理事会及び5回の評議員会を開催した。
11月3日開催の理事・評議員会では、理事、監事及び評議員の選任（任期：平成19年11月7日～平成21年11月6日）について可決承認された。また、11月7日の臨時理事会で新理事長に小谷田進理事が選任された。
今年度も法人経営に各位の協力を得ることができた。（開催状況は別添のとおり）

○運営会議、主任会議

運営会議は、法人管理規程に基づき毎週火曜日に定例会を持ち、理事・評議員会への提案事項の整理等法人および施設の管理運営に関わることを協議し、併せて管理職の情報の共有化を図ると共に、その協議内容は社内メールを用い全職員に配信した。
主任会議は隔週金曜日に開催し、法人内各施設の身近な連絡事項、提案事項等に大きな役割を果たした。またその内容は社内メールで配信した

○防災会議、安全衛生会議

防災会議において総合防災訓練を策定し11月13日実施した。
また、安全衛生会議を毎月第2木曜日に行ない、職員の心身の健康確保対策、快適な職場環境作り、感染症対策等検討した。職員の健康診断は10月に実施した。
（開催状況は別添資料）

平成19年度 防災訓練実施状況及び防災会議等実施状況

楽友会建物が、優良防火対象物に認定されました 認定年月日平成19年7月17日

防災訓練実施状況

実施年月日	内 容	想定出火場所等	備考
4月24日	避難訓練	震度6の地震想定	1F 利用者
5月10日	避難訓練	消火栓使用	4F 調理室
5月29日	避難訓練	震度6の地震想定	2F 利用者
6月26日	避難訓練	消火栓使用	1F ゲストルーム
7月 5日	避難訓練	消火栓使用	3F 調理室
7月16日	避難訓練	消火栓使用	4F 調理室
8月31日	避難訓練	火災報知器使用	2F 多目的室
9月 4日	避難訓練	火災報知器使用	4F 調理室
9月25日	避難訓練	火災報知器使用	1F 西側倉庫
9月18・19・26日、10月3日	自衛消防隊操法訓練		白楽荘チーム
10月17日	自衛消防隊操法大会		白楽荘チーム
10月30日	避難訓練	火災報知器使用	3F 医務室
11月13日	総合防災訓練		5F 配膳室
12月25日	ビデオ学習		地震災害と対策
1月18日	避難訓練	消火栓使用	4F 調理室
1月29日	避難訓練	消火栓使用	1F ゲストルーム
2月26日	避難訓練	消火栓使用	2F 多目的室
2月27日	AED講習会		4F 多目的室
3月29日	避難訓練	消火栓使用	2F ワーカー室

偕楽荘は毎月階を変更して避難訓練を実施した。

デイサービス及び生きがいデイ利用者は曜日を変え2ヶ月に1度避難訓練を実施した。

白楽荘は、大きな訓練や操法大会に職員が参加し実践的な訓練を行なった。

各施設に非常災害用備品を配置した。

防災会議等実施状況

6月 8日	防災用品について
11月 9日	総合防災訓練について
2月22日	AED講習会の関連学習について

安 全 衛 生 委 員 会 活 動 報 告

- * 職員の職業生活を健康な状態に保つことを基本として、職員の心身の健康確保と快適な職場環境作りを念頭に置き、平成19年度の安全衛生委員会活動を行った。腰痛をはじめとする職業上の疾病の減少・防止にも積極的に取り組んだ。
- * 年度当初の事業計画に基づく「衛生委員会」の開催日程を検討し、産業医と相談し毎月第2木曜日に開催することとした。
- * 職場環境整備については、主任会議、フロアー会議等で協議し必要があれば直近の衛生委員会で検討し、職場環境の整備に努力した。
- * 懸案であった分煙化について、室内での喫煙（指定ヶ所）は利用者のみとし、職員については室外の一定の場所とするなど、分煙の徹底を図った。
- * 常備薬については、不足品について適宜補充に努めた。
- * 職員定期健康診断について、10月1日・2日・3日の3日間、全職員を対象に、健康診断を実施した。
夜勤者については、2月に2回目の健康診断を実施した。
- * 東京都の指導検査結果に沿って、10月と3月の年2回、問診票の形式で、腰痛検査を実施した。
- * 11月に、法人嘱託医にお願いし、全職員を対象にインフルエンザ予防接種を実施した。
- * インフルエンザ流行防止として、全職員、全外来者用に使い捨てマスクを大量に購入した。

- ＊ ノロウイルス等の感染症対策として、次亜塩素酸ナトリウムを用い、手すり、トイレ等の消毒を毎日行なった。また、使い捨てマスク、使い捨てガウン、バケツ等をセットにした感染症予防セットを各部署に配置した。
- ＊ 職員のメンタルヘルスケアについて、精神的なフォローを衛生委員が行うよう努めた。また、今年度も心理相談員の積極的な活用を奨励した。
- ＊ 今年度も衛生委員による職場巡回を行った。また、簡易水道水検査、防虫駆除を 2 回業者委託し実施した。

平成 1 9 年度安全衛生委員

職 名	氏 名
委員長（理事長）	田 中 實
1 1 月 7 日より	小谷田 進
副委員長（白楽施設長）	藤 尾 誠
〃（偕楽荘施設長）	永 山 純 子
産 業 医	大 池 澄 孝
衛 生 管 理 者	荒 井 圭 太
委 員	大 森 寿 浩
〃	栗 津 ひろみ
〃	原 田 美 鈴
〃	蛭 子 誠 子
〃	田 畑 久 子
〃	岩 間 久美子
〃	森 孝 生
〃	今 野 清 子
〃	佐 伯 哲

平成19年度 改選前 理 事 名 簿

役 職 名	氏 名	任 期	備 考
理事長 評議員	田中 實	H17. 11. 7-H19. 11. 6	地域関係者
常務理事 評議員	永山純子	H19. 4. 1-H19. 11. 6	偕楽荘施設長
理 事 評議員	藤尾 誠	H19. 4. 1-H19. 11. 6	白楽荘施設長
理 事	中村勝政	H19. 4. 1-H19. 11. 6	学識経験者
理 事	澤 輝一	H17. 11. 7-H19. 11. 6	地域関係者
理 事	高野範城	H17. 11. 7-H19. 11. 6	学識経験者
理 事	畠山 陽	H17. 11. 7-H19. 11. 6	学識経験者
理 事	小谷田進	H17. 11. 7-H19. 11. 6	学識経験者
理 事	大矢宗人	H17. 11. 7-H19. 11. 6	地域関係者

※敬称略 順不同

平成19年度 改選前 監 事 名 簿

氏 名	任 期	備 考
小澤 満	H17. 11. 7-H19. 11. 6	財務諸表読解者
本山美八郎	H17. 11. 7-H19. 11. 6	学識経験者

※敬称略 順不同

平成19年度 改選前 評議員名簿

氏 名	任 期	備 考
岩田淳成	H17. 11. 7-H19. 11. 6	学識経験者
大池澄孝	H17. 11. 7-H19. 11. 6	学識経験者
菅間公子	H17. 11. 7-H19. 11. 6	地域関係者
田中 登	H17. 11. 7-H19. 11. 6	地域関係者
新美嘉彦	H17. 11. 7-H19. 11. 6	地域関係者
西川好恵	H17. 11. 7-H19. 11. 6	地域関係者
引間幹夫	H17. 11. 7-H19. 11. 6	地域関係者
山口利智子	H17. 11. 7-H19. 11. 6	地域関係者
新倉勇造	H17. 11. 7-H19. 11. 6	学識経験者
中村俊亮	H17. 11. 7-H19. 11. 6	地域関係者
高村小百合	H17. 11. 7-H19. 11. 6	地域関係者
佐伯 進	H17. 11. 7-H19. 11. 6	学識経験者
杉野志保子	H17. 11. 7-H19. 11. 6	学識経験者
関口美恵子	H17. 11. 7-H19. 11. 6	地域関係者
高村和臣	H17. 11. 7-H19. 11. 6	地域関係者

※敬称略 順不同

平成19年度 改選後 理 事 名 簿

役 職 名	氏 名	任 期	備 考
理事長 評議員	小谷田 進	H19. 11. 7-H21. 11. 6	学識経験者
常務理事 評議員	永山純子	H19. 11. 7-H21. 11. 6	偕楽荘施設長
理 事 評議員	藤尾 誠	H19. 11. 7-H21. 11. 6	白楽荘施設長
理 事	中村勝政	H19. 11. 7-H21. 11. 6	学識経験者
理 事	高野範城	H19. 11. 7-H21. 11. 6	学識経験者
理 事	田中 實	H19. 11. 7-H21. 11. 6	地域関係者
理 事	大矢宗人	H19. 11. 7-H21. 11. 6	地域関係者
理 事	小西柁子	H19. 11. 7-H21. 11. 6	地域関係者
理 事	笹尾典代	H19. 11. 7-H21. 11. 6	学識経験者

※敬称略 順不同

平成19年度 改選後 監 事 名 簿

氏 名	任 期	備 考
小澤 満	H19. 11. 7-H21. 11. 6	財務諸表読解者
本山美八郎	H19. 11. 7-H21. 11. 6	学識経験者

※敬称略 順不同

平成 1 9 年度 改選後 評 議 員 名 簿

氏 名	任 期	備 考
岩田淳成	H19. 11. 7-H21. 11. 6	学識経験者
大池澄孝	H19. 11. 7-H21. 11. 6	学識経験者
菅間公子	H19. 11. 7-H21. 11. 6	地域関係者
田中 登	H19. 11. 7-H21. 11. 6	地域関係者
新美嘉彦	H19. 11. 7-H21. 11. 6	地域関係者
前田教恵	H19. 11. 7-H21. 11. 6	地域関係者
引間幹夫	H19. 11. 7-H21. 11. 6	地域関係者
山口利智子	H19. 11. 7-H21. 11. 6	地域関係者
中嶋 理	H19. 11. 7-H21. 11. 6	学識経験者
中村俊亮	H19. 11. 7-H21. 11. 6	地域関係者
高村小百合	H19. 11. 7-H21. 11. 6	地域関係者
佐伯 進	H19. 11. 7-H21. 11. 6	学識経験者
杉野志保子	H19. 11. 7-H21. 11. 6	学識経験者
酒井武利	H19. 11. 7-H21. 11. 6	地域関係者
野坂キヨカ	H19. 11. 7-H21. 11. 6	地域関係者
松本健二	H19. 11. 7-H21. 11. 6	学識経験者

※敬称略 順不同

理 事 会 開 催 概 要 (平成19年度)

理事会 6回

回	日時	出席者	議事概要
1	平成19年5月26日(土) 午後4時20分より	田中 實 永山純子 藤尾 誠 中村勝政 澤 輝一 小谷田進 高野範城 大矢宗人 畠山 陽 監事：小澤 満 本山美八郎	1. 平成18年度各施設事業報告 2. 平成18年度各施設収支決算報告 3. 平成18年度監事監査報告 4. 就業規則の一部改定案 5. 平成18年度苦情相談実施状況 6. 平成18年度心理相談実施状況
2	平成19年9月1日(土) 午後4時より	田中 實 永山純子 藤尾 誠 中村勝政 澤 輝一 小谷田進 高野範城 大矢宗人 畠山 陽 監事：小澤 満 本山美八郎	1. 平成19年度第1次補正予算案 2. 楽友会組織管理規程別表の一部改定案 3. 平成19年度各施設状況
3	平成19年11月3日(祝) 午後3時より	田中 實 永山純子 藤尾 誠 中村勝政 澤 輝一 小谷田進 高野範城 大矢宗人 監事：小澤 満 本山美八郎	1. 評議員の選任 2. 平成19年度各施設状況
臨時	平成19年11月7日(水) 午後6時30分より	田中 實 永山純子 藤尾 誠 中村勝政 小谷田進 高野範城 小西柁子 笹尾典代 大矢宗人 監事：小澤 満 本山美八郎	1. 理事長の選任 2. 給食業務の委託 3. 期末勤勉手当等請求調停事件
4	平成20年1月26日(土) 午後4時05分より	小谷田進 永山純子 藤尾 誠 中村勝政 高野範城 田中 實 大矢宗人 小西柁子 笹尾典代 監事：小澤 満 本山美八郎	1. 平成19年度第2次補正予算案 2. 楽友会給与規程別表の一部改定案 3. 楽友会経理規程の一部改定案 4. 楽友会職員通勤車輛管理規程の制定案 5. 楽友会給食業務委託 6. 期末勤勉手当等請求調停事件 7. 平成19年度各施設状況
5	平成20年3月29日(土) 午後4時15分より	小谷田進 永山純子 藤尾 誠 中村勝政 高野範城 田中 實 大矢宗人 小西柁子 笹尾典代 監事：本山美八郎	1. 平成20年度各施設事業計画案 2. 平成20年度各施設収支予算案 3. 平成19年度各施設補正予算案 4. 楽友会給食業務委託 5. 楽友会建物総合管理業務委託契約 6. 期末勤勉手当等請求調停事件 7. 平成19年度事業報告(直近) 8. 平成19年度経理状況報告(直近)

評議員会開催概要（平成19年度）

評議員会 5回

回	日時	出席者	議事概要
1	平成19年5月26日(土) 午後2時より	田中 實 永山純子 藤尾 誠 高村和臣 大池澄孝 菅間公子 田中 登 新美嘉彦 引間幹夫 中村俊亮 佐伯 進 新倉勇造 関口美恵子 杉野志保子 高村小百合 監事：小澤 満 本山美八郎	1. 平成18年度各施設事業報告 2. 平成18年度各施設収支決算報告 3. 平成18年度監事監査報告 4. 就業規則の一部改定案 5. 平成18年度苦情相談実施状況 6. 平成18年度心理相談実施状況
2	平成19年9月1日(土) 午後2時より	田中 實 永山純子 藤尾 誠 岩田淳成 高村和臣 菅間公子 田中 登 新美嘉彦 引間幹夫 中村俊亮 佐伯 進 関口美恵子 高村小百合 杉野志保子 山口利智子	1. 平成19年度第1次補正予算案 2. 楽友会組織管理規程別表の一部改定案 3. 平成19年度各施設状況
3	平成19年11月3日(祝) 午後3時より	田中 實 永山純子 藤尾 誠 岩田淳成 高村和臣 菅間公子 田中 登 新美嘉彦 引間幹夫 中村俊亮 佐伯 進 関口美恵子 高村小百合 杉野志保子 山口利智子	1. 理事、監事の選任 2. 平成19年度各施設状況
4	平成20年1月26日(土) 午後2時より	小谷田進 永山純子 藤尾 誠 岩田淳成 菅間公子 田中 登 新美嘉彦 前田教恵 引間幹夫 山口利智子 中嶋 理 中村俊亮 高村小百合 佐伯 進 杉野志保子 酒井武利 野坂キヨカ 松本健二	1. 平成19年度第2次補正予算案 2. 楽友会給与規程別表の一部改定案 3. 楽友会経理規程の一部改定案 4. 楽友会職員通勤車輛管理規程の制定案 5. 楽友会給食業務委託 6. 期末勤勉手当等請求調停事件 7. 平成19年度各施設状況
5	平成20年3月29日(土) 午後2時より	小谷田進 永山純子 藤尾 誠 岩田淳成 大池澄孝 菅間公子 田中 登 新美嘉彦 前田教恵 引間幹夫 山口利智子 中嶋 理 中村俊亮 高村小百合 佐伯 進 杉野志保子 酒井武利 野坂キヨカ 松本健二	1. 平成20年度各施設事業計画案 2. 平成20年度各施設収支予算案 3. 平成19年度各施設補正予算案 4. 期末勤勉手当等請求調停事件 5. 平成19年度事業報告(直近) 6. 平成19年度経理状況報告(直近) 7. その他

平成19年度常勤職員入退職状況

新規採用者

(楽友会)

氏名	施設	職種	就職年月日
大 川 眸	白楽荘養護課	ケアワーカー	平成19年4月1日
橋 屋 知 佳	白楽荘養護課	ケアワーカー	平成19年4月1日
岡 林 剛 司	白楽荘養護課	ケアワーカー	平成19年4月1日
関 杏 菜	白楽荘養護課	ケアワーカー	平成19年4月1日
子 安 秀 弥	白楽荘養護課	ケアワーカー	平成19年4月1日
伊 藤 彩 歌	白楽荘養護課	ケアワーカー	平成19年4月1日
門 亜 里 沙	白楽荘養護課	ケアワーカー	平成19年4月1日
秋 澤 健 太	白楽荘養護課	ケアワーカー	平成19年4月1日
木 谷 正 美	白楽荘養護課	ケアワーカー	平成19年4月1日
小 泉 真 美	白楽荘養護課	ケアワーカー	平成19年4月1日
永 瀬 順 子	白楽荘養護課	ケアワーカー	平成19年4月1日
中 野 風 沙	白楽荘養護課	ケアワーカー	平成19年4月16日
砂 田 光 治	白楽荘養護課	ケアワーカー	平成19年6月18日
大 西 久 美 子	白楽荘養護課	ケアワーカー	平成19年7月1日
伊 藤 恭 代	白楽荘養護課	看護師	平成19年8月1日
小 林 弘 幸	白楽荘養護課	ケアワーカー	平成19年8月1日
白 石 は る 美	白楽荘養護課	ケアワーカー	平成19年8月1日
岡 庭 一 美	白楽荘養護課	ケアワーカー	平成19年8月6日
畑 野 秀 美	白楽荘養護課	ケアワーカー	平成19年8月14日
金 山 恭 子	偕楽荘	ケアワーカー	平成19年9月1日
吉 川 留 美 子	白楽荘養護課	看護師	平成19年9月1日
橘 育 子	在宅SC	保健師	平成19年9月11日
本 谷 歩	白楽荘養護課	ケアワーカー	平成19年10月1日

退職者

氏名	施設		退職年月日
酒 向 正 子	白楽荘養護課	看護師	平成19年4月30日
滝 沢 亮 平	白楽荘養護課	ケアワーカー	平成19年4月30日
浅 香 文 愛	白楽荘養護課	ケアワーカー	平成19年5月31日
高 杉 弘 子	白楽荘養護課	ケアワーカー	平成19年5月31日
有 川 三 奈 子	白楽荘栄養課	ケアワーカー	平成19年6月30日
吉 田 昭 子	白楽荘養護課	看護師	平成19年7月31日
秋 澤 健 太	白楽荘養護課	ケアワーカー	平成19年7月31日
高 橋 幸 子	白楽荘養護課	ケアワーカー	平成19年8月31日
高 橋 や よ い	在宅SC	看護師	平成19年9月10日
谷 川 清 美	白楽荘養護課	ケアワーカー	平成19年9月30日
畑 野 秀 美	白楽荘養護課	ケアワーカー	平成19年9月30日
吉 川 留 美 子	白楽荘養護課	ケアワーカー	平成19年11月30日
加 藤 勇 気	白楽荘養護課	ケアワーカー	平成20年1月31日
志 村 か お り	白楽荘養護課	ケアワーカー	平成20年2月10日
三 宅 景 子	在宅SC	ケアワーカー	平成20年2月29日
本 谷 歩	総務課	事務員	平成20年2月29日
伊 藤 恭 代	白楽荘養護課	看護師	平成20年2月29日
大 川 眸	白楽荘養護課	ケアワーカー	平成20年3月31日
永 井 富 雄	白楽荘養護課	マッサージ	平成20年3月31日
定年退職者			
斉 田 康 子	白楽荘養護課	ケアワーカー	平成20年3月31日
清 水 葉 月	偕楽荘	ケアワーカー	平成20年3月31日
安 藤 洋 子	偕楽荘	ケアワーカー	平成20年3月31日
中 村 令 子	在宅SC	ケアワーカー	平成20年3月31日
市 川 良 子	白楽荘栄養課	調理員	平成20年3月31日

平成 19 年 度

事 業 報 告 書

特別養護老人ホーム

白楽荘

平成 19 年度事業報告書

特別養護老人ホーム
白 楽 荘

1. 利用者サービス概要

- 1) 利用者定員 150名 現在員（平成20年3月31日現在） 149名
平成19年度実績

新規入所者		退荘者	
男	女	男	女
6名	20名	6名	23名
合計 26名		合計 29名	

（詳細は後掲）

※新規入所者、退荘者ともに在宅入所相互利用、措置入所含む

- 2) 申し込み待機者（平成20年3月31日現在） 276名
内訳（男性 96名 女性 180名）
（多摩市 212名 多摩市以外 64名）

3) 職 員

施設長 1名
医師 6名（非常勤）
生活相談員 2名
介護職員 60名（常勤37名、嘱託2名、非常勤29名、派遣1名）
看護職員 8名（常勤5名、非常勤3名）
介護支援専門員 5名（兼務）
事務員 8名（常勤4名、非常勤4名）
栄養士 2名
調理員 13名（常勤3名、非常勤11名）
機能訓練指導員 3名（常勤1名、嘱託0名、非常勤2名）

- 4) 敷地 5,440.25㎡

- 5) 建物 R・C8階建地下1階付 10,287.93㎡
（5F、6F、7F部分 4,836.25㎡）

2. 提供サービス報告

平成 19 年度はこれまでより更に、重介護の方々、認知症の方々、高齢の方々が増え、お一人お一人に基本的なケアを多職種協働で行なうことが重要となった。

看護師、リハビリ職員、栄養士との連携を密にとり、ご利用者へのサービスの質の向上を目指し、様々なサービスの提供に臨んだ。

今まで以上に質の高いサービスを提供する為と、慢性的な人手不足を解消する為に、3 年ぶりに学卒ケアワーカー、中途採用の正職員を 14 名採用し、各フロアーに必ず、正職員が複数名居る体制をとることが、可能となった。

又、重度化しているご利用者の現状を鑑み、看護職と介護職員の意思の疎通、情報の共有は必須であり、新人職員の育成が急務となった。(医療介護連携委員会報告参照)

重介護の方が増えた事で、受診を定期的に行なうご利用者や、緊急の容態変化に伴う受診が増え、相談員も、ショートステイご利用者の送迎との時間的調整を始め、1 台しかない車の確保と、運転業務のスムーズな遂行の為にフル回転して、ご利用者にご不便を掛けない様努力した。

平成 18 年度に新規に立ち上げた委員会にも、平成 19 年度は新人職員を登用し、我々が提供しているケアサービスの問題点に気付き、具体的な改善に繋げる様に、地道に取り組んだ。

しかし、新人研修のフィードバックを十分に実施することが出来なかった事が反省として残った。

ケアプラン充実の為の介護支援専門員の半専従化も決定したが、途中 1 名退職者が出たことから、急遽相談員もケアプラン作成に加わったものの、充実にはかなりの困難が生じた。しかし残った 2 名の介護支援専門員(兼務)の努力と、主任副主任の協力もあり、完璧ではないが、個別の介護計画の作成、実施は行なうことが出来た。

平成 18 年度に経験したノロウィルスやインフルエンザなど感染症の経験を生かし、入浴機材の購入と大規模な工事により個別の状態に応じた安全な入浴が出来ると共に、フロアー間の共同入浴を減らせた事や、予防教育、感染症マニュアル徹底で、大きな流行が生じなかった事は大きな成果であった。(感染症対策委員会参照)

1) サービスの標準化

- ①全職員に施設の「経営理念」「利用者権利宣言」を持たせ、強化月間には各フロアーの朝の申し送り後に唱和し、法人の基本を徹底確認した。
- ②個別に作成しているケアプランやADL表を活用し、各人がばらばらなサービスを提供しない様、常に主任、副主任、ベテラン層が確認した。
- ③情報の共有化を目指し、報告、連絡、相談の重要性を強調し、連絡ノートの活用や社内メールの閲覧も徹底するようにした。

【検討課題】

- ①平成 20 年度は、2 年目を迎え技術的にも精神的にも成長が著しい 19 年度採用の職員や、中堅職員としての意識が高まってきた 3 年目～5 年目の職員を中心にマニュアルの本格的改訂に臨む。
- ②平成 20 年度も新人を複数名採用予定の為、今年度効果があった事項は継続すると共に、より解り易く、徹底の出来る連絡報告体制の確立を行なう
- ③人材育成に力をいれ、特に平成 19 年度は達成度を確認する事が不十分であった為、フィードバックに力を入れ、力量の全体的な底上げを行ない、サービスの標準化を更に進める。

2) 施設サービス計画(ケアプラン)の個別サービス

- ①各フロアーに介護士兼任の施設ケアマネジャーを配置し、個別のケアプラン作成が出来るようになり、個々の課題に関して各職種間の連携はとれて来たが、途中で 1 名の退職者が出た事から、当初予定していたカンファレンスまでの完全実施は、一部しか出来なかった。
- ②定期的なカンファレンスは出来なかったが、栄養マネジメント、個別機能訓練計画とのリンクが成され、個人のニーズが一層明確になったことは成果であった。
- ③新ソフト（ウィンケア）を使用し、「短期目標」「長期目標」を明確にしたケアプランが出来るようになった。また必要に応じ週単位の表、各日々の表も作成できるようになった。

【検討課題】

- ① 多職種協同によるケアカンファレンスを細かにを行い、課題とサービス計画を明確にすること。
- ② 利用者、家族のニーズをより把握し、立案したプランを正確に説明し、同意をいただくこと。
- ③ 栄養マネジメント、個別機能訓練計画との連動を強化させること。
- ④ 施設ケアマネジャーの権限を強化すること。可能であれば専従のケアマネジャーを配属し、職員にケアプランの重要性や作成の重要ポイントを教えること。
- ⑤ 居室担当者の役割を明確にし、ケアプラン立案、実施に積極的に参画させること。

3) リスクマネジメント

- ①「事故/ヒヤリ・ハット」報告書が速やかに上がるようになった事と、ご家族には軽微な事故でも確実に連絡し信頼関係を構築する様、全員に徹底した。
- ②都への報告義務が位置づけられ、その書式を使用し、集計することができたことで、より事故への意識が強化された。
- ③リスクマネジメント委員会において、委員の取り組む姿勢がより積極的になり、個々の事故、ヒヤリハットに関して“掘り下げ”をするだけで無く、フロアーへの、指導も出来るようになってきた。

【検討課題】

- ① 「業務マニュアル」の整備を早急に行なう。

- ② 分析手法の確立と対応策の早期立案を出来るようにする。
- ③ リスクマネジメントに関する「研修」が出来なかったので、確実に実施する。
- ④ 報告の仕方で、ご家族の不安が増幅されないよう伝達の仕方の教育の徹底。

4) 苦情解決について

- ① 苦情解決委員会が定期（月に1度）的に開催され、タイムリーに苦情報告され、内容を検討し、解決に繋げることができた。
- ② オンブズマンからの報告に関して検討することが出来、現場へのフィードバックが行なわれた。

【検討課題】

- ① 日常の利用者の声を拾い上げること。
- ② 職員教育、書式の整備、マニュアル策定。
- ③ 早期解決のための手順の徹底。

5) 人材育成

- ① 日々の業務の中での研修(OJT)は、まず指導者側に留意事項を徹底し、より効率的に指導できるようにした。
- ② 各フロアーに職員教育担当を1名決め(副主任)、日々の確認表を実習生の日誌を参考に新たに作成し、本人にも一日の反省や感想の書き込みをさせ、シフト勤務の為、毎日指導者が変わる新人教育に、一貫性を持たせた。
- ③ 達成度を確認する為にマニュアルにある業務達成表を活用し、1ヶ月3ヶ月1年とフィードバック面接の予定であったが、行なえず課題を残した。
- ④ 新人教育の中でマニュアルの不備や、わかりにくさが見えてきたが、改訂の為、作業分担までは出来ず、部分的な改定にとどまった。

【検討課題】

- ① OJTの手法を中堅職員にまで範囲を広げて教育し、新人指導層を厚くする。
- ② 指導後の確認作業を必ず、実施できるようにする為、フィードバック面接の時間を勤務表に計画的に組み込むなど、実施しやすい体制の確立。
- ③ 新人教育の重要性も含め、マニュアルの再作成を実施する。

6) 研修

I 荘外研修

- ① 新人職員には「新任研修(人数が多すぎ半数は平成20年度に回されたが)」「人権研修」、「認知症の基礎研修」等に参加させることが出来た。
- ② 感染症研修やリスクマネジメントなど看護分野の研修も充実していた。
- ③ 介護支援専門員研修や相談員研修、サービスマナーリーダー研修にも参加できた。
- ④ 大勢の職員の研修参加を通し、個人の資質向上は勿論、施設全体の意識の向上に寄与できた。
- ⑥ 中堅、ベテランにも今年度は階層別の研修に参加させることが出来、来年度からの

組織力の強化に役立つ事と期待している。

⑦「アクティブ福祉 I N 東京`07」に研究発表が出来た。

白楽荘と偕楽荘の相談員が、法人全体の取り組みである「虐待防止」に関するテーマを共同で発表し、聴講する職員も出せた事は、法人全体で課題に取り組むことの大切さや、協力できる関係が構築出来てきたことであり、白楽荘職員にとっても全体を見る視点に気付いたことは収穫であった。

※ 荘外研修は費用も人手も掛かるが、ともすれば狭い世界に安住し、やがて行き詰り、離職して行ったり、意欲の低下を招く事を考えれば、大変有意義な学びの場であり、職員にとっては、施設が自分を大切に思ってくれていると思える一つの物差しでもある。長期的な観点から見れば費用対効果は大きいと思える。

【検討課題】

①期間の長い「認知症専門研修」に、人員的な問題がクリアできれば参加させたい。

②「アクティブ福祉 I N 東京`08」に向け、各々の委員会が目的意識を持って運営し、成果を挙げて、チームで参加できるようにする。

②研修報告の早急な提出の徹底と、報告会の実施。

＜19 年度荘外研修参加実績＞

主催	内容	人数	日数	延べ人数
東社協	介護支援専門員研修	6 名	2 日	12
東社協	施設ケア研修	3 名	1 日	3
多摩市	多摩市介護支援専門員研修	7 名	1 日	7
東社協	機能訓練指導員研修	1 名	2 日	2
東社協	リスクマネジメント研修	2 名	1 日	2
東社協	高品質サービス研修	1 名	2 日	2
東社協	記録に関する研修	1 名	1 日	1
東社協	介護報酬請求研修	1 名	1 日	1
東社協	身体拘束ゼロ研修	1 名	1 日	1
東社協	機能訓練指導員「拘縮への対応」	1 名	半日	1
東社協	介護福祉士現任研修	3 名	1 日	3
東社協	実習担当研修「現場指導」	1 名	2 日	2
東社協	階層別研修「指導的職員研修」	2 名	2 日	4
東社協	階層別研修「中堅職員研修」	3 名	2 日	6
東社協	階層別研修「新任研修」	4 名	2 日	8
Uピジョン研究所	新任職員教育担当者セミナー	3 名	2 日	6
東社協	人権研修	2 名	半日	2
東社協	認知症介護研修、公開講座	2 名	2 日	4

東社協	支援者パワーアップ研修	1名	2日	2
東社協	サービスマナーリーダー研修	1名	3日	3
東社協	苦情解決研修	1名	半日	1
東社協	看護職員研修	1名	2日	2
東社協	課題別講座「個人情報の活用と保護」	1名	1日	1
日本看護協会	期待される特養における看護	1名	3日	3
東社協	感染症予防講習会	1名	半日	1
南多摩保健所	感染症予防対策講習会	1名	半日	1
南多摩保健所	①疥癬②リスク管理	3名	半日	3
南多摩地域リハビリテーション支援センター	学術講習会;介護技術講習会	2名	半日	2
三菱総合研究所	重度化、看取りに対応する研修	1名	半日	1
胃ろうネットワーク事務局	胃ろうセミナー	1名	2日	2
東社協	関東ブロック老人福祉施設研究総会	1名	2日	2
東社協	アクティブ福祉 IN 東京、発表	1名	1日	1
東社協	アクティブ福祉 IN 東京、聴講	5名	1日	5
東社協	相談員研修	2名	3日	6
多摩市社協	施設ボランティア担当者研修	1名	半日	1
荘外研修		延べ人数		104

Ⅱ 荘内研修

- ①平成19年度は荘内研修を充実させたいとの思いで計画を立案したが、個別の新人教育や、業務の見直し、荘外研修に力が入り、計画どおりに実施する事が出来なかった。
- ②医療介護連携委員会、褥瘡防止研修、感染症対策委員会の研修は中身の濃い研修となり、成果も出すことが出来た。

【検討課題】

- ①今年度の反省を生かし、20年度は勤務表に研修日を入れ、確実に実施して行く。
- ②委員会が中心となり、どんな研修にしたいか案を練り自分達で行なう研修にしたい。

<19年度荘内研修参加実績>

	主催	内容	回数	延べ人数
4月	医療介護連携委員会	バイタルチェック計測方法、吸引、嘔吐物処理、座薬の挿入	3	16
5月	褥瘡防止委員会	褥瘡のメカニズム、対応、ドクターコール、酸素吸入	3	12

7 月	相談室	アクティブ福祉の模擬発表、虐待防止	1	11
9月	感染症対策委員会	正しい手洗いの実施、チェック、嘔吐物の処理	3	17
10月	感染症対策委員会	ドクターコール、ガウンテクニック	3	18
1 月	介護委員会	排泄介助技術確認	6	30
2 月	法人主催	A E D 講習	1	15
荘内研修		延べ人数計		119

7) 看取り介護

- ①平成19年度の看取り介護実績は1件であった。
- ②意思確認書ならびに緊急時の対応をご家族に確認し、書面に残した。
- ③看取り介護の研修が実施できなかった。

【検討課題】

- ① 看取り介護の研修の実施。
- ② 手順書の再確認と修正。
- ③ 各職種との連携を具体的に示す。

8) 入所調整

- ①事業計画で立てた目標のベッド稼働率98%が達成できなかったが、ショートステイにて入院者の空床利用を積極的に行い、稼働率を一定には保てた。
- ②白楽荘入所判定会議(毎月1回開催)にて情報の共有と入所順位の確認ができた。
- ③緊急入所対応マニュアルの策定はできなかったが、「緊急ショートステイ」「緊急入所(措置入所等)」に迅速に対応できた。
- ④在宅復帰希望者に関して、社会的ネットワークを活用し、カンファレンス等が開催され、ご希望通りの退所支援を行なった。

【検討課題】

- ① ショートステイを含めた入所ベッド稼働率をアップさせ、安定した状態にする。
- ② 緊急入所対応マニュアルの策定。
- ③ 定期的な入所判定会議のほかに臨時で開催する体制を整える。

9) 広報活動

- ①昨年度に引き続き、ご家族向けの会報を毎月発行することができた。
- ②法人広報誌の紙面刷新に協力し、共同で発行することができた。
- ③ホームページに最新の情報等を更新する作業に協力できなかった。

【検討課題】

- ① ご家族向けの会報を今後も発行し、タイムリーな話題を提供する。

- ② ホームページをいつも新鮮な状態にする為に、特養も協力していく方法を検討する。

10) 個人情報保護とセキュリティ

- ① 個人情報保護とプライバシーの外部研修に参加した。
- ② 施設内研修が開催できなかった。

【検討課題】

- ① 施設内研修の開催。
- ② 情報開示の手順の作成と実施。
- ③ 総務のセキュリティに関してのルール作りに、現場からの意見を述べ、協力して行く。

11) 家族間調整

- ① 第二回家族アンケートを実施した。
- ② 家族交流会をご家族と協力し立ち上げ4回の実施することができた。
- ③ 施設サービス計画に関してのニーズ把握あるいは説明の機会が少なかった。

【検討課題】

- ① 職員と家族との交流の機会を作る。
- ② 家族アンケートに対しての回答を提示する。
- ③ 施設サービス計画に関してのニーズ把握あるいは説明の機会を増やす。
- ④ 家族交流会の活動を活発にし、参加人数を増やし、ご家族同士が気楽に来荘出来、意見を述べ合う機会が増えるようにする。

12) ボランティア

- ①定期的に「ボランティア委員会」を各フロアーの代表、及びボランティアコーディネーターと共に開催し、施設側のニーズとボランティアのニーズの調整を図ることが出来た。
- ②大勢のボランティアさんに支えられご利用者の笑顔が多く見られ、生きがいに繋がっている。

【検討課題】

- ①益々介護度が高くなり、高齢化するご利用者の精神的支えとなったださる、ボランティアさんの輪をもっと広げたい。
- ②より一層の感謝の言葉と態度を、職員皆が徹底出来る様、引き続き指導を徹底する。

13) 人権擁護とサービスマナーの向上

- ①新規職員の採用時、人権擁護およびサービスマナーの研修が開催できた。
- ②法人虐待防止委員会との連動により、サービスマナー向上委員会にて具体的な事例の検討ができるようになった。

③家族アンケート実施により、ご家族の意見、要望が明確に示され、対応ができた。

【検討課題】

- ① 意見箱の実施を定期的にお知らせすること。
- ② マニュアルはあるが、簡易な手順書を整備すること。
- ③ 苦情、要望を現場にダイレクトに提示する仕組みを作ること。

14) 地域との連絡、調整

- ①多摩市は勿論、稲城市、八王子市からも、中学生の体験学習やボランティア体験の為、各学年の生徒を受け入れた。
- ②青少年の健全育成に協力すると共に福祉の現場を知って貰い、障がいのある高齢者を年長者として敬い、人間の尊厳について考える機会の一助を提供できた。
- ③松が谷地区の方々と協同企画で、本職の落語家による落語会を、4 階ホールを使用して開催し、地域の方々、楽友会全ての事業所の利用者の皆様と共に楽しんだ。
- ④9 月に近隣の保育園児の器楽演奏や歌を楽しみ、交流会を行ない、双方の喜びとなった。
- ⑤多摩グリーンロータリークラブのご紹介で、今年度も少年、少女による、ロタキッド「心の歌合唱団」による合唱や独唱を楽しみ交流を行なった。
- ⑥納涼会で松が谷子供会の子供達が、会場まで行けないご利用者の為に各フロアを回って下さり、ご利用者の笑顔と子供たちの満足感を引き出せた。
- ⑦落合小の小学生が、1 月に本格的な獅子舞を各フロア回って見せて下さり、ご利用者にはお正月らしさを堪能して頂き、子供達には、ご利用者の笑顔と喜びや賞賛に満足感を味わって貰った。
- ⑧納涼会には愛宕太鼓の方の太鼓を楽しみ、稲城市の病院の職員の方々も踊りの輪に加わって下さり、地域の子供達には無料で飲み物を飲んでもらい喜ばれた。
- ⑨松が谷地区の方々の要望により、ミニ介護者教室を開き介護が必要な方々への接し方や車椅子操作の仕方を、各種車椅子で教えた。

【検討課題】

- ①潜在的に、何かをしたいと思っていらっしゃる方、生きがいを求めている地域の方々の掘り起こしを、地域のボランティアさんと共に、施設の中で活躍していただくための方法を検討する。
- ②松が谷福祉の会始め、地域の方々とまた何か催しを実施する為今後も情報交換を行なう。

15) その他

- ① 研究発表
 - ・「アクティブ福祉 in 東京 2007」へ偕楽荘と協力し参加した。
 - 発表テーマ：「法人全体で虐待防止のために取り組んだ事」
- ② 「東京都第三者評価」受審
 - 評価実施機関：特定非営利活動法人 ごとくの会

評価実施期間：2007 年 9 月 25 日～2008 年 2 月 8 日

③ 「介護サービス情報の公表」受審

調査日：平成 19 年 8 月 20 日

④ 各種介護機器の検討、購入

・ 7 F 特別浴槽の設置、機器導入に関連する浴室、更衣室の工事の実施

16) 施設内活動実績

①各種委員会の実績

平成 19 年度事業計画に基づき、ほぼ計画通り実施された。

正職員のうち、新人職員の占める割合が多く、新人も含めて皆が委員会を受け持ち、尚且つ行事担当やクラブも担当して行かねばならぬ厳しい状況ではあったが、中堅職員も新人職員も熱心に取り組んでおり、サービスの向上に繋げる様努力した。(詳細は各委員会参照)

②各種行事の実績

2 月の合同フロアー行事は各フロアで工夫を凝らし、ご利用者に楽しんで頂いた。

年忘れ会も平成 18 年度は風邪引きの方が多く、4Fで合同実施する事は出来なかったが、各フロアでの実施が好評であった為、平成 19 年度は最初から、係が各フロアを回る形態で実施し、移動する事が困難な方々も参加する事が出来、喜んで頂いた。

天候に左右される行事（観桜会、納涼会、初詣等）もあったが、雨天の場合も予想し、準備を行ない、ボランティアさんのご協力もあり無事実施することができた。

毎月一度大きな行事を実施する事は、職員にとって大きな負担にもなるが、普段顔を合わせる事の少ない各フロアの職員同士が、準備、実施、片付けまで協力することにより、連帯感に繋がった。

個人の特技を活かしたり、思いがけないご利用者の笑顔に、大きな達成感を感じることが出来、ご利用者の喜びだけでなく職員の意欲も引き出してくれるものとなった。(詳細は行事表参照)

③認知症ご利用者への特別プログラムの実施

音楽療法は定着した活動として音楽療法士の尽力もあり、ご利用者の喜びと機能維持に役立てる事が出来た。

職員側もできるだけ、フロア内で、毎日少しずつ、小さなグループ活動や、ご家族、ボランティア様の協力を頂き、実施した。また、少数での散歩なども天気の良い日や実習生の多い時期などにも実施し喜んで頂いた。ボランティアさんの発案とご協力で、認知症の方々へ、昔懐かしい塗り絵なども少人数で行い、生き生きした笑顔が見られた。

④フロアー活動の充実

各フロア共、ご利用者の重度化、認知症の方々の増加により、基本的なサービス(排

泄、入浴、食事、口腔ケア、体位変換、離床)をしっかりと丁寧に行なう事がまず最優先とされ、特に入浴がほぼ毎日ある中で、職員はいわゆるルーティンワークに追われ文化活動や寄り添うケアは、ボランティアさんやご家族にご協力いただき実現につなげた。

感冒や発熱などは、高齢者にとって、時には大きなリスクとなる為、どんな小さな変化でも見逃すことが出来ず、観察や対応に時間を費やし、他のご利用者には物足りない想いがあった事と思う。

職員にとっても、新人を教育しながらの、ご利用者との関わりは、なかなか時間がやりくりできないことも多かった。

しかし、新人が増えたことで、荘内の空気が新鮮で、明るいものとなり、活気が出てきたことは希望に繋がっており、ご利用者にも良い影響が出ている。

⑤クラブ活動の活性化

ご利用者の状態変化により、クラブの整理や、内容の見直しなどを行なった。

自分で何かを行なったり、作ったりする活動は少なくなっているが、それでも、ボランティアさんとの交流が、生きがいになっていたり、見たり聞いたりする活動には出来る限り参加し精神活動の活性化に効果が出ている。

⑥生活環境の整備

清潔で気持ち良い生活空間を造り維持する事は非常に大切なことであるが、清掃専門の非常勤職員を各フロアーに配置しているものの、常に良好な状態を保つ事は難しい現状である。綺麗にしては汚れ、また綺麗にするとすぐ汚れている、という状態で、職員も気にしては居るが、なかなか綺麗な状態を保つ事は難しかった。

環境整備は、安全の確保からも非常に重要であり、適切なサービスを次年度も引き続き実施していかなければならない。

ご利用者にとって清潔で暖かく、心和む空間を保つ為には、ご家族の意見を伺ったり、実際に協力いただく事も必要と考える。

各フロアーが責任を持って、美化と環境整備を行なう体制と、職員の意識向上、素早い対応が次年度も課題である。

⑦日用品の保管、管理

介護度の高いご利用者の急増により、個別介護用おむつの種類を増やし、ケアの質を落とすことなくコスト面も視野に入れて使用して貰う様にした。

3 年前より始めた一括管理と表への記入を定着させ、より適切な使用が出来るようになったが、重度の方や認知症の方々の排泄パターンの違いにより予想外にパット類の費用が掛かった。

トイレ誘導用パンツに関しては、使用の性質上、今後はご家族の理解を得て個人購入も視野に入れて行きたい。

消耗品も届出制を徹底し、物品の重複やフロアーでの不必要な備蓄を減らし、必要量と在庫の管理が徹底できるよう努めた。

又、総務課の協力を得て修理のスピード化を図り、利用者の方々に不便をおかけしないように努力してきた。次年度も引き続き、管理を徹底し、尚且つご利用者に不便をお掛けしないよう配慮と改良を続けたい。

3、短期入所生活事業

平成 19 年度短期入所事業では、従来どおり介護保険法の規定に基づく、被保険者で、在宅で生活されている要介護者及び要支援者を介護者の事由（冠婚葬祭・介護疲れ・介護者の疾病など）により、一時的に特別養護老人ホーム白楽荘に入所して頂き、介護サービスを提供する事を目的に実施してきた。

前年度では、職員配置の現実的な困難さから、受け入れが難しい状況があり、稼働率が例年に比べ、低下していた。実績は別紙参照とするが、平成 19 年度は新規の職員採用を増やし、人員の配置を行う事ができた為、稼働率が改善している。（後掲）

また前年度は感染症等の影響で一時的にショートを受け入れを制限していた期間もあったが今年度は感染症対策に力を入れていた事も在り、受け入れ制限をする事態には至らず年間通して安定した受け入れを行う事が出来た。

前年同様に高齢者福祉施設の使命として、緊急性を要する事（例：要介護者の急激な状態変化による介護者不在や介護者の急な疾病など）や困難ケースに関しては多摩市や地域包括支援センター、居宅介護支援事業所の要請に関しては積極的に受け入れを行なってきた。

又今年度は虐待の疑いによるショートの利用も数件発生しており、緊急ケースではないが、潜在的な虐待の疑いの相談も数件受けており、積極的な受け入れを行なっている。

運営面では稼働率を考慮しなければいけないが、既存の入所者の要介護度も上がり、きめ細かい介護が必要となっている中、リスク管理の面等も含め、ショーステイの受け入れは施設内の現状を踏まえて判断を行なっている。

今後も情報収集に努め、地域の方々のニーズに応えるべく、出来る限り、短期入所生活事業に貢献していきたい。

4．委員会活動報告

1) リスクマネジメント委員会

委員会において、委員の取り組む姿勢がより積極的になり、個々の事故、ヒヤリハットに関して“掘り下げ”ができ、その上でフローアへの指導も出来るようになってきた。

又、昨年度から実施している事故の種類、内容、事故の起きる時間帯、場所を精

査し、より正確なものとなった。

【実施回数】

毎月1回。原則として第3金曜日の16:30～18:00

【実施内容】

- ①各フロアで頻発する事故、再発を繰り返すご利用者への対応策の検討。
- ②事故報告書の記録から見る職員のリスクに対する意識の差異への対応。
- ③離床センサー、立ち上がりセンサーへの正しい考え方と、取り外し可能な方への観察、取り外しの実施。

【検討課題】

- ①事故報告書、ヒヤリハット報告書の書き方の指導。
- ②リスクへの意識の差異の解消、各職員が当事者意識を持つ為の方策と対応。
- ③センサー類への慣れをどのように消していくか。身体拘束廃止委員会と絡めセンサー類を抑制拘束として扱っていないかどうかの研修。

< 19年度事故報告詳細 >

	5F		6F		7F		合計			5F		6F		7F	
時間	事故	ヒヤリ	事故	ヒヤリ	事故	ヒヤリ	事故	ヒヤリ	場所	時	ヒ	時	ヒ	時	ヒ
0:00	7	3	4	0	4	0	15	3	自居室	80	29	44	12	59	23
1:00	0	0	0	0	2	0	2	0	他居室	0	0	2	1	0	2
2:00	1	1	2	2	2	0	5	3	廊下	5	4	4	1	9	10
3:00	2	1	1	0	1	0	4	1	食堂	38	16	55	16	39	13
4:00	5	0	2	0	2	0	9	0	トイレ	5	2	2	2	24	5
5:00	4	2	7	1	2	1	13	4	浴室	11	1	6	0	9	1
6:00	9	2	1	3	8	3	18	8	玄関	0	3	0	0	0	1
7:00	11	6	11	1	7	0	29	7	外	1	2	0	0	0	2
8:00	8	0	3	1	9	3	20	4	その他	2	10	11	0	5	0
9:00	6	2	4	2	12	2	22	6	合計	142	67	124	32	145	57
10:00	6	3	8	1	9	7	23	9	種別	時	ヒ	時	ヒ	時	ヒ
11:00	8	2	4	1	13	6	25	9	転倒	25	16	30	9	42	1
12:00	5	5	7	2	5	2	17	9	転落	48	24	35	11	48	11
13:00	9	7	5	1	4	1	18	9	異食	1	8	4	1	1	3
14:00	5	10	10	2	6	8	21	20	誤嚥 誤飲	9	8	3	0	10	1
15:00	17	8	9	3	12	4	38	15	配薬ミ	9	1	3	0	3	0
16:00	8	2	5	2	9	6	22	10	自傷	1	0	0	0	0	0
17:00	5	1	8	0	10	3	23	4	外徘徊	0	9	0	0	0	1
18:00	5	2	6	1	8	0	22	3	紛失盗	0	0	1	0	0	0

19:00	4	2	6	3	7	3	17	8	車事故	0	0	0	0	0	0
20:00	5	1	8	3	4	1	17	5	傷等	42	0	28	1	18	0
21:00	6	4	6	1	3	3	15	8	その他	7	1	20	10	23	40
22:00	3	1	1	1	5	3	9	5	合計	142	67	124	32	145	57
23:00	3	2	6	1	1	1	10	4							
合計	142	67	124	32	145	57	411	156							

※事故：怪我をしていなくても、床に転んでいたり、ベッドの下に居た場合等。

※ヒヤリハット：床に転びそうになったが助けたとか、歩けない方が立っていた場合等。

2) 身体拘束廃止委員会

利用者個々の状態を把握し、身体拘束ゼロを実現するためにあらゆる対策を考え、検討するための委員会。

【実施回数】

毎月1回、リスクマネジメント委員会の時間内実施。

【実施内容】

- ① 身体拘束をしている利用者の確認（昨年度は0だった）
- ② ショートステイの利用者の確認。
- ③ 家族希望の場合の対策検討。

【検討課題】

- ① それぞれの対応策の標準化。
- ② 身体拘束に関しての施設内研修の実施。
- ③ ご家族の希望が抑制、拘束に当たる場合、原則として出来ない、しないという施設の方針を理解して頂く。その上で、緊急止むを得ないケースに当たるのか、十分に話し合いを行なう。

3) 苦情解決委員会

苦情解決委員会が定期（月に1度）的に開催され、タイムリーに苦情報告がされ、検討し、解決に繋げることができた。又、苦情報告書を書く習慣も整ってきた。

主任層の「苦情」に対する意識が高まり、フロー会議等で各業務に対して前向きに取り組むことができた。

【実施回数】

毎月1回、白楽荘主任副主任会議後の開催、臨時開催あり。

【実施内容】

- ① 各フローや相談室で扱った苦情を書類に記録し、課長、主任及び、相談員で解決作を検討、検証。
- ② オンブズマンからの苦情に関し、検討して、現場へのフィードバックを行なった。
- ③ 主任や担当者の苦情に対する意識が高まり、フロー会議等で職員にも苦情対応の大切さを認識させ、受け答えの仕方や誠意ある対応を啓蒙した。

【検討課題】

- ① ご利用者からの苦情の積極的汲み上げ。
- ② 一般職員が、苦情を記録に残せる様に指導と意識の教育。
- ③ 苦情を重要な改善事項として受け止め、施設運営に生かす。
- ④ 苦情のうち、全体で考えることが必要と思われる事例に関しては、社内メール等を通して全体に閲覧して貰い、再発を防ぐ。（その際個人情報に十分配慮する）

4) ケアプラン委員会（看取り介護含む）

平成19年度より現場兼任の施設ケアマネジャーを配置し、施設サービス計画に携わることとなった。ケアプラン委員会では3名の施設ケアマネジャーと統括として生活相談員が参加し、効果的な流れの構築と個別ケアの基本となる施設サービス計画をどのように策定していくかを検討し、具体的な方法を示した。

【実施回数】

毎月1回、臨時開催あり。

【実施内容】

- ① 施設ケアマネジャー設置。
- ② スケジュール改定（平成19年6月～11月、平成19年12月～平成20年5月）。
- ③ ケアプラン作成マニュアル完成。
- ④ 看取り介護ケアプランの策定。

【検討課題】

- ① ケアカンファレンス（サービス担当者会議）の実施と記録。
- ② ADL表作成担当者は居室担当者とする為、居室担当者の意識を高める。
- ③ 医療表の作成を看護職にして貰う。
- ④ ケアプラン研修（荘内研修の開催）を行なう。
- ⑤ 利用者、家族への説明、同意の実施。

5) ボランティア委員会

定期的に「ボランティア委員会」を各フロアーの委員、及びボランティアコーディネーター、相談員と共に開催し、ボランティアさんの要望をコーディネーターからお聞きし、改善策を話し合った。

平成19年度は昨年実施出来なかった「ボランティア様に感謝する集い」を開催する事が出来、感謝の思いを伝えると共に、お互いに時間帯、内容は違っても、ご利用者のQOLを高めているという点では同じであり、お互いの連帯感も生まれ、認知症のご利用者を対象に、寄り添うボランティアさんが定着し協力し合う輪が広がった。

【実施回数】

毎月1回、茶道クラブの開催日の11:30より。

【実施内容】

- ①各フロアーのボランティアへのニーズを掲げ、どの様に募集するか考える。
- ②ボランティアコーディネーターよりボランティアへの職員の対応で良かった点、改善して欲しい点を上げ、各フロアーに持ち帰り徹底した。
- ③ボランティアさんの健康を守る為にマスクやうがい薬を用意し、正しい手洗いの方法を各洗面所に写真で貼り付け、作業後は水分補給をして頂いた。

【検討課題】

- ①益々介護度が高くなり、高齢化するご利用者の精神的支えとなってくださる、ボランティアさんの輪をもっと広げたい。
- ②より一層の感謝の言葉と態度を、職員皆がきちんと出来る様にする。
- ③リネン交換のボランティアさんの募集を、引き続き多摩ボランティアセンターに依頼する。

平成 19 年度ボランティア活動状況													
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
仲間の会(リネ、縫製、行事)	23	30	30	26	23	22	29	32	20	22	20	31	308
多摩男性ボランティア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0	12
話し相手、グループ活動	28	33	35	28	38	45	39	30	28	36	39	38	417
食事介助、水分補給	12	18	16	12	10	18	20	21	17	16	22	18	200
洗濯たたみ	25	24	24	26	25	22	19	27	23	21	21	27	284
喫茶及び模擬店	16	18	18	18	16	18	18	16	18	16	14	18	204
喫茶	20	18	21	22	10	21	22	22	18	17	22	21	234
夏休体験ボラ					17	3							20

手芸(永山教会)	8	20	9	8	10	8	8	9	9	9	9	9	116
詩吟(芦田武志)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
書道(引間幹夫)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
朗読	5	8	5	7	0	6	7	4	6	6	7	5	66
松が谷ボラ(楓会)	11	12	11	11	0	11	11	11	0	12	11	0	101
茶道、松が谷在ボラ、誘導ボラ	9	9	9	9	0	9	9	9	9	10	9	9	100
お化粧	5	0	4	0	0	0	5	4	4	4	5	4	35
絵手紙	5	4	4	5	4	4	4	4	4	4	4	4	50
中学生ボランティア体験	0	0	12	6	0	0	21	19	12	0	0	8	78
行事手伝い(個人)	3	12	13	8	14	0	0	14	0	0	14	0	78
掃除、シャツ交換(個人)	2	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	8
園児、児童コンサート、ミニコンサート	0	0	3	0	0	40	6	0	0	5	0	16	70
合計(延べ人数)	174	210	218	190	168	229	220	224	170	192	199	210	2405

6)医療介護連携委員会

医療職と介護職が、ご利用者の健康と生命を守る為にお互いに、連携し、協力しながらサービスを実施する為に必要な知識、技術、情報を共有した。

看護職が中心となり、介護職員が希望する技術講習や研修を開催し、安心してケアに関われる様協力しあった。

【実施回数】

月に1回、第1金曜日、16:30～17:30(時期、内容により時間の変更あり)

【実施内容】

- ①研修の内容の依頼と実施。(バイタルチェック、酸素吸入、酸素飽和度の測定、吸引、座薬挿肛、ドクターコール〔緊急事態発生時の全館放送のこと〕等)
- ②フロアでの受講状況の把握と看護師への研修の再依頼。

【検討課題】

- ①シフト勤務の為、どうしても研修から漏れてしまう職員が出てくるが、個別での研修は難しく、もっときめ細かい計画と見直しが必要。

7)感染症対策委員会

様々な感染症に罹りやすいご利用者が多く、もし罹患したら、重篤になりやすく、伝染もしやすい事から、18年度の教訓を元に後手に回るので無く、予防を第一に考え、様々な方法を実践した。また、看護師に積極的に研修に参加して貰い、介護職への伝達研修を実施して貰った。法人の感染症対策委員会とも連動して効果的に動けた。

【実施回数】

毎月1回医療介護連携委員会後に開催。17:30 から 18:00(時期、内容により時間の変更あり)

【実施内容】

- ①感染症の学習。
- ②有効な予防策の学習。
- ③うがい、正しい手洗いの研修、掲示、実施。
- ④ノロウイルス専用のバケツ、使い捨ての予防着、手袋、マスク、使い捨て雑巾の準備。
- ⑤嘔吐物の取り扱いの学習と手順の掲示。
- ⑥次亜鉛素系漂白剤を希釈し、手すり、トイレを毎日、消毒した。
- ⑦外来者への手洗い、マスク着用、うがいの励行の依頼。
- ⑧外来者のうち、風邪症状のある方の面会遠慮のお願い。
- ⑨下痢や嘔吐があった場合、ノロウイルス対応を念の為にう。

【検討課題】

- ①法人の感染症防止委員会との協働をより綿密に行なう。
- ②職員から感染しない様、職員の健康管理の徹底と異常があった場合の受診の徹底。

8)褥瘡（じょくそう）防止委員会

褥瘡（床ずれ）リスクの高い方が多く、ちょっとした事や短時間で、大きな褥瘡に繋がりがやすい。

排便時間の把握、丁寧なおむつ交換や清拭の仕方、体位変換の方法と時間など、個別に対応することが重要であり、大きな褥瘡になる前に予防する為の観察は欠かせない。褥瘡は絶対に作らないという決意の基、個別の対応を講じた。

【実施回数】

毎月1回医療介護連携委員会、感染症対策委員会の続きで開催。17:30から18:00(時期、内容により時間の変更あり)

【実施内容】

- ①リスクの高い方と、過去に実際に褥瘡になった方、現在なりそうな方をフロア一別にリストアップした。
- ②その方の状況により、離床時間の管理や、体位変換の時間、方法を検討実施した。
- ③褥瘡の程度によりオムツ開放や、シャワーボトルでの清拭、軟膏の塗布等を実施した。
- ④排便時間を把握し、特に軟便の方には出来るだけ、早急に対応した。
- ⑤毎月、その後の状況を報告し、新たな褥瘡を作らない事、治癒していく過程を報告し、効果的なケア方法を研究した。

【検討課題】

- ①これから益々重度の方が増え、褥瘡リスクが高い方が多くなることが考えられる。栄養ケアマネジメントとの協働が必要となる為、会議に栄養士も参加して貰い、多方面からのアプローチをして行く。

9)介護委員会

定期的に「介護委員会」を開催し、食事・排泄・入浴の三大介護のサービス向上を目指し、研究・提案を行い、ご利用者の状態に合わせた快適な生活を送れるよう介護力の強化に取り組んだ。又、介護用品の補充、研究、メンテナンスに努めた。

【実施回数】

毎月1回、第3木曜日。16:30～18:00(変更あり)

【実施内容】

- ①7Fご利用者の状態変化に伴い、7Fに機械浴購入を希望しており、寒くならないうちに実現した。
7Fは一般浴と中間浴しか無く、スペースが他のフロアと違い狭い事と、浴室、更衣室の改装も含めた大掛かりな改装が、必要であり大きな課題となっていた。ご利用者の安全安楽を考え、福祉機器展等で様々な入浴機器の研究をし購入にこぎつけたことは、ご利用者は勿論、日々、無理を重ねリスクと向き合いながら入浴介助を行っていた職員にも、安全安心な入浴となった。
- ②各フロア共、経年劣化で介護機器の故障が見られる為、修理すると共に、各フロアに機具の扱いを丁寧にするよう呼びかけ、扱い方の徹底を図った。
- ③入浴物品の購入(ストレッチャーマット、一般浴保温用の蓋作成、洗身ミトン、臀部洗いタオル、他)。ボランティアさんに依頼しガーゼで洗面タオルを作成していただいた。
- ④排泄介助で、ご利用者の不快感を軽減する為に、また、おむつ交換技術の向上の為、各フロアにておむつ交換の確認・研修を行ない、表に記録し各人の力量に合わせて、その都度必要に応じ指導を実施した。
- ⑤7F排泄交換車が経年劣化で破損した為、新しい排泄交換車を購入した。購入に

際しては、美観を損ねない色(ピンク)、表からオムツ用品がむき出しにならない工夫(ボックス型ですっきり)、臭いがもれない事(全て、ボックスの中に蓋つきで納まるもの)等条件を全てクリアできる物を購入する事が出来た。(数年前から福祉機器展に行き探していた)

⑥食事用おしぼりは昨年から始めたフロアー別に違う色にする事を徹底すると共に、汚す方が多くなったことを考慮し、十分な量を購入した。

⑦ご利用者の食事用エプロンの購入を実施した。ご自分で食べることを大切にしたいので、汚れを気にせず食べられるよう厚手のエプロンは特に多く用意した。

【検討課題】

①オムツ交換車の経年劣化は各フロアー共進んでおり、又、沢山のバケツをぶら下げたり、はみ出した汚れ物がぶら下がっている状態は美観の点からも衛生面からも好ましくなく、大幅に破損した順に生活の場に相応しい物に買い替えをする。

②6 F の中間浴の購入を実施する。(現在は5 F の中間浴を共同で使用しているが、感染症の際は使用できない事と、5 F の中間浴も経年劣化が始まっており故障すると入浴が出来なくなる)。

10) レクリエーション委員会

毎月1回のレクリエーション後に反省会と次回からの企画活動予定を練り、楽しく、残存機能の維持や、精神面の活性化を促した。

【実施回数】

毎月第2金曜日に4階多目的ホールにてレクリエーション終了後。およそ16:30から。

【実施内容】

①反省会と次回からの企画活動予定を練り実施の準備をした。

②ゲーム大会の計画、立案、準備、実施をした。その際、ご利用者が楽しめるゲーム、職員やご家族が行ない、見て楽しんで頂くゲームなど様々に工夫をした。

③物品管理や予算管理を行なった。

【検討課題】

①相談員と共に年間行事の立案、企画、運営を行なう予定を立てたが、シフトや、フロアーの業務の多忙さから、出来なかった。

②白楽荘の会報を相談員と共に作成する予定であったが、出来なかった。今後は、紙面の一部を任せるなど、大きな負担にならないよう、工夫して協力しあう。

11) 機能訓練委員会

定期的に機能訓練指導員、看護師、ケアワーカー、生活相談員と利用者の個別機能訓練計画や、実施状況、介助していく中での職員への技術指導について等、検討を行った。

【実施回数】

月1回。第2火曜日 16:30～17:30

【実施内容】

- ① 前月の実施状況確認。
- ② 個別機能訓練計画の実施状況確認。
- ③ 問題ケースの検討。
- ④ 個別機能訓練計画の流れの確認と修正。
- ⑤ マニュアル作成。
- ⑥ 物品管理方法の検討。(特に車椅子の管理や清掃)

【検討課題】

- ① 施設サービス計画との連動。
- ② 職員の介護技術、特に移乗、移動介助技術の向上。
- ③ アセスメントの見直し。

12) 白楽荘独自の会議

① 白楽荘主任会議

主任、副主任もシフトに入っており、なかなか顔を合わせる時間が無いため、月に一回は一同に集まり、各フロアーや看護師の現状報告、共通の課題について話し合いを行なった。

サービスの標準化を図ることや、介護力やモラルの向上、職員指導の理念や方法について統一した見解を持ち、また広い視野を持って、リーダーシップを取れるように話し合いを実施し、フロアーに持ち帰って職員の指導に生かした。

② 白楽荘全体会議

新施設長になり、新職員も大勢入職したことで、新しい白楽荘をこれから作り上げ、全員が施設長の方針を理解し、共通の目的に向かって進むことが出来るよう試験的に、全職員(非常勤職員も含む)での会議を試行した。

夜しか集まることが出来ない為、大勢の参加があるかどうか不安であったが 7割近くの職員が参加し、1つのチームとしてまとまるきっかけになり得るのではないかと感じた。施設長と面と向かって話す事で、施設の方針も伝わりやすくなった。

只、多忙な中で、2ヶ月に1回実施するのか、もっと間隔をあげたほうが良いのかは、次年度の課題として残った。

③ 白楽荘フロアー会議

開催の頻度はまちまちであるが、ご利用者の状態変化に伴い、フロアー業務を見直し、よりきめ細かいサービスの提供を行なうために絶対必要な会議の為、非常勤職員も含めてフロアーの全職員が集まり、話し合いを行なった。

身近な業務見直しや、ご利用者個々の状態変化に伴う、サービスの見直しまで、かなり細かく、突っ込んだ話合いとなった。

普段感じている疑問や不満も会議の場で、きちんと意見として述べる事が必要で、この会議で一人一人が責任を持ってサービスを提供して行くことや、チームワークの重要性を認識してもらっている。

5. 各フロアー活動報告

1) 5 F フロアー活動報告

今年度は介護サービス計画書に基づいた個別対応に努め、日々の生活を穏やかに送っていただけるよう活動した。

グループ活動「歌の会」ではご家族のボランティアを中心とし、輪が広がり多数のボランティアの方々の協力が得られ、大勢のご利用者が参加できる活動になり、懐かしい唱歌や出身地の民謡等を歌い、キーボードやウクレレなどの楽器も加わり、より楽しい雰囲気の中で交流する事が出来た。

絵手紙ではボランティアの方々が、四季の花や季節の物を持って来られ、季節を感じながら絵手紙を書く事ができた。

穏やかな日には散歩に行き、外の空気や四季の変化を感じ気分転換を図った。

①グループ活動報告

散歩	年間 8 回実施	平均参加人数 8 人
絵手紙	年間 11 回実施	平均参加人数 8 人
ボランティア歌の会	年間 42 回実施	平均参加人数 18 人

②フロアー行事 10 月

「ちゃんこ鍋、フルーチェ作り」

昔は皆さんが行なっていた料理を通し、昔話を聞いたり、出来ることを実施して頂き、皆、で楽しみながら準備から、食べることまでを楽しむ。

ちゃんこ鍋の材料や、フルーチェの材料を包丁で切ったり、野菜の型抜きをし、調理を行なった。出来上がったちゃんこ鍋を囲み楽しい食事会ができた。

余興として相撲大会が行なわれ、利用者、御家族、職員で共に楽しむ時間を過ごせた。

2) 6 F フロアー活動報告

今年度は介護サービス計画書に基づき個別対応に努め、個人の日常生活を大切にしたい安全で安心して生活出来ることを第一に考えケアの提供に努めた。

少数で、よりきめ細やかな活動が必要となり、多くの小グループ活動も、ワーカーだけでは個別の充実が難しく、ご家族やボランティアの方々の協力を得て、安心して参加して頂き楽しい時間を過ごしていただく事が出来た。

①グループ活動報告

生け花	年間 2 4 回実施	平均参加人数 8 人
化粧	年間 6 回実施	平均参加人数 1 0 人
外気浴	年間 6 回実施	平均参加人数 7 人
ボランティア歌の会	年間 4 8 回実施	平均参加人数 1 0 人
塗り絵	月 1 ～2 回実施	平均参加人数 5 人
音楽鑑賞	毎日個別実施	平均参加人数 5 人

②フロア行事 10月

職員による劇「水戸黄門」に悪代官をやっつける役で利用者全員が参加して頂いた。
主役の黄門様は利用者が扮し、職員も扮装に気合を入れ、楽しんで頂けるよう工夫した。

又、水戸黄門等の歌を一緒に歌い、ご利用者、ご家族、職員皆で楽しい時間を共有することが出来た。

午後は、綺麗にトッピングされたプリンと甘い紅茶を頂きながら、水戸黄門の話に花が咲き、楽しい1日を過ごした。

3) 7Fフロア活動報告

今年度も個々のご利用者の日常生活におけるニーズと、ケアプランに沿った個別対応を重視し、穏やかで心豊かな日々を送って頂ける環境を作る事を目標に活動してきた。

昨年度と同様にご利用者の加齢も含めてのADLの低下、一人一人に対するケアの質、量共に増加してきており、その分排泄、食事、入浴に時間がかかる様になった。

その様な状況の中でも職員が落ち着いて話に耳を傾けたり、声がけをする等の努力を行った。

またボランティア様のご協力のもとに、毎週水曜日には歌の会が行なわれた。

昨年同様に1時間いろいろなお話(季節や昔の事)を交えながら、季節に合った歌で季節感を感じて頂いたり、唱歌等で昔の事を思い出して頂いたりし、楽しい時間を過ごされている事がご利用者の笑顔や笑い声から感じ取れた。

生け花については、参加者は少なくなったが、皆さん独創的に活けておられ、活け終わって各テーブルに飾ると、周りの方にも喜んで頂けた。

その他の活動についても天候の良い時は少人数ずつ、散歩にお連れし、外の空気や季節の変化を感じて頂いた。

数名だが、希望者には春と秋に買い物や食事に多摩センター迄お連れして、気分転換を図り、とても喜んで頂けた。

昼食前のラジオ体操、口腔体操も定着しており体を動かしながら、誤嚥の防止にも効果が出ている。

行事等の写真を掲示し、ご家族にも見て頂き白楽荘での様子のご報告を兼ねて、ご利用者同士の会話にも一役買っている。

① グループ活動報告

生花	年間 12 回実施	平均参加人数 7 人
ボランティア歌の会	年間 48 回実施	平均参加人数 12 人
ラジオ体操、口腔体操	毎日昼食前に実施	ほぼ全員
散歩、外気浴	年間 7 回実施	平均参加人数 10 人

②フロア一行事

・10月 <豚汁とおにぎりの食事会>

昔、家事を行っていた頃のことを思い出して頂き、職員と一緒に野菜を切り、昼食作りを行い、食事職員と一緒に会話を交えながら食べることで、楽しく昼食を召し上がって頂くことを目的として開催した。

まだ手が動く方は上手に包丁を使い、野菜を切り、笑顔も見られ、実際には切ったりできない方々もその様子を見て、懐かしそうに話をされていた。

出来上がった所で拍手も起こり「美味しいね」と楽しまれていた。

4)実習生受け入れ

福祉専門学校中心の受け入れから、高校の福祉科、大学生、通信教育の学生まで幅広い実習生を受け入れた。専門学校は、クラス数を減らしたり、中には廃校に追い込まれる学校も出てきており、その中で、真摯に福祉を学びたい、という学生を受け入れ、将来の福祉を担う人材を育成する事は介護福祉士として、本来業務であるとの観点から、現場の職員には全面的に協力してもらった。

介護度の高い方々のケアを実践しながら、学生も指導するという、大変過重な業務となっているが、実習担当職員を中心に、多忙な中でも、丁寧に優しく、時に厳しい指導は多くの学校に評価して頂いている。

又、実習生を教える中で、職員も成長していくことが出来ると感じた。

白楽荘に優秀な人材を採用する為にも、最も確実な方法であると考え。

これからも現場の状況を見極めながら、多くの実習生に現場の厳しさだけでなく、喜びも感じて欲しいと職員一同願っている。

20年度の実習予約もほぼ満杯の状況である。介護福祉士は勿論のこと、20年度は相談員の体制が充実してきている事から社会福祉士の受け入れも一層尽力して行きたい。

〔次ページに実績表あり〕

＜19 年度受け入れ実績＞

学校及び機関名		実習目的	人数	日数	回数	延べ人数
町田福祉専門学校	第 1 段階	介護福祉士	2	15	1	30
	第 3 段階	介護福祉士	3	20	1	60
町田福祉専門学校総合科	第 2 段階	介護福祉士	3	20	1	60
東京福祉専門学校	第 1 段階	介護福祉士	1	21	1	21
	第 2 段階	介護福祉士	2	21	1	42
	第 3 段階	介護福祉士	3	21	1	62
東京福祉専門学校(Ⅱ部)	第 1 段階	介護福祉士	2	18	1	36
東京福祉保育専門学校	第 1 段階	介護福祉士	2	12	1	24
	第 3 段階	介護福祉士	3	21	1	63
世田谷福祉専門学校	第 1 段階	介護福祉士	2	11	1	22
貞静学園保育福祉専門学校	第 1 段階	介護福祉士	2	8	1	16
	第 2 段階	介護福祉士	3	19	1	57
大妻女子大学	第 3 期	介護福祉士	3	29	1	87
八王子技術専門校		ヘルパ－1 級	3	4	4	48
東京都立南多摩看護専門学校		老年看護学	2	3	3	18
東京福祉大学		社会福祉士	2	12	2	48
NHK 学園		介護福祉士	2	10	2	40
二階堂高校	1 年生(Ⅰ)	ヘルパ－2 級	3	3	1	9
	2 年生(Ⅲ)	ヘルパ－2 級	6	8	1	48
首都大学東京	3 年生	社会福祉士	1	12	1	12
東北福祉大学通信課	3 年生	社会福祉士	1	24	1	24
東京福祉保育通信課	2 年生	社会福祉士	2	12	1	24
田園調布学園大学	第 1 段階	介護福祉士	2	18	1	36
	第 3 段階	介護福祉士	2	24	1	48
東京家政学院大学	第 3 段階	介護福祉士	2	19	1	38
目白大学	第 2 段階	社会福祉士	2	6	1	12
合計						985

平成 19 年度行事報告

	行事名	場所	参加人数(延べ)		内 容
			利用者	15 名	
03 月 27 日	観桜会	高岸公園	利用者	18 名	桜が早く開花した為、日程を 18 年度に前倒しにした。午前、午後 2 班に別れ、散歩をしたり、桜を見ながら歌を歌ったり、職員の踊りを見て楽しんだ。この年は 6F 風邪引きが多く不参加。29 日は室内の桜を見ながら食事会を各フロアで行なった。
03 月 29 日			利用者	60 名	
05 月 16 日	ゲーム大会	4F ホール全体	利用者	60 名	ご利用者が楽しむゲーム、職員やご家族が行ない見て楽しむゲームなど多種類のゲームを用意し、身体を動かしたり、応援をして皆さんに楽しんで頂いた。
06 月 13 日	ホーム喫茶	4F ホール全体	利用者 家族	146 名 38 名	喫茶名「水無月」メニュー24 種類 (飲み物含む)
07 月 26 日	納涼会	玄関前	利用者 家族	58 名 32 名	玄関前に櫓を立て、提灯を飾り、白楽荘、偕
08 月 22 日	ホーム喫茶	4F ホール全体	利用者 家族	140 名 44 名	喫茶名「竜宮城」メニュー26 種類 (飲み物含む)
09 月 09 日	敬老会	式典 (4 階) 会食 (各階)	利用者	150 名	4 階で式典を行い、ご家族も参加し各階にて会食を行った。
09 月 19 日	墓参	小平霊園	利用者	8 名	小平霊園に出掛け、お墓参りを行った。
11 月 14 日	ホーム喫茶	4F ホール全体	利用者 家族	134 名 34 名	喫茶名「みのりの秋」メニュー23 種類 (飲み物含む)
12 月 12 日	年忘れ会	各フロア	利用者	138 名	職員が各フロアを回り、楽器の演奏や踊りを披露する。
01 月 09 日	初詣	高幡不動尊	利用者	8 名	高幡不動尊へマイクロバスの外出し参拝をし、出店や商店で買い物を行う。ボランティアさん(男性ボランティア会議)毎回 4 名お手伝いして下さった。
01 月 16 日			利用者	7 名	
01 月 23 日			利用者	9 名	
02 月 13 日	ホーム喫茶	4 階ホール全体	利用者 家族	155 名 55 名	喫茶名「かまくら」メニュー24 種類 (飲み物含む)
03 月 15 日	コーラス鑑賞会	4 階ホール全体	利用者	40 名	ロタキッド(地域の子供合唱団)の慰問が有り、コーラスを鑑賞する。白楽荘だけで無く偕楽荘、ディサービスの方々も参加し満員だった。

5) クラブ活動報告

①書道クラブ

毎月第1火曜日、7～8種類のお手本の中から数種類を選び、先生の指導のもと練習を行った。そしてその中から1枚清書を仕上げてもらった。清書は各フロアーに掲示し、ご本人の達成感を高め、他の方々とのコミュニケーションにも一役買っていた。

新しく参加される方も増えている。

1月には書初めを行い清々しい気持ちを味わい、仮巻きに表装して平素とは異なった雰囲気共有し、各フロアーに展示してクラブ員以外の方々にも楽しんで頂けた。

9月には色紙書きを行い、いつもとは違った書道を楽しんで頂けた。

毎月、利用者の写真を撮影し併せて展示する予定であったが、出来なかったもので、次年度は機会を作り実施したい。

平成19年度購入物品

品 目	単 価	数	小 計	合 計
半紙	¥2,400+¥2,800	2	¥5,200	
色紙掛	¥10,000	25	¥25,000	
仮巻き	¥260	20	¥5,200	
墨汁	¥720	4	¥2,880	
八つ切り	¥560	1	¥560	
大筆	¥1,200	10	¥12,000	
小筆	¥160	10	¥1,600	
送料・消費税	¥2,764		¥2,764	
				¥55,204

平均参加人数 21人

②詩吟クラブ

毎月第二土曜日、芦田先生のご指導のもとに詩吟の練習を行った。先生の選んだ詩吟と利用者さんの好きな詩吟を独吟または合吟した。

また吟ずるだけでなく、詩の意味や情景などを話し合ったりし手楽しんで頂いた。

実施内容

実施日	参加人数	活動内容
4月14日	6名	「春暁」「江南春」etc
5月12日	8名	「春暁」「太田道灌蓑を借るの図に題す」「偶成」 「富士山」「川中島」「桜花詞」
6月9日	8名	「川中島」「金州城下の作」etc
7月14日	8名	「名槍日本号」「金州城下の作」「偶成」「川中島」

8月11日	8名	「九月十日」「名槍日本号」「城山」「偶成」 「富士山」「川中島」「四十七士」「白虎隊」
9月1日	7名	「九月十日」「偶成」etc
10月13日	10名	「名槍日本号」「金州城下の作」「九月十日」 「偶成」 「太田道灌蓑を借るの図に題す」「富士山」
11月10日	8名	「静夜思」「偶成」「富士山」
12月8日	9名	「名槍日本号」「静夜思」「四十七士」「富士山」 「偶成」
1月12日	8名	「名槍日本号」「寒梅」「富士山」「金州城下の作」 「太田道灌蓑を借るの図に題す」「江南春」
2月13日	8名	「寒梅」合吟 独吟 「春暁」合吟 独吟
3月8日	6名	「名槍日本号」「春暁」「富士山」「九月十日」 「川中島」「春夜の桜」

費用 先生お車代 5,000円×12 計 60,000円

③レクリエーション

毎月第2金曜日に4階多目的ホールにて、様々なゲーム・足湯や収穫体験、季節にあった歌を歌うなどを中心に活動を行った。

レクリエーションに参加していただくことにより、達成感や、活動する喜び、他のフロアーの利用者様や職員と交流でき、生活に潤いを持って頂けたと感じている。

また、5月に多目的ホールにて開催したゲーム大会は、大規模なゲームや職員の出し物を楽しみ、ご家族にも参加していただくなど、全体行事として大変盛り上がり、利用者様・ご家族・職員共々楽しめる行事となった。

ゲーム大会参加人数 61名
毎月の平均参加人数 15名。

平成19年度購入物品

ゲーム大会ランチョンマット代 1,050円
ゲーム大会送り物ゲーム品代 1,575円

合計 2,625円

④朗読クラブ

毎月第三金曜日に多摩ボランティアセンターのお力添えで地域のボランティアグループの方々に来荘して頂き、紙芝居や絵本の朗読等を行っていただいた。

時にはハーモニカ等、楽器の生演奏で唱歌を歌い参加利用者にも楽しんで頂いた。

新しいボランティアグループも加わり、視覚的なものやリズム遊び、手遊び等を組み込んで下さり、参加されたご利用者も大変喜んで下さった。

<参加ボランティアグループ>

朗友座・ケボの会・ひなの会・多摩フィルハーモニカの皆様・藤巻様・庄司様

<活動内容>

実施月日	活動内容	参加人数
4月20日	紙芝居「よだかの星」他2話、歌、春の歌3曲	14名
5月18日	絵本「3枚のお札」他1話 歌「こいのぼり」「茶摘歌」	15名
6月15日	歌「汽車」「夏は来ぬ」紙芝居「泣いた赤鬼」	12名
7月20日	絵本「大泥棒になったひこいち」「泥棒の手」他2話 手遊び歌「どんぐりころころ」紙芝居「舌きり雀」	10名
8月	お休み	
9月21日	紙芝居「絵にかいたねこ」「おばけのひっこし」「めだらけ」	15名
10月19日	歌「赤とんぼ」「里の秋」他秋にちなんだ歌 紙芝居「手袋を買いに」	16名
11月16日	ハーモニカ演奏「汽車」「里の秋」「荒城の月」「丘を越えて」「紅葉」「焚き火」「月の砂漠」「夕焼け小焼け」「故郷」他	14名
12月21日	読み聞かせ「からすとすずめ」「狐の嫁入り」「もちもちの木」歌「幸せなら手をたたこう」	12名
1月18日	紙芝居「ゲンさんの天のぼり」絵本「持ち持ちの木」お話「梅ノ木ムラのおなら爺さん」	16名
2月15日	紙芝居「ざしきわらし」	18名
3月21日	ハーモニカの演奏「早春賦」「バラが咲いた」「星影のワルツ」「さくらさくら」「春の小川」「春がきた」「チューリップ」「みかんの花」他3曲	16名

⑤手芸クラブ

毎月第4火曜日に永山教会婦人部のボランティアの方々（約10名程度）にご協力をいただき、ご指導のもと作品作りを行ない、きめ細やかな活動ができた。

また、その季節や作品に応じた歌なども楽しんで一緒に歌い、楽しんだ。

5月にはボランティアの方々の手料理を主とする食事会を開き、施設の給食にはない、家庭料理をご馳走になり、懐かしい味に出会うことができ、昔話に会話がはずみ楽しい時間を過ごして頂くことができた。

8月と1月にはボランティアの方々と交流を図る為に、ケーキとお茶で茶話会を実施し、利用者のエレクトーンとボランティアの方の三味線等で、昔の歌や童謡を歌い、和やかな雰囲気の中でミニコンサートを実施し、とても喜んで頂けた。

平均参加人数 20名

実施月	活動内容	出費
4月	フラワーアレンジメント	材料費 11,908円 お車代 5,000円

5 月	食事会	お礼代 飲料代 お車代	20,000 円 1,247 円 5,000 円
6 月	折り紙	材料費 お車代	907 円 5,000 円
7 月	ステンシル	材料費 お車代	10,500 円 5,000 円
8 月	茶話会	ケーキ代 ジュース代 お車代	9,990 円 1,286 円 5,000 円
9 月	壁掛け	材料費 お車代	4,003 円 5,000 円
10 月	フラワーアレンジメント	材料費 お車代	8,097 円 5,000 円
11 月	クリスマスツリー	材料費 お車代	2,289 円 5,000 円
12 月	お正月柵作り (材料は昨年度の物を使用)	材料費 お車代	0 円 5,000 円
1 月	茶話会	ケーキ代 ジュース代 お車代	5,250 円 1,308 円 5,000 円
2 月	お雛様作り	材料費 お車代	5,603 円 5,000 円
3 月	髪飾り作り	材料費 お車代	5,449 円 5,000 円

⑥茶道クラブ

6 階の畳のある場所にて、ボランティアの方が点てて下さったお濃茶を、和菓子を食べながら美味しく頂いた。

19 年度もお茶を点てて下さるボランティアさんと、誘導のボランティアさんがコーディネーターの仲立ちで協力し合い、6 F 以外のフロアのご利用者にも大勢参加していただいた。

誘導も安全に配慮してスムーズに皆様をお誘いして下さり、参加されたご利用者は季節の花を愛で、ボランティアさんとの会話も楽しみながら、ゆったりした和の時間を楽しんでいた。

<参加者数>

4 月 11 日	25 名	10 月 10 日	28 名
5 月 9 日	27 名	11 月 7 日	29 名
6 月 6 日	28 名	12 月 5 日	28 名
7 月 4 日	26 名	1 月 9 日	27 名
8 月	休み	2 月 6 日	28 名
9 月 5 日	29 名	3 月 12 日	28 名

⑦認知症ご利用者対応のプログラム

<音楽療法>

毎月、月2回火曜日は5F・7Fの利用者の方々、月2回土曜日は6Fの利用者の方々が参加し、4F多目的室において、毎月合計4回の頻度で行なった。

音楽療法士の指導のもと、発声練習・車椅子上でできる簡単な体操を行い、季節に合わせた歌や、利用者の方が知っている懐かしい歌を歌い、楽器（タンバリンや鈴等）も取り入れ、身体面・精神面の両面での維持向上を目的として活発な活動を行なった。

本年度も昨年度と同じく、課題を「コミュニケーションの範囲を広げる」とし、前期は「リラックスをする、慣れる」後期は「自主的に歌う」ということに重点を置き行なった。声を出したり会話も織り込み、皆様に楽しんでいただいた。

<活動内容>

4月	【参加者】	5F・・・8名	6F・・・16名	7F・・・7名	【実施日】	計4回
5月	【参加者】	5F・・・7名	6F・・・15名	7F・・・7名	【実施日】	計4回
6月	【参加者】	5F・・・8名	6F・・・16名	7F・・・7名	【実施日】	計4回
7月	【参加者】	5F・・・8名	6F・・・13名	7F・・・9名	【実施日】	計4回
8月	【参加者】	5F・・・8名	6F・・・14名	7F・・・8名	【実施日】	計4回
9月	【参加者】	5F・・・7名	6F・・・13名	7F・・・7名	【実施日】	計4回
10月	【参加者】	5F・・・8名	6F・・・14名	7F・・・6名	【実施日】	計4回
11月	【参加者】	5F・・・8名	6F・・・15名	7F・・・7名	【実施日】	計4回
12月	【参加者】	5F・・・8名	6F・・・15名	7F・・・7名	【実施日】	計4回
1月	【参加者】	5F・・・7名	6F・・・15名	7F・・・8名	【実施日】	計4回
2月	【参加者】	5F・・・7名	6F・・・14名	7F・・・7名	【実施日】	計4回

3月 【参加者】 5 F・・・8名 6 F・・・15名 7 F・・・7名
 【実施日】 計4回

8. 平成19年度 保健、看護事業報告

1) 利用者健康診断（年1回） 胸部X-P 名 （H19年9月実施）

2) 職員健康診断 全職員（年1回 10月実施）

夜勤ケアワーカー（年2回 7月 3月実施）

調理員検便 月1回

全職員 腰痛検査 問診（年2回 10月・3月）

3) 利用者入退院状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入院	10	11	7	17	17	9	11	12	13	11	13	13	120
退院	1	4	4	8	12	5	5	4	6	5	8	6	68
病院死亡	0	2	0	2	2	2	2	1	2	2	3	2	20
荘内死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
その他													

4) 協力医療機関等入院状況

多摩南部地域病院・・・17名
 多摩丘陵病院・・・30名
 厚生荘病院・・・8名
 新天本病院・・・2名
 日医大多摩永山・・・3名
 恵仁会病院・・・9名
 西東京徳州会病院・・・1名

井上病院・・・2名
 南町田病院・・・1名
 日野市立病院・・・1名
 御殿山クリニック・・・1名
 桜ヶ丘記念病院・・・1名
 清智会記念病院・・・1名
 岡脳神経外科・・・1名

5) 外来受診状況（往診を除く）延べ人数

眼科・・・8名 内科・・・100名 整形外科・・・84名 歯科・・・2名
 泌尿器科・・・42名 脳神経外科・・・11名 婦人科・・・2名 耳鼻科・・・2名
 皮膚科・・・23名 放射線科・・・2名 外科・・・3名 形成外科・・・4名
 口腔外科・・・2名 ショートステイ 脳外科・・・1名 整形外科・・・2名

6) 往診利用状況

皮膚科（月2回）・・・588名 + ショートステイ利用者・・・2名
 歯科（週3回）・・・3370名 + ショートステイ利用者・・・2名
 神経内科（月2回）・・・711名

7) インフルエンザ予防接種状況

白楽荘利用者	5階	6階	7階	未接種	合計
人数	46	45	43	6	134
職員	白楽荘82名	偕楽荘12名	在宅他81名		合計182

8) 施設内医療実施状況

点滴注射・・・175 件 インシュリン注射・・・・・・ 1 名（1 日 6 回測定
 及び注射） バルーンカテーテル留置・・・ 2 名 1 ヶ月に 1 回交換 膀胱洗浄・・・
 1 名（1 回/週）在宅酸素・・・ 2 名 酸素吸入・・・45 件 人口肛門・・・2 名 人
 口膀胱・・・1 名
 体重測定・・・3 ヶ月に 1 回 血圧測定・・・2 週間に 1 回
 診察・・・2 週間に 1 回 臨時診察・・・随時 胃瘻交換・・・33 件
 定期血液検査（採血）・・・531 名 インフルエンザ検査・・・13 名
 心電図・・・17 名 ニトロダーム他交換 毎日 15 名 軟膏処置 毎日 55～65 名

9) 胃瘻（経管栄養）

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
人数	20	19	18	18	19	18	18	20	17	17	15	17	205

平成 19 年度 リハビリテーション（機能訓練）事業報告

1. 職 員 マッサージ師（3 名）

2. 実施場所 リハビリテーションルーム 及び 各フロア（居室・デイルーム）

3. 対 象 者 入所者 及び 短期入所者

4. 実施状況(延べ人数)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	平均
合 計	789	895	898	850	890	760	763	667	654	732	696	814	9408	784

5. 実施内容

温熱療法（ホットパック・マイクロウェーブ）

マッサージ

関節可動域訓練

立ち上がり訓練

歩行訓練（平行棒内・杖・歩行器等）

パソコン操作訓練

本人及び家族、関係職種への指導・助言

6. 使用訓練器具

平行棒・歩行訓練用階段・T字杖・四点杖・歩行器・車椅子・訓練用ベッド
上肢交互運動器・エルゴメーター・姿勢矯正用鏡・重錘バンド・砂のう
湿式ホットパック・マイクロウェーブ・エアマッサージ器・パソコン
チップウレタンクッション

7. 実施内容

- ①入所者（短期入所者も含む）の身体機能及び精神機能の維持増進、日常生活動作の自立あるいは介助量の軽減を目指し、機能訓練を実施した。
- ②ケアワーカーへの指導・助言を行ない、リハビリテーション概念及び技術の普及にあたった。
- ③関係職種間（医師・看護師・ケアワーカー・相談員・マッサージ師）での情報交換を密に行ない、情報の共有化を図ると共に、「リハビリテーション、ケース会議」を月に1回を実施した。
- ④関係職種間で共同し、目標・実施方法の個別機能訓練計画書を作成し、効果・実施方法について評価を行い、計画に従ってその後の状態のチェックを行った。
- ⑤3ヶ月後にモニタリング（評価）の見直しを実施した。

①平成19年度共用日用品支給

品名	単価	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計数	合計金額
口腔用綿棒	1 ケース	31,500	6							6				12	378,000
耳用綿棒	1 ケース	3,780	1								1			2	7,560
クリンゴットンアイ	1 箱	2,160					10							10	21,600
浴用石鹸	1 箱	200								30				30	6,000
ヘアローション	1 ケース	2,220	10	7	7	10	8	2	10	20	10	10	12	114	253,080
ボデーソープ	10 リットル	13,440	2	0	1	1	0	1	0	1	1	2	0	10	134,400
リンスインシャンプー	12 リットル	18,560	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	2	6	111,360
トイレットペーパー	1 ケース	3,200	4	0	4	0	3	0	4	4	0	4	0	23	73,600
その他	虚弱肌用ボデーソープ 10,500、入浴時洗面ガーゼ 2,000、入浴時臀部洗いタオル、他														
①小計															1,005,600

②平成19年度共用衣料関係支給

品名	単価	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計数	合計金額
食事前掛	1 枚	1,105									220			220	243,100
〃	1 枚	1,625									70			70	113,750
ボデーリ洗面	1 枚	88								400				400	35,200
ボデーリ食事	1 枚	88								1,100				1,100	96,800
湯上りタオル	1 枚	360												0	0
清拭用タオル	1 枚	130	1,000			1,000						500		2,500	325,000
オムツカバー-2L	1 枚	2,795		30		20								50	139,750
オムツカバー-3L	1 枚	3,120		30		30								60	187,200
前開パジャマ	1 枚	2,925							30						87,750
前開パジャマ	1 枚	3,315													0
前開〃LL	1 枚	3,530													0
防水シューズ	1 枚	3,900													0
②小計															1,228,550

③紙オムツ

品名	単価	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計数	合計金額
フラットオムツ	1ケース	5,220	38	28	38	56	56	28	56	25	38	38	25	454	2,369,880
サブパット	1ケース	2,592	36	48	60	48	41	55	41	46	36	32	36	527	1,365,984
ナイトパット	1ケース	4,725	34	43	39	32	24	52	40	41	41	40	40	462	2,182,950
紙パット	1ケース	6,000	0	0	0	0	0	4	0	0	4	0	0	8	48,000
個別パット	1ケース	4,560	6	6	6	0	6	2	2	0	2	0	6	42	191,520
多量パット	1ケース	5,250	6	6	6	6	6	12	9	6	6	6	9	84	441,000
夜用パット	1ケース	9,184	12	15	15	12	12	12	9	12	9	9	12	135	1,239,840
男性パット	1ケース	3,780	6	4	4	6	10	4	4	8	4	4	4	62	234,360
その他															0
③小計															8,073,534
19年度日用品総合計														①+②+③	10,307,684

寝具類リース代				ベッドマットリリース代、褥瘡予防用のマットレスに交換			
品名	単価	枚数(1日)	回数	合計	品名	単価	金額(税込み)
リース代	一組	29	167	365	ベッドマットリリース代	月	年
予備費				200,000		80,360	964,320
合計				2,056,079			1,012,536

平成 19 年度理容実施状況

月	5 F (人)	6 F (人)	7 F (人)	計(人)
4 月	22	22	27	71
5 月	33	43	44	120
6 月	31	44	30	105
7 月	37	38	40	115
8 月	31	43	36	110
9 月	26	31	43	100
10 月	33	37	36	106
11 月	28	35	33	96
12 月	34	35	38	107
1 月	33	37	37	107
2 月	37	40	32	109
3 月	33	36	39	108
計	378	441	435	1254

平成 19 年度小口現金預かり状況

	5 F 人数	6 F 人数	7 F 人数	計	新規	引き渡し
4 月	43	43	42	128	1	1
5 月	42	42	41	125	0	3
6 月	42	43	43	128	4	1
7 月	42	43	42	127	0	1
8 月	42	44	42	128	3	2
9 月	45	44	40	129	3	2
10 月	45	44	41	130	2	1
11 月	45	45	40	130	3	3
12 月	45	46	40	131	2	1
1 月	45	45	40	130	1	2
2 月	43	44	42	129	3	4
3 月	44	45	41	130	4	3

平成 19 年度利用者入退所状況

月	入 荘 者										合計
	在宅		病院		老健		療養型		有料、G.H		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
4月						1					1
5月											0
6月	1					3			1		5
7月											0
8月		2				1					3
9月				1		1					2
10月						1		1			2
11月		1	1				1				3
12月					1	1					2
1月		1									1
2月						2				1	3
3月					1	1		1		1	4
小計	1	4	1	1	2	11	1	2	1	2	26
合計	5		2		13		3		3		26

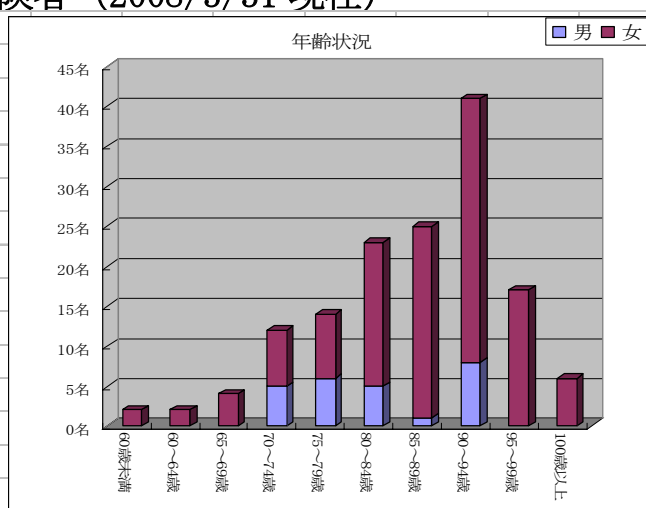
※多摩市措置入所 1 名(11 月)

月	退 荘 者										合計
	施設内死亡		病院死亡		家族引取		長期入院		他施設入所		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
4月										1	1
5月		1	2	1							4
6月											0
7月		1		1				1			3
8月				2							2
9月			1	1				1			3
10月			2								2
11月				1		1					2
12月		1		2		1					4
1月			1	1							2
2月				3				1			4
3月				2							2
小計	0	3	6	14	0	2	0	3	0	1	29
合計	3		20		2		3		1		29

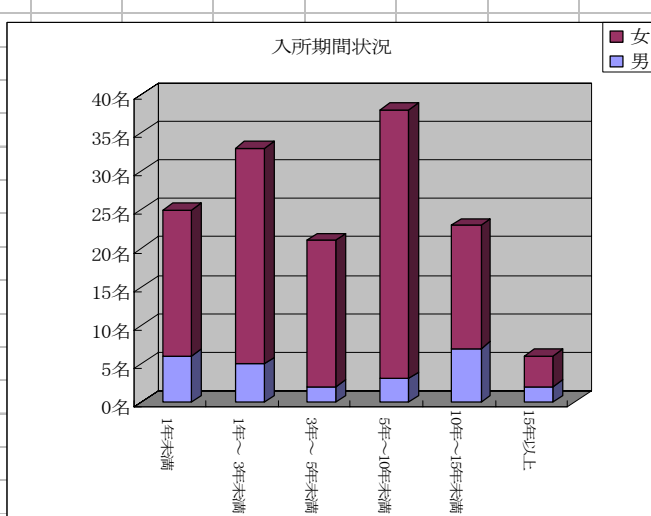
※多摩市措置退所 1 名(12 月)三宅島帰島 1 名(4 月) 看取り介護 1 名(5 月)
在宅復帰 1 名(11 月)

利用者年齢&入所年数&介護保険者（2008/3/31 現在）

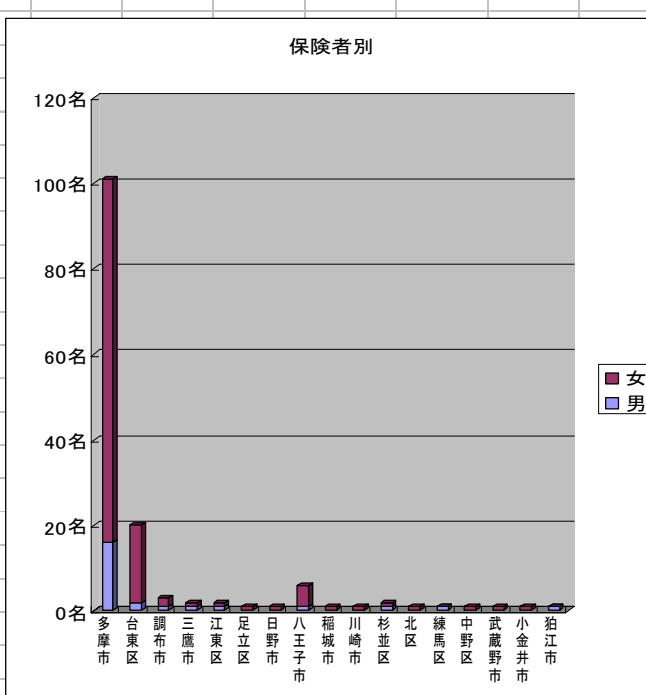
年齢	男	女	合計
60歳未満	0名	2名	2名
60～64歳	0名	2名	2名
65～69歳	0名	4名	4名
70～74歳	5名	7名	12名
75～79歳	6名	8名	14名
80～84歳	5名	18名	23名
85～89歳	1名	24名	25名
90～94歳	8名	33名	41名
95～99歳	0名	17名	17名
100歳以上	0名	6名	6名
合計	25名	121名	146名
最年少	70歳	54歳	54歳
最年長	94歳	105歳	105歳
平均年齢	82.64歳	86.60歳	85.92歳



入所期間	男	女	全体
1年未満	6名	19名	25名
1年～ 3年未満	5名	28名	33名
3年～ 5年未満	2名	19名	21名
5年～10年未満	3名	35名	38名
10年～15年未満	7名	16名	23名
15年以上	2名	4名	6名
合計	25名	121名	146名



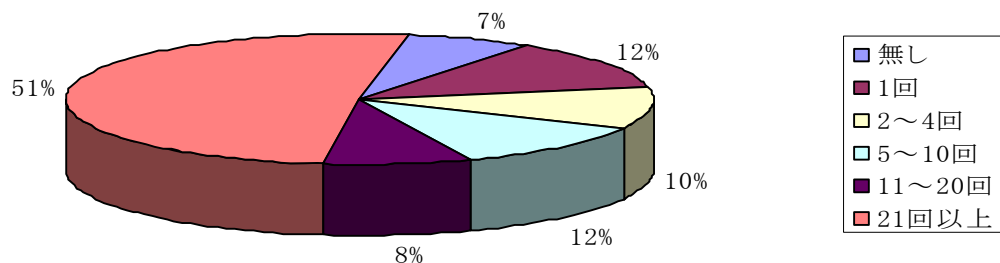
保険者	男	女	全体
多摩市	16名	85名	101名
台東区	2名	18名	20名
調布市	1名	2名	3名
三鷹市	1名	1名	2名
江東区	1名	1名	2名
足立区	0名	1名	1名
日野市	0名	1名	1名
八王子市	1名	5名	6名
稲城市	0名	1名	1名
川崎市	0名	1名	1名
杉並区	1名	1名	2名
北区	0名	1名	1名
練馬区	1名	0名	1名
中野区	0名	1名	1名
武蔵野市	0名	1名	1名
小金井市	0名	1名	1名
狛江市	1名	0名	1名
合計	25名	121名	146名



平成 19 年度面会・外出・外泊状況

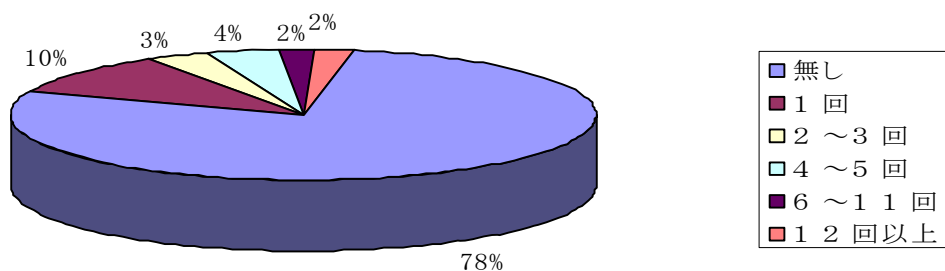
無し	1回	2～4回	5～10回	11～20回	21回以上	合計
7%	12%	10%	12%	8%	51%	100%
12	21	18	20	14	88	173

利用者面会状況



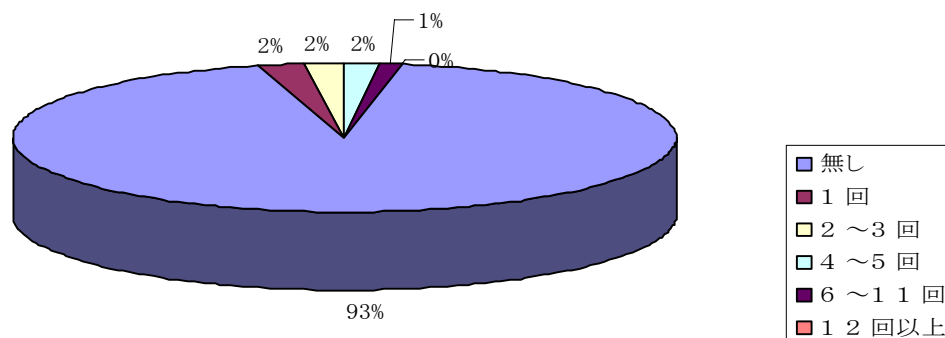
無し	1回	2～3回	4～5回	6～11回	12回以上	合計
78%	10%	3%	4%	2%	2%	100%
135	18	6	7	3	4	173

外出状況



無し	1回	2～3回	4～5回	6～11回	12回以上	合計
93%	2%	2%	2%	1%	0%	100%
161	4	3	3	2	0	173

外泊状況



各合計人数は平成19年4月1日入所者プラス平成19年度新規入所者とする。

2007年度施設入所者実績

提供年月	旧要支援1		旧要支援2		旧要介護1		旧要介護2		旧要介護3		旧要介護4		旧要介護5		実人数合計	日数合計
	実人数	延日数	実人数	延日数	実人数	延日数	実人数	延日数	実人数	延日数	実人数	延日数	実人数	延日数		
2007年04月	1	30	1	30	3	90	2	60	9	270	10	300	20	587	46	1367
2007年05月	1	31	1	31	3	63	1	31	10	309	10	310	20	620	46	1395
2007年06月	1	30	1	30	2	60	1	30	10	300	10	300	20	565	45	1315
2007年07月	1	31	1	31	2	62	1	31	10	310	10	310	20	515	45	1290
2007年08月	1	31	1	31	2	62	1	31	10	308	10	310	18	558	43	1331
2007年09月	1	30	1	30	2	60	1	30	10	300	10	300	18	540	43	1290
2007年10月	1	31	1	31	2	62	1	31	10	307	10	308	18	554	43	1324
2007年11月	1	30	1	30	2	60	1	30	10	286	9	270	18	493	42	1199
2007年12月	1	31			2	62	3	93	8	248	9	247	19	566	42	1247
2008年01月	1	31			2	62	3	93	8	246	9	279	18	543	41	1254
2008年02月	1	2			2	58	3	87	8	232	9	261	18	492	41	1132
2008年03月	1	14			2	62	3	93	8	246	9	267	16	493	39	1175
計	12	322	8	244	26	763	21	640	111	3362	115	3462	223	6526	496	14753

提供年月	要支援1		要支援2		要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		実人数合計	合計	月合計	ベッド稼働率	旧措置者割合
	実人数	延日数	実人数	延日数	実人数	延日数	実人数	延日数	実人数	延日数	実人数	延日数	実人数	延日数					
2007年04月					5	150	7	185	17	498	29	843	40	1178	144	2854	4221	93.8%	31.9%
2007年05月			2	61	5	154	6	186	18	544	28	856	41	1161	146	2962	4357	93.7%	31.5%
2007年06月			2	58	5	150	6	180	20	600	29	826	41	1184	148	2998	4313	95.8%	30.4%
2007年07月	1	31	1	31	5	155	5	155	18	553	29	867	45	1350	149	3142	4432	95.3%	30.2%
2007年08月	1	31	1	31	5	155	5	155	19	544	30	850	44	1225	148	2991	4322	92.9%	29.1%
2007年09月	1	30	1	30	4	120	5	150	21	593	29	864	42	1202	146	2989	4279	95.1%	29.5%
2007年10月	1	31	1	31	4	124	5	155	20	596	29	867	44	1292	147	3096	4420	95.1%	29.3%
2007年11月	1	30	1	30	5	148	5	150	19	552	30	874	43	1211	146	2995	4194	93.2%	28.8%
2007年12月	1	31	1	31	5	130	5	155	20	603	30	906	41	1234	145	3090	4337	93.3%	29.0%
2008年01月	1	31	1	31	4	124	4	124	21	649	28	847	42	1232	142	3038	4292	92.3%	28.9%
2008年02月	1	29	1	29	4	116	4	116	21	595	30	812	42	1175	144	2872	4004	92.0%	28.5%
2008年03月	1	31	1	31	4	124	4	124	21	651	29	864	44	1252	143	3077	4252	91.4%	27.3%
計	9	275	13	394	55	1650	61	1835	235	6978	350	10276	509	14696	1706	35435	50188	93.7%	29.1%

2007年度ショートステイ利用実績

提供年月	自立		要支援1		要支援2		要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		人数合計	日数合計	ベッド稼働率
	実人数	延日数	実人数	延日数	実人数	延日数	実人数	延日数	実人数	延日数	実人数	延日数	実人数	延日数	実人数	延日数			
2007年04月							4	32	10	103	12	84	5	40	7	55	38	314	104.7%
2007年05月							5	36	7	67	13	92	7	52	8	62	40	309	99.7%
2007年06月			1	3			6	34	5	40	14	93	5	44	5	36	36	250	83.3%
2007年07月							4	22	11	111	11	89	10	97	5	49	41	368	118.7%
2007年08月							2	13	8	74	17	137	10	92	5	66	42	382	123.2%
2007年09月							4	24	11	109	14	107	12	72	9	87	50	399	133.0%
2007年10月							3	15	11	95	16	102	8	68	9	91	47	371	119.7%
2007年11月							2	5	12	98	14	93	12	84	9	94	49	374	124.7%
2007年12月	1	2	1	4			4	16	10	80	14	107	11	98	9	67	50	374	120.6%
2008年01月				2	7		4	27	10	79	13	81	10	82	7	51	46	327	105.5%
2008年02月				1	4		4	21	7	49	19	178	12	83	8	65	51	400	137.9%
2008年03月				1	5		4	24	8	55	19	150	17	110	10	65	59	409	131.9%
計	0	0	1	2	6	23	46	269	110	960	176	1313	119	922	91	788	543	4254	116.9%

2007年度施設利用・ショートステイ総合利用実績

サービス提供月	施設利用延べ日数	短期利用延べ日数	利用延べ日数	ベッド稼働率
2007年04月	4,221	314	4,535	94.48%
2007年05月	4,357	309	4,666	94.07%
2007年06月	4,313	250	4,563	95.06%
2007年07月	4,432	368	4,800	96.77%
2007年08月	4,322	382	4,704	94.84%
2007年09月	4,279	399	4,678	97.46%
2007年10月	4,420	371	4,791	96.59%
2007年11月	4,194	374	4,568	95.17%
2007年12月	4,337	374	4,711	94.98%
2008年01月	4,292	327	4,619	93.13%
2008年02月	4,004	400	4,404	94.91%
2008年03月	4,252	409	4,661	93.97%
合計	51,423	4,277	55,700	95.12%

ショートステイは今年度より介護予防短期入所も含みます。

給食処遇

《1》 行 事

年月日	行 事	献立内容
19/4/4	観桜会	にぎり寿司 吸い物 桜餅 甘酒（間食）
19/5/2	食事会	竹の子ごはん かつおのたたき・若竹の木の芽和え 炊き合わせ（わらびまき、しいたけ、にんじん、高野豆腐） 茶碗蒸し 和菓子（ねりきり）吸い物（ゆば、みつば）
19/6/7	食事会	にぎり寿司 炊き合わせ（京がんも、ふき、しいたけ、にんじん） 茶碗蒸 吸い物（三つ葉、花豆腐）・和菓子（ねりきり）
19/7/26	納涼会	助六寿司、すいか、焼きそば、焼きとうもろこし、焼き鳥、 たこ焼き、 えだまめ、豚汁、
19/7/30	土用丑	鰻蒲焼、柚子香和え、漬物、味噌汁（だいこん・しめじ）
19/8/7	食事会	赤飯 お刺身（まぐろ） 炊き合わせ（はも、里芋、椎茸、おくら）・冬瓜の田楽 吸い物（花豆腐、みつば）・和菓子（ねりきり）
19/9/9	敬老会	にぎり寿司 前菜（菊華シュウマイ、ごま豆腐、巨峰） 吸い物（花豆腐、みつば）・和菓子（ねりきり）
19/10/3	食事会	松茸ごはん お刺身（まぐろ、かんぱち、甘エビ） 炊き合せ（えび団子、里芋、しいたけ、きぬさや、にんじん） 茶碗蒸、 吸い物（生麩、しいたけ）・和菓子（ねりきり）
19/11/1	食事会	赤飯 お刺身（まぐろ、ぶり、甘エビ） 炊き合わせ（ふき、にんじん、しいたけ、がんも） 柿なます、茶碗蒸 吸い物（花豆腐・みつば）・和菓子（ねりきり）
19/12/12	年忘れ	にぎり寿司 吸い物（みつば、しめじ） プリン（間食）

20/1/1	新年祝賀会	雑煮 炊き合わせ（六角里芋、海老サンド、椎茸、花形人参、絹さや） 重箱（黒豆、いちご、栗きんとん、伊達巻、海老若草、ゆりね、市松テリーヌ、サーモンフラワー 鯛の塩焼き、数の子、肉団子、ゆず釜）
20/2/5	食事会	赤飯 お刺身、（まぐろ、かんぱち、甘えび） 炊き合わせ（海老団子、ふき、六角里芋、菜の花） 茶碗蒸・蟹の黄身酢がけ 清汁（湯葉）和菓子（ねりきり）
20/3/5	食事会	赤飯 お刺身（まぐろ、ぶり、甘えび） ほたるいかの酢味噌がけ、いちご 天ぷら（たらめ、海老、茄子、まいたけ） 吸い物（はまぐり）和菓子（ねりきり）

《2》活動及び改善報告

○嗜好調査

- 平成19年9月3日～9月14日に実施

テーマ 「主食の分類・食べやすさ」「主菜・副菜の硬さ・食べやすさ」

「食事の満足度について」

対 象 ある程度受け答えの出来る利用者対象26名

嗜好調査は現在栄養ケアマネジメントの一部として行なわれている。役割は、全体的な食事への満足度や献立内容の調整を行なう為の資料としている。この調査は今後も実施していく方針。

○残菜調査

- 現在は、各フロアーに食事摂取表があり、個別に食事摂取量を記入し管理を行なっています。これにより前年度をもって全体的な残菜調査は終了した。

《3》 給食会議（栄養士・相談員・各フロア担当職員・看護師）

会議は月1回のペースで行われ、食事に関するあらゆることについて話し合われる。咀嚼・嚥下にかかわる食材についての安全性、利用者の健康状態・衛生管理について、食種や献立内容、食器の選定についても議論されている。

日 時	内 容
4 月	・設備点検に伴う停電時の昼食について ・食事会の献立内容確認 ・補助食品の提供数について ・非常食一部使用について ・食事摂取表について
5 月	・食事会の献立内容確認 ・食器類について ・間食の連絡について ・食事摂取表の書式について
6 月	・注意確認事項 ・ミキサー食のパンについて ・汁物の具について ・食事会の反省 ・間食の時間のあり方、出し方について
7 月	・納涼会の食数について ・配膳室冷蔵庫の管理について ・間食のミキサー対応について
8 月	・水分補給（ジュース・牛乳）の処分について ・間食の内容変更について ・献立の見た目について
9 月	・敬老会食事会について ・お彼岸のおはぎについて ・食事会の献立内容確認 ・予備食の数の変更 ・10月からの給食提供一部変更について ・フロアでの味見の必要性について
10 月	・給食冬季提供について ・非常食の一部使用について ・新年祝賀会の重箱・餅対応について ・食材の見直しについて ・味見の必要性について
11 月	・徹底事項（電話対応・補助食品） ・フロア味見一旦廃止について ・食器の汚れについて ・ミキサー粥の硬さについて
12 月	・年忘れ会の食事について ・年末年始の献立内容について ・ミキサー食の内容変更について ・水分ゼリーの内容変更について ・ミキサー食の菓子パンについて

	・ミキサー食のしらす干について
1 月	・新年祝賀会の献立等についての反省 ・お汁粉提供について ・節分について ・朝食パンの献立について
2 月	・パンバイキングについて ・牡丹餅提供について ・ゼリー食の検討について ・ミキサー食の朝食について
3 月	・H20 年度の検食実施について ・利用者の食事変更について ・食事の取り置きについて ・食べにくい食材について

《4》給食材料納入業務委託について

介護保険改正により基本食事サービス費が廃止になり。給食業務に於いては、コストの削減を求められた。このため、平成17年9月より給食材料納入業務委託(一括購入)を開始した。業者については、一般競争入札を実施し、決定した。この結果、総合的なコスト削減につながっている。

決定までの経緯

平成18年

11月29日(水) 一般競争入札実施に係わる起案

平成19年

2月 5日 (月) 週間福祉新聞に参加事業者公募広告を掲載

2月23日 (月) 現場説明会開催(14:00～) 4F白楽荘会議室

3月 9日 (金) 入札 (株)ウイングス共同購入が落札

同

業者選定会議

(株)ウイングス共同購入辞退

東京中央食品(株)を第二交渉権者に決定

3月12日 東京中央食品(株)と合意

3月 下旬 業務委託契約締結

4月 1日 業務委託開始

《5》給食実績

H19	Kcal	蛋白質 g	脂質 g	C a m g	鉄 m g	V A μ / g	V B1 m g	V B2 m g	V C m g	塩分 g
4月	1547	68	35.8	761	11.1	993	0.86	1.07	82	10.7
5月	1553	67.8	38.5	780	11.2	1156	0.91	1.06	84	10.8
6月	1552	69	39.2	787	11.2	1077	0.84	1.05	82	11
7月	1505	65.2	36.2	744	11	1084	0.8	1.03	80	10.6
8月	1556	66.5	40.6	768	11	1128	0.84	1.02	81	11.4
9月	1551	67.6	37.8	782	11.3	1003	0.8	1.04	84	10.4
10月	1565	68.3	39.4	790	11.7	1076	0.83	1.04	78	10.6
11月	1553	68.4	38.4	783	11.3	986	0.86	1.08	76	11
12月	1590	68.7	40.1	763	11.2	1093	0.82	1.04	71	11.1
1月	1565	69.8	38.6	794	11.3	1019	0.81	1.06	80	11.2
2月	1575	70.6	40.2	782	11.1	996	0.82	1.09	76	10.7
3月	1554	69.3	38.8	800	11.1	1036	0.82	1.06	80	10.8
年間平均	1554	68.2	38.6	777	11.2	1053	0.83	1.05	79.5	10.8

今年度は、給与栄養目標量を見直した為、平均が下がり、上記の結果給与目標量をカロリーが上回ってしまった。しかしこれは、蛋白質・VB1など微量元素などを目標値まで上げる為の方法であった。今後は、いかに熱量を抑え、栄養量を上げ、塩分を平均で10g以下に抑えた食事提供を目標にしたい。

《6》栄養課 業務改善の取り組み

食事形態	5F	6F	7F	計
常食	8	11	11	30
常食キザミ	4	4	3	11
全粥	1	0	5	6
全粥キザミ	4	6	8	18
超キザミ	9	9	10	28
ミキサー食	15	10	9	34
経管栄養	8	6	3	17

上記の表（入院者は除く）より食形態は、利用者のADLの状態に合わせ常食～経管栄養の7形態に分かれています。この事から見て19年度の状況は、常食で全体の27%、刻み、ミキサー食系は57%を占め経管栄養も11%にまで達しています。

このことから見ても施設利用者の状態が変化しはじめている事がうかがえる。

献立の内容は粥主体となる安全で食べ易い食材の見直しを中心に咀嚼・嚥下も考慮し、利用者が安全に美味しく食べやすい献立になるよう調整を行なった。超刻みに関しては、見直しを図りよりいっそう食べやすい形状に変化させた。

このほかに個別対応として、身体的や嗜好的における、代替食、選択食等も随時行い、摂取量に合わせた食事量の調整、補助食品の使用や、個人のニーズにあった食事の提供を行っている。

経管栄養の対応

経管栄養もニーズが変わり1CC/kcal に対し逆流性食道炎などの利用者が増えた為、増粘剤を使い濃度を着け小量で高カロリー・高たんぱくな1CC/1.5kcalの使用が多くなった。

《7》栄養ケアマネジメント

介護保険法改正にあわせ高齢者の低栄養状態等の予防・改善の為に個別の高齢者の栄養状態に着目しそのプランを行なう。

栄養ケアマネジメントは、ヘルスケアサービスの一環として、個々人に最適な栄養ケアを行い、その実務遂行上の機能や方法手順を効率的に行なう為の体制として行なう。

- ① 栄養スクリーニングの実施
- ② アセスメントの実施
- ③ ケア計画の作成
- ④ 利用者・家族への説明
- ⑤ 栄養ケアマネジメントの実施
- ⑥ 問題点の把握
- ⑦ モニタリングの実施
- ⑧ 再栄養スクリーニングの実施

栄養ケアマネジメント会議（カンファレンス）栄養士・相談員・看護師・ケアワーカー

4月	・ケア計画確認書 ・リスク変更者3名低から中へ ・ケア計画から6名検討
5月	・ケア計画確認書回覧 ・リスク変更者2名状況報告 ・ケア計画から6名検討
6月	・ケア計画から16名検討 ・
7月	・リスク変更者9名状況報告 ・今回のスクリーニングを行なった計画書の立案
8月	・高リスクケア計画対象者29名 ・ケア計画から8名検討
9月	・ケア計画から11名検討

10 月	・リスク変更者 2 名の状況報告 ・体重変化率大きくても BMI が基準値ならばリスク変更は見送り対象者 16 名についての検討 ・ケア計画から 10 名検討
11 月	・ケア計画書回覧 ・リスク変更者 3 名状況報告 ・ケア計画書から 15 名検討
12 月	・スクリーニングについて ・リスク変更者 4 名状況報告 ・体重変化率大きくても BMI が基準値ならばリスク変更は見送り対象者 11 名についての検討 ・ケア計画書から 6 名検討
1 月	・ケア計画書回覧 ・ケア計画書から 18 名検討
2 月	・ケア計画書回覧 ・ケア計画書から 13 名検討
3 月	・ケア計画書回覧 ・ケア計画書から 19 名検討

《8》衛生管理

近隣施設での食中毒発生に伴い細菌検査を強化

細菌検査（赤痢、サルモネラ菌、O-157、腸炎ビブリオ）

対象者・・・常勤職員、非常勤全員 月 1 回実施

- ▲ 生鮮物扱い業者 検査都度自主提出
- ▲ 食中毒対策マニュアル作成
- ▲ 相互支援対策のシミュレーション参加
- ▲ ノロウイルス対策と職員への教育

<衛生環境整備の実施>

- ▲ 手洗い場所・納品検品場所にウエルパス設置
- ▲ 衛生キャップ・マスク（ディスポ）の使用
- ▲ 調理温度記録の徹底
- ▲ 衛生管理自己チェック表の記入
- ▲ アルコール除菌スプレーの使用
- ▲ フード・ダクト清掃（委託業者による清掃年 3 回）の強化
- ▲ 厨房内清掃の強化
- ▲ ノロウイルス対策として酸性電解水使用（温冷配膳車）
- ▲ 側溝のメンテナンス整備

《 9 》(社) 東京都施設給食協会の活動

これからの栄養改善法に基づく施設利用者の食生活栄養改善普及、衛生管理、食中毒などの情報収集、集団給食の資質向上発展と栄養士、調理師の質の向上を目的に加入

＜活動内容＞

- ・ 集団給食施設衛生講習会
- ・ 栄養展への参加
- ・ 保健所の委託を受けての食品衛生指導員による食品衛生巡回指導
- ・ 相互支援対策として近隣施設との総合支援
- ・ 相互支援対策シュミレーション訓練実施(食中毒を想定した近隣施設の協力体制の訓練)
- ・ 給食関連施設見学(大東京総合卸売センター)

《 10 》各種研修参加の実績

H 1 9

- 4 月 特定給食施設栄養管理講習会(給食施設における衛生管理)
- 7 月 特定給食施設栄養管理講習会(高齢期における栄養管理)
高齢者施設福祉部会 栄養研修会(褥瘡)
- 10 月 特定給食施設栄養管理講習会(品質管理の向上に向けて)
特定給食施設栄養管理講習会(給食施設における衛生管理について～ノロウイルス対策を中心に)
- 11 月 特定給食施設栄養管理講習会(高齢者施設の栄養管理)
ノロウイルス食中毒対策衛生講習会

高齢者施設福祉部会 栄養研究会(高齢者福祉施設の栄養ケアマネジメント実践)
全国福祉栄養士協議会 (メタボリックシンドロームの予防と管理・介護保険制度
見直し、予防重視型システムへの変換)

H 2 0

- 2 月 高齢者施設福祉部会 栄養研修会
- 3 月 特定給食施設栄養管理講習会(褥瘡の手当て 栄養偏)

平成 19 年 度

事業 報 告 書

白楽荘在宅サービスセンター

平成19年度 白楽荘在宅サービスセンター事業報告

指定居宅通所介護事業

1. 通所介護事業概要

(1) 利用者定員・登録者数 平成20年3月31日現在

	基本通所介護	認知症対応型通所介護
1日定員	40名	12名
登録者数	109名	19名

(2) 動向

- ・ 平成19年度
 - 新規・再開利用者 104名
 - 中止者 88名
- ・ 年間平均稼働率
 - 基本通所介護 80, 1%
 - 認知症対応型通所介護 53, 4%
 - 全 体 73, 9%
- ・ 男女平均年齢 82, 1歳

(3) 職員体制 平成20年3月31日現在

	常勤	非常勤
在宅課長	1名	
相談員	2名	
介護職員	5名(2名)	18名(6名)
看護師		6名
事務員	1名 ※1	
管理栄養士	1名 ※1	
調理員		1名 ※1
運転手	非常勤6名・契約2名・シルバー人材センター1名	

※ () 内はいきがいデイ兼務

※1 特養と兼務

(4) 敷地 5,440.25 m²

(5) 建物 10,287.93 m² (4階部分 2,316.75 m²)

2. 運営状況

利用者様本位のサービスを提供していく、ということを最大の目標に、サービスの質を落とさないよう各々の職員がそれなりの努力をした一年であった。その結果が、稼働率にすぐさま現れるかどうかは、いわゆる水物的な要素もあるので確実とは言えなかったが、少なくとも平成19年度は基本デイの利用率は前年よりかなりの伸びを示し努力の効果があったと言える。数字も80%台を確保するところまで回復できた。

昨年度の介護保険法の改正から、大きく予防的観点が通所介護にも採り入れられ、細かな加算制度となって介護保険そのものが変容を遂げてきた。

現在も、従来の介護度がついた人々と、要支援1、2の本来は包括支援センターがケアプランを立てる利用者が2本立てで混在している状況である。

今年度は、利用者のニーズに応えるため、加算制度を吟味し、運動能力の向上や、口腔ケアの徹底などに力点を置いたが、加算項目としては機能訓練加算のみを残し、看護師の配置を厚くして実質上初めての加算に踏み切った。毎日十数名の方が訓練を希望されており、アセスメントなど事務的な面では煩雑な面も伴うが、時代の趨勢であるとともに、ニーズも高く、このままより良い方向へ進み、定着を計りたい。

残念ながら一定の登録者は確保しつつも、お休みされる利用者はやはり多かったが、全体的な虚弱化ということに加え、定期的なショートステイの利用や入院などがここ数年来定着してきたことも要因のひとつと言える。

今後もリスクマネジメントの視点から、利用者が安心して安全に過ごせる場としての、デイサービス環境を維持していかなければならないが、人件費を大幅に削減して事業化し、収益を上げているところは多いと聞く。しかし、そういう環境の中でも利用者様の安全の担保を図るのが介護事業者の重要な使命のひとつであろう。一見相反する二つの命題が両立するために必要なものは、一種の企業的センスなのかもしれないが、どこかにひずみが来ないようなサービス提供を行っていくことは今後も大切なことだと考える。

通所サービスの目標の反省

平成19年度も「通所サービスの目標」を作成し、利用者様の目に触れるよう掲示した。希望に沿った通所介護計画の作成と定期的な見直し、援助計画の実施は概ね達成できた。

アクティビティの充実に関しては、新たなボランティアの導入などにより、コンサート等大変充実し評価できる点である。

また、個別のニーズに添ったリハビリに関しては、平成20年1月から個別機能訓練加算を開始し軌道にのりつつある。感染症予防に関してもトイレ便座、手すりなど毎日消毒を行い、大きな感染は見られなかった。

しかし転倒事故防止については残念な事ではあるが保険対象の事故が起きてしまった。対策として利用者の状況をしっかりと把握し業務に入ってもらうために日誌記載内容の充実と周知徹底を図り対応している。利用者様の体の状態が年々虚弱化あるいはその程度が重度化していく中で、転倒事故防止は継続して重点目標として取り組んでいかなければならない。

3. 通所介護事業報告

(1) 通所介護計画作成・実施

- ・ ケアマネージャーからの居宅サービス計画書に基づき作成。ケアマネージャーや本人・家族との事前面接時や利用時等にニーズを把握することに努めた。
- ・ 新規・再開・定期見直し（6ヶ月程度）・随時見直し（状態変化・入院等の長期欠席後等の必要時）等年間約200件の通所介護計画作成を行っている。
- ・ 作成した通所介護計画はご本人や家族に、来所時もしくは書面を事前に渡し電話にて説明し署名していただき、コピーをとり、原本は保管し一部は利用者に渡している。
- ・ 了承いただいた通所介護計画書はケアマネへも渡し確認を依頼する。
- ・ ミーティング・職員会議・職員間の連絡帳・非常勤職員研修等にて介護計画を再確認し、ケア内容の統一を図るよう努めている。常時120名前後の最新の計画を全職員が正しく把握することは困難だが、「確認リスト」を掲示し、計画書はいつでも確認できるようケースファイル・ワーカールーム・デイルームの3ヶ所に置き、情報の周知徹底に努めている。閲覧した計画には各職員がサインをするようにした。

(2) 付加サービス

- ・ 平成20年1月から個別機能訓練加算、運動機能向上加算を開始した。利用者様の多様なニーズに応えるため、導入前から看護師を増員配置し、職員研修をおこなうなど事前準備を万全にし、加算を開始した。利用者様、ご家族からも機能訓練に対する期待、感謝の声が寄せられている。

(3) 健康チェック・看護面

- ・ バイタルチェックや様子観察、入浴時の身体観察等により変化を見逃さないよう努めた。熱発や皮膚疾患等の特変が見られた場合は、緊急度によりすぐに家族やケアマネへ連絡を取り、早めにお送りし、連絡帳に状況を記入し受診を勧める等対応している。
- ・ 胃ろうやカテーテル等医療的なニーズが高くても、全身状態が安定し在宅生活をしている方の受け入れはスムーズに出来るよう努めた。
- ・ 風邪やインフルエンザの予防・拡大を防ぐ観点から12月～3月末まで施設到着時のうがい・手洗いの実施と加湿器の設置を行った。ポスターや連絡帳等で自宅での実施も呼びかけた。
- ・ 皮膚疾患に関する処置（入浴後の軟膏塗布等）にも対応し、必要があれば家族への状態報告等を行う。

(4) 食事・おやつ

① 栄養課・在宅会議

- ・ 毎月1回、翌月の食事メニューを栄養課より受け取り、利用者様配布用として見やすいよう作成し、それに基づき会議を開催した。
- ・ 利用者の反応やメニューの希望、変更、行事食の内容等を検討した。

② デイサービス特別メニュー

- ・ 通所サービスの利用者様は各曜日で登録し利用しているため、特別養護老人ホームのように、（月） 麺（金） パンのような曜日ごとのメニューでは偏りが出てしまう。そのため御飯が主食のメニューに変更している。
- ・ 選択の機会を持ってもらうため月 1 回選択食を実施した。

4 月	シュウマイ or さば香味焼き	1 0 月	豚角煮 or さばの味噌煮
5 月	八宝菜 or 鮭塩焼き	1 1 月	豚の角煮 or あじの塩焼き
6 月	豚角煮 or いわしの生姜煮	1 2 月	年忘れ週間
7 月	松風焼き or さばの味噌煮	1 月	柳川風煮 or サンマ生姜煮
8 月	親子煮 or サンマ生姜煮	2 月	煮かつ or さばの文化干し
9 月	敬老週間	3 月	サクサクヒレカツ or 鯖の味噌煮

- ・ 敬老週間行事食 9 月 1 1 日（火）～1 7 日（月）
 昼 食：散らし寿司（火・水・木） 赤飯（月・金・土）
 おやつ：ねりきり
- ・ 年忘れ週間行事食 1 2 月 1 8 日（月）～2 3 日（土）
 昼 食：散らし寿司（月・金・土） 赤飯（火・水・木）
 おやつ：ケーキ

③ 食事対応内容

毎朝 9 時までに当日の食数（食事形態毎の食数・合计数）や止めを記載し「食事注文書」を栄養課へ提出する。提出後の利用者様の休みや、止めの数の変更等があった場合は 1 1 時までに連絡し注文書を訂正する。ミスがないよう、配膳責任者を中心に相談員が準備した食事表と食札通りに配膳し、個々の利用者様に合った食事形態で召し上がれるよう調整している。希望や必要に応じて粥やキザミ、ミキサー食への対応、水分にトロミを付ける、補助具を準備することも対応している。その際、食事表や食札も変更する。

④ 家族との連携

ニーズがある利用者様には、食事や水分摂取量、摂取の様子等を連絡帳に記載しご家族との連携を図っている。脱水防止のため多めの水分補給を行ったり（お茶や白湯が苦手な利用者にはレモンティーを提供）、食事摂取量の確保が困難な場合は高栄養剤を持参してもらい対応する等臨機応変に行っている。

⑤ 口腔ケア

歯ブラシをお預かりし、昼食後にナースが中心となり口腔ケアを行っている。自力で可能な利用者様にはブラッシングや義歯の洗浄等を支援し、出来ない利用者様には介

助を行う。口腔ケアにより口腔の疾病予防、健康の保持増進を目指す。

⑥ 嗜好調査・残菜調査

平成19年度も、食事に関して希望を汲み取る試みは実施出来ていない。食事は在宅サービスの選択肢の1つとして重要であり、利用者様の楽しみである。メニューの広がりとは今後の課題である。

参考) 食事メニュー表配布例 (A4判)

平成20年3月 デイサービス食事メニュー

月	火	水	木	金	土
★仕入れ具合によりメニューが変更になる場合があります。ご了承ください。 ★()内のカロリーにおやつは含まれません ★選択食…26日(水)、誕生食5日(水)					1日(545kcal) 海老ピラフ じゃが芋炒め 漬物 豆腐とわかめの味噌汁 はちみつレモンゼリー
3日(521kcal) ご飯 豚肉の葱味噌焼き さつま芋甘煮 いんげんのお浸し 茄子と葱の味噌汁 ひなあられ 甘酒	4日(506kcal) ご飯 シューマイ 小松菜の菜種和え 漬物 玉葱と椎茸の味噌汁 ひなあられ 甘酒	5日(503kcal) 赤飯 刺身三種盛り ホタルイカの酢味噌和え 天ぷら(海老・茄子・タラの葉・椎茸) 吸い物 いちご ねりきり	6日(550kcal) ご飯 鯉のゆうあん焼き うずら豆甘煮 漬物 すいとん ごまプリン	7日(545kcal) ご飯 クリームシチュー スクランブルエッグ 野菜のソテー(人参・いんげん) 路の胡麻和え ごまプリン	8日(436kcal) ご飯 ほっけの塩焼き 菜の花の辛子和え 漬物 豚汁 ごまプリン
10日(623kcal) ご飯 天ぷら(海老・さつま芋・いんげん・茄子) カリフラワーの胡桃和え うずら豆甘煮 キャベツと玉葱の味噌汁 オレンジゼリー	11日(570kcal) ワカメご飯 鯉の文化干し 炒り豆腐 漬物 清汁 オレンジゼリー	12日(533kcal) ご飯 鯉の塩焼き 南瓜のいとこ煮 漬物 葱と椎茸の味噌汁 オレンジゼリー	13日(571kcal) ご飯 ボークカレー ほうれん草サラダ パイナップル 葛馒头	14日(585kcal) ご飯 ミートボールのトマト煮 竹輪甘煮 洋梨 大根と椎茸の味噌汁 葛馒头	15日(465kcal) ご飯 金目鯛の煮つけ 白菜の胡麻醤油和え もずく酢 大根と油揚げの味噌汁 葛馒头
17日(578kcal) ご飯 コロッケ(メンチ・帆立) ずき昆布炒め煮 佃煮 里芋と油揚げの味噌汁 きんつば	18日(450kcal) 五穀ご飯 鯉の塩焼き ぜんまい炒め煮 けんちん汁 きんつば	19日(564kcal) ご飯 若鶏のから揚げ 菜の花の胡麻和え 漬物 豆腐となめこの味噌汁 きんつば	20日(409kcal) ご飯 いしもちの塩焼き キャベツとしめじの野菜炒め 冷奴 清汁 牡丹餅	21日(472kcal) ご飯 白身魚のフライ だし巻き卵 もずく酢 茄子と葱の味噌汁 プリンタルト	22日(486kcal) ご飯 豚肉の柳川風 路の胡麻和え 漬物 ほうれん草と若芽の味噌汁 プリンタルト
24日(504kcal) ワカメご飯 豚肉と海鮮野菜炒め 海老シューマイ 漬物 豆腐と三つ葉の味噌汁 きなこプリン	25日(538kcal) ご飯 若鶏の照り焼き ぜんまい炒め煮 パイン 里芋と青菜の味噌汁 きなこプリン	26日(620kcal) 選択食 ご飯 サクサクヒレカツVS鯉の味噌煮 大根と帆立薄く煮 漬物 豆腐とワカメの味噌汁 きなこプリン	27日(516kcal) ご飯 カレイの竜田揚げ フレッシュサラダ 漬物 キャベツとアサツキの味噌汁 オレンジゼリー	28日(693kcal) ご飯 さつぱり焼肉 漬物 胡瓜と錦糸卵の酢の物 油揚げと玉葱の味噌汁 オレンジゼリー	29日(805kcal) ご飯 やわらか豚角煮 いんげんのピーナツ和え 漬物 里芋とアサツキの味噌汁 オレンジゼリー
31日(523kcal) ご飯 鯉の煮付け生姜風味 長芋含め煮 お浸し 味噌汁 はちみつレモンゼリー					

(5) 入浴

- ・入浴を希望する利用者様は多く、対応可能人数を超えての登録でも出来る限り受け入れ、欠席者が出た場合には利用出来るようその都度調整する等努めている。
- ・午前や午後の入浴時間の希望・下着やオムツ類の取り替えの必要の有無・定期的に体重測定を行いご家族に報告する等入浴に関する要望は多く、臨機応変に対応している。衣類の取り替え忘れがないよう、チェック表を作成する等工夫した。
- ・当日入浴予定の利用者様の連絡帳は、入浴担当者が必ず家族等からの伝言を確認し入浴中止とあるのに入れてしまった等の不手際がないよう努める。
- ・新規利用者様や介助方法に変更のあった利用者様の場合は「一般浴連絡帳」「特別浴連絡帳」に記入しミーティングにて確認する等対応の周知徹底を図っている。

(6) 排泄

- ・通所介護計画に従い状態に合った介助を行い、介助方法の変化に柔軟に対応する。
- ・排便・排尿の有無をチェックする必要がある利用者様は、排泄表、ホワイトボード・利用者連絡帳に記入し、家族・介護者に報告している。
- ・トイレへの定時・随時の声かけを行い、排泄リズムの回復・維持を図る。
- ・立位が困難な場合でもトイレでの排泄希望があればスタッフ二人介助にて安全に介助を行っている。
- ・リハビリパンツ・パッドの交換の必要があれば対応し、施設の物を貸し出した場合には連絡帳にお貸しした旨記入し、次回ご持参いただいている。

(7) 整容

サイ企画（代表：斎藤氏）の協力のもと、施設内での理・美容を実施した。ヘアカット・パーマ・ヘアカラー等を月3日程度行った。美容院等に行くことが困難な利用者様が多く、楽しみにされているため、今後も希望者がある限り継続して調整していきたい。

4月	3回	17人	10月	3回	15人
5月	3回	22人	11月	3回	13人
6月	3回	19人	12月	3回	23人
7月	休止		1月	3回	15人
8月	6回	38人	2月	3回	19人
9月	3回	15人	3月	3回	16人

合計 36回実施 238延べ人

(8) 送迎

- ・送迎表は月1回程度変更し、各車両毎の送迎表とワーカー室に掲示しているものは最新の正確な情報として徹底を図り、ミスを防止している。
- ・新規利用者の加入や曜日追加者・中止者が出た場合や1便・2便の変更の希望等、送迎時間の変更は頻繁であり、その都度配車表の変更が必要となるため、利用者様

への事前連絡が必要不可欠である。送迎時間変更のお知らせを利用者等に渡したり、事前に電話で伝えたり等トラブルがないよう慎重に行っている。

- ・ 1 便・2 便等の送迎時間や片道のみの送迎、玄関・ベッドまでの送迎、到着前に連絡を入れる等の個々の希望に可能な限り対応している。
- ・ 各送迎車とは携帯電話で連絡を取り合い、急な欠席や連絡事項等にも対応している。
- ・ 送迎時間に遅れないよう時間に正確な送迎を心がけ、遅れる場合（5～10 分以上）には随時利用者様宅へ連絡を入れ、外で待たせることがないよう対応している。
- ・ 玄関からの送迎希望者は増加しており、1 件あたりの送迎時間が長い。同じバスの他利用者様を長く待たせることがないよう、スムーズな送迎に努めている。
- ・ 送迎時も利用者様の急変等緊急事態は考えられるため、「送迎事故対応マニュアル」を車両に積み緊急時に対応出来るよう備えている。

（9）苦情解決

平成 19 年度は 2 件の苦情報告があった。苦情を改善の機会として捉え、報告書におこすよう努めた結果も含まれている。下記に内容の分析と考察を記す。

苦情内容	件数
入浴後脱いだものをそのまま着て帰宅する	1
利用料金不足	1

「入浴後…」については、認知症の利用者様が入浴後の着替え中、職員が離れた間に入浴前に着ていたものをバックから出し、再び着てしまい帰宅してしまう。家族が帰宅後気づき、連絡帳にて確認をおこなうよう連絡してきたもの。今後は入浴担当が連絡帳に着替えをおこなった旨を記載するよう対応した。

「利用料金…」については、月謝袋内の料金が不足していたもの。家族と連携をとり今後はこのようなことが起こらないよう郵便引き落としに変更をした。

（10）リスクマネジメント

① 介護事故・ヒヤリハット報告書

19 年度は介護事故・ヒヤリハット報告が 21 件あった。昨年度は 34 件である。

事故・ヒヤリハット内容	件数
転倒（未遂）	14
けが（未遂）	1
車両事故（傷・へこみ等）	3
徘徊（未遂）	3

転倒が例年を通じて一番発生している。すぐに事故報告書を作成し回覧することで周知徹底、再発防止に努めている。今後も事故が起きないように努力を怠らず、起きてしまった場合の迅速な対応も心がけていく。

② 救急車要請記録

状態変化や事故等で救急搬送の事態に至ったケースは「事故・ヒヤリハット報告書」とは別に通所部門独自の「救急車要請記録」として報告書を作成しているが、平成

19年度の救急要請はなかった。

③ 防災避難訓練

月～土の利用者全員が訓練に参加出来るよう、2ヶ月に1回のペースで行った。「防災訓練手順」に基づいて行われ、実際に利用者の方々にも避難に協力していただき、職員も通報システムや消火器の使用等方法等再確認を行った。実施後、防火管理者（総務課長）より講評を行った。

実施日 : 5月10日（木） 7月16日（月） 9月4日（火）
11月13日（火） 1月18日（金） 3月27（木）

④ 情報収集

利用当初より緊急連絡先や服薬内容等が大幅に変更している利用者様がいるため、通所介護計画の見直し時に緊急連絡先やかかりつけ医、服薬内容の確認を行い救急搬送等の緊急時に備えた。個別ケースファイルの他、「緊急連絡先・医療情報」のファイルにも変更事項を記入している。

⑤ 緊急時想定訓練

法人主催で多摩市の消防署職員による心肺蘇生法（AED使用法など）の研修を行った。

(11) 受け入れ

①見学

平成19年度は41件の見学希望に随時相談員が応じ、施設内の案内やデイサービスのパンフレット、スケジュール、料金表等を希望によって渡し、説明を行った。その内29件は利用につながっている。（他事業所ケアマネ等の見学は含まない）

②一日体験

38人の体験希望者に対応し、送迎・食事等も調整した。37人は利用につながった。

③面接

新規・再開利用者を合わせて104名の面接を行った。相談員1名・ケアワーカー1名での訪問が基本だが、独居で自宅での面接が困難な場合等は施設内でケアマネ同席にて相談員が面接を行うこともあり、医療的なニーズの高い方（在宅酸素・胃ろう等）はナースが同行した。

(12) 連絡調整・他職種との連携

- ・利用者様やご家族のその日のニーズを汲み取り、対応出来るよう、連絡帳や送迎時に連絡があった場合は全職員への情報の周知を、ホワイトボードやデイサービス連絡帳を活用し相談員を中心に行った。
- ・緊急時にはスムーズに家族等の主介護者と連絡が取れるよう、利用開始時や通所介護計画書の説明時等に緊急連絡先の確認を行った。
- ・他の曜日への振替利用や臨時利用の希望には可能な限り対応し、入浴・送迎等の調整を行った。

- ・ デイサービスでの様子は毎月の実績とともに広報誌をお渡しし各事業所を回る際にケアマネージャーとの情報交換をおこなっている。面識が増えることにより他事業所からの新規相談件数も増え、その中からの新規契約の件数も上昇している。

(13) 情報の共有化

- ・ 1ヶ月に10ケース以上の新規・再開・中止等があり、通所介護計画の見直しも定期的に行うことから情報が目まぐるしく変化するため、全職員が同じ情報を共有することに努めた。
- ・ 朝のミーティング・午後ミーティング・入浴ミーティング・職員会議・デイサービス内部研修等の他、デイサービス連絡帳・入浴（一般浴・特別浴）連絡帳・ホワイトボード・回覧板の活用等にて情報の共有化を図った。
- ・ 主任会議や運営会議、在宅職員会議等議事録が作成されるとデイサービス連絡帳に記載し、各職員が議事録確認後サインをすることで情報を漏らさず取り込めるよう工夫した。しかし一部職員しか確認が身に付いていない現状もあり、課題である。
- ・ 相談員を中心に情報の集約・判断を行い、各職員に必要な情報を伝えた。

(14) 業務の標準化

サービスの質を保ち、業務を安全に効率的に勧めていくために、業務の標準化が不可欠である。継続して不足部分のマニュアル作成や定期的な見直しを行ったが、不十分であり今後も継続して作成していく必要がある。

(15) 役割分担

常勤職員のみならず、非常勤職員も中心となって多様化する利用者様のニーズに応えられるよう、主体的かつ効率的に業務を遂行できるよう、役割を分担した。

【役割例】 通所介護計画 マニュアル作成・見直し 事業計画・報告作成

いきがいデイ 視聴覚 観桜バスハイク ミニ盆踊り 敬老週間 紅葉バスハイク 年忘れ週間 アクティビティ 物品管理 誕生カード 等

4. アクティビティ実施報告

- 毎月下旬に翌月の活動や食事メニューを載せた「デイサービススケジュール」を連絡帳に挟んで渡している。利用者・ご家族様、他事業所等に様子がわかるよう、写真や絵を入れて理解しやすいように努めているが、個人情報保護法等の観点から写真は顔がなるべく映らないよう撮影し、個人が特定しづらいものを活用した。
- 生活リハビリの視点から、毎日行う午前・午後の体操やゲームの中で、楽しく体を動かす機会を確保している。誤嚥予防体操、脳活性化体操等、効果を伝えながら行うと目的意識を持つことにつながった。
- 平成19年度は行事としてのドライブ（観梅・観桜・紅葉）とは別に、定期的にドライブを取り入れた。多摩市の自然にふれるとともに、気分転換等精神の安定を図る目的で実施した。又、認知症デイの利用者様の状況を見て、不穏な状況の緩和・他利用者様への影響を軽減する為の外出活動の実施を行った。実施してみると外出の希望は多く、自宅から一人での外出や家族が連れ出すことは困難な利用者様が多い、また認知症の利用者様においては、外出により別の環境に触れることで、落ち着きを取り戻す状況がみられた。

（1）音楽療法

月4回（火・土2回ずつ）実施。音楽療法士の吉山先生・関口先生を中心に行われた。年間の実施回数は48回、1回の参加人数は30～40名程度。

五感への刺激を与える、季節を感じる、信頼関係を築く、感情表現・ストレス発散を促す、連帯感・心地よい雰囲気を楽しむこと等を目的としている。

主な使用曲一覧

4月	春が来た 仲良し小道 カッコー 青い背広で 東京ラプソディ 花 青い山脈 さくらさくら 朧月夜
5月	鯉のぼり 背くらべ バラが咲いた ウサギとカメ 茶摘み みかんの花 咲く丘 高原列車はゆく 東京の屋根の下 東京だよおっ母さん スワニ ー河
6月	汽車 雨降りお月・雲の陰 うめぼしの歌 丘を越えて 憧れのハワイ航路 知床旅情 瀬戸の花嫁 あめふり
7月	我は海の子 夏の思い出 明日があるさ どじょっこふなっこ カモメの 水平さん たなばたさま ズンドコ節 いつでも夢を てるてるぼうず ここに幸あり
8月	花火 浜辺のうた 東京音頭 北海盆唄 かぞえうた ラバウル小唄 お祭りマンボ 祇園小唄 長崎の鐘
9月	炭坑節 虫の声 金色夜叉 ずいずいずころばし 水戸黄門 月の砂漠 勘太郎月夜唄 北上夜曲

10月	故郷の空 村祭り 幼なじみ 鉄道唱歌 ウサギとカメ 船頭さん 村の鍛冶屋 湖畔の宿 さくら貝の歌
11月	もみじ 里の秋 花笠踊り 夕焼け小焼け 学生時代 りんごのうた 赤とんぼ 水色のワルツ
12月	たき火 冬景色 草津節 リンゴのひとりごと 歓喜の歌 お正月 君の名は きよしこの夜 蛍の光
1月	一月一日 富士山 大黒様 黒田節 雪 花咲じじい 新雪 ゲイシャ・ワルツ 懐かしのブルース 真白き富士の嶺
2月	冬の夜 かあさんのうた ソーラン節 鬼のパンツはいいパンツ カチューシャの唄 湯島の白梅 人生の並木道 砂山
3月	春の小川 花咲じじい カチューシャ 野崎小唄 白い花の咲く頃 うれしいひなまつり さくらさくら 蘇州夜曲 仰げば尊し

共通曲 : 開始 「白楽荘でこんにちは」、「故郷」
終了 「ふるさと」

(2) 絵手紙

毎月末(月)～(木)の月4回実施。絵手紙サークルの4～5名のボランティアより指導を受けている。楽しみにしている利用者は多く、当日に題材として季節の花を持参する利用者様もいる。仕上がった作品はデイサービスの掲示板に展示した。

題材例

4月	バラ 金太郎 鯉のぼり ボタン かぶと イチハツ シラン 五月人形 かきつばた つつじ	10月	こぶし 花水木 かすり あけび ききょう ザクロ マリーゴールド ほととぎす さざんか
5月	どくだみ ほたる袋 さつき つゆ草 アプチロン 山ボウシ ラン 富士山 昼顔 月見草 つりがね草	11月	紅葉 枯葉 イチョウ 山茶花 アプチロン ポインセチア 菊 ボケ アブチカン アメリカフヨウ クリスマスグッズ
6月	紫陽花 びわ ほたる袋 コスモス 昼顔 ザクロ ピーマン	12月	コマ 羽根 犬 獅子舞 ダルマ 山茶花 千両 ゆず 招き猫
7月	ザクロ おしろい花 むくげ アプチロン ほおずき 芙蓉 つゆ草	1月	鬼の面 ぜらニウム 山茶花 椿 シクラメン 雪だるま 紙風船 猫柳 水仙 千両 アプチン
8月	ひまわり ほおずき ガーベラ かぼちゃ ゆり かえる みょうが こぶしの実 ふよう	2月	菜の花 桜草 お雛様 ひし餅 梟 桃 ふきのとう 椿 ポリアンサス 日向夏 人形
9月	唐辛子 かぼちゃ こぶし キバナ コスモス アプチロン 菊 芙蓉 黄花 ななかまど 百日草 花見月の実 もっこく	3月	チューリップ 桜 パンジー ガーベラ 椿 彼岸桜 フリージア スイセン カーネーション ちんちようげ ブンタン

年間実施回数 48回 参加者数890名(デイ640名・いきがい250名)
1回平均参加者数 約15名

(3) 書道

18年1月から引き続き（月・火・金）は米谷講師、（水・木・土）は佐藤講師を招き、書道を月6回実施した。12月、佐藤講師が一ヶ月不在の日となり、職員見守りのもと、自主練習となった。参加することを決めている利用者様は多く、季節に合った言葉のお手本の中から利用者自身が好きな言葉を選んで練習。仕上がった作品はデイルーム内に掲示している。

年間実施回数 72回 参加者数 1224名（デイ864名・いきがい360名）

1回平均参加者数 12名

題材例

4月	淡桜 春の月夜 ふるさと 花見	10月	日暮 紅葉 水鏡 菊人形 秋の虫 体育 台風 読書 神無月 実りの秋 銀杏 収成
5月	花有清香 憲法 皐月 立夏 母の日 あやめ 五月雨 子供の日 新茶	11月	菊人形 夜長 晩秋 文化の日 寒いあさ 山茶花 冬至 師走 紅葉
6月	あやめ 月下美人 益友 あじさい あまぐも 水無月 父の日 六月	12月	茶梅 思い出 影武者 初詣 羽根 ゆず ねづみ さざんか
7月	花火 あさがお 海山 開き 金魚 花鳥風月 夏祭り 風鈴 うみやま 文月 夏休み 太陽	1月	わか水 元旦 睦月 初詣 福寿草 七草 初雪 成人式 だるま市
8月	研究 涼風 浮袋 清流 野球 ひまわり 夕立ち 涼風 盆おどり へちま 水辺 立秋	2月	豆まき 水仙 雪の連山 立春 遠山雪景色 ぼたん雪 紅梅 如月
9月	ぶどう 長月 涼風 秋分の日 敬老の日 秋分の日 涼風	3月	卒業 桃の花 早春 ひな祭り やよい 開花 桃まつり

(4) 裁縫

毎月（水）で月に2回程度、栗田講師を招き実施。継続して参加し、作品を仕上げることを楽しむ利用者が多い。かわいらしい作品が多いため創作意欲を刺激され、集中した時間を持つことができている。1回の平均参加人数は10名前後である。

月	作 品	参加人数	月	作 品	参加人数
4月	パッチワーク (マット)	10名	10月	クリスマスツリー	8名
5月		11名	11月		8名
6月		9名	12月	雛人形	9名
7月		10名	1月	講師都合より休止	
8月	小物入れ	8名	2月		
9月		9名	3月	小物入れ	9名

参加延べ人数 91名（いきがいデイ利用者を含む）

(5) 詩吟

毎月（土）に月１回、芦田講師を招き実施している。腹からの声を力一杯出すことで、健康作りにつながっている。１７年度に発足させた「詩吟愛好会」は、本年度も見送る形で、実施には至らなかった。

曲名例

月	内 容	参加人数	月	内 容	参加人数
４月	名槍日本号 偶成	１２名	１０月	名槍日本号	４名
５月	名槍日本号 金州城下の作	１１名	１１月	名槍日本号	５名
６月	黒田節 川中島	９名	１２月	名槍日本号 静夜思 陣中の作	１０名
７月	名槍日本号 川中島	９名	１月	名槍日本号 寒梅 松口風城	８名
８月	名槍日本号 九月十日 川中島	８名	２月	名槍日本号 寒梅 松口風城 静夜思	８名
９月	名槍日本号 九月十日 川中島	８名	３月	名槍日本号 九月十日 川中島	６名

参加延べ人数 ９８名

(6) 持ち帰り製作

月に一度、職員一名が担当者となり、１～２日間で終了出来る持ち帰り作品を考案し、提供している。１回平均１０名前後が参加出来るよう準備をしての実施となった。毎月、参加希望者が多く全員参加は難しい状況となっている。今年度は、新規の利用者も多く、作品を持ち帰った後、自宅で飾って家族で楽しまれている様子も見受けられた。来年度も、引き続き継続出来るようにして行く。

月	作 品	参加人数	月	作 品	参加人数
５月	貼り絵（アジサイ）	１０名	１１月	クリスマスリース	１３名
６月	キーホルダー	１２名	１２月	クリスマスリース	１３名
７月	七夕飾り	８名	１月	メッセージボード	１０名
８月	帽子	１２名	２月	雛人形	１２名
９月	折り紙	９名	３月	虹のロウソク立て	１０名
１０月	巾着	９名	４月	造花の鉢植え	１０名

参加延べ人数 １３０名

(7) 花びら絵文字

上田講師による、花びらの塗り方で５０音文字を表現し、季節の挿絵に花びらが散らしてあり、参加者自身が好きな言葉を考え、その言葉を表現できるように色を塗っていく活動であるが内容が難しい為か１９年度は５月と６月に２回実施したが参加者は各回１名のみであった。現在は休止している。

月	作 品	参加人数	月	作 品	参加人数
５月		１名	６月		１名

(8) レクリエーション体操

東京レクリエーション協会公認講師・宇賀神氏を迎え、平成18年度においては月5回の実施であったが、平成19年度より月3回程度実施となった。利用者様が目的意識を持って参加出来るよう、運動の効果を説明しながら身体を動かし、季節の歌をうたい、クイズで頭脳の体操をし、紐を用いた体操等に取り組んだ。特に最後の布ボールでのキャッチボールはいつも好評である。

年間実施回数 36回 1回参加人数 45名前後 (いきがいデイ利用者様を含む)

(9) リハビリ体操

毎月2回程度、(水)(金)にひばり会・岡田講師他数名を迎えて行った。使用用具はラップの芯、ストッキングを使い、歌いながら身体を動かしたり、運動の効果を説明しながら指先の運動をしたり、全身を動かす体操を行い心身機能の活性化を促した。

年間実施回数 24回 述べ参加人数 800名 1回参加人数 30名前後

(10) さわやか体操

12月より、宇賀神講師のレクリエーション体操の実施減による変わりの活動として、偕楽荘においても体操を指導されている中田講師を迎え、月2回の体操を取り入れた。内容としては、講師手作りの用具を使用して、身体を動かす、曲に合わせてリズムをとる、他利用者様との体操による交流等が含まれており、軽度な内容の体操の為ほとんどの利用者様の参加が可能となったが、講師の都合により活動継続が困難となり中止となった。

年間実施回数 8回 延べ参加人数 230名 1回参加人数 40名前後

(11) 社交ダンス

19年度5月より、月1回、曜日は不定期で車椅子レクダンス普及会の平井講師を招き実施している。椅子を大きな輪の体形で並べ利用者が着席、その輪の中でペアになり数組で踊っている。開始時は羞恥心から踊られる方が少なかったが、継続するうちに職員の声かけに応じられ踊られる方、また積極的に参加される方もでてきている。楽しみながら身体機能の活性化を目的に実施している。なお平井講師には無償にてご協力頂いている。

年間実施回数 12回 延べ参加人数 240名 1回参加人数 20名前後

(12) 制作活動

季節を感じつつ皆でひとつの作品を作る楽しみを味わえるよう工夫し、手先を動かす機会の確保につなげている。作品は毎月デイルーム、廊下の壁に飾っている。持ち帰り作品は好評で、塗り絵用カレンダーは毎月楽しみにしている利用者が多い。

月	カレンダー	誕生表	壁面
4月	桜	桜	桜
5月	竹と筍	こいのぼり	こいのぼり
6月	あじさい	雨とてるてる坊主	田植え
7月	七夕	七夕	夏祭り
8月	ひまわり	海	夏休み
9月	祝長寿	お月見	お月見
10月	菊	きのこ	柿の木
11月	コスモス	紅葉	紅葉
12月	ポインセチア	除夜の鐘	ポインセチア
1月	ねずみ	富士山	
2月	節分	春を待つ風景	菜の花
3月	雛人形	つくし	

(13) ゲーム

午後のアクティビティとして、30人規模で楽しめる内容を考えながら実施した。平成19年度は以前から実施しているゲームの他、新しいゲームも取り入れた。新たなゲームは主に大玉送り、フットサル等で下肢筋力を刺激し立位行為が取りやすくなるような運動となっており利用者の皆さんにも定着されつつある。来年度も引き続き新しいゲームの導入を図っていきたい。

【ゲーム例】 風船バレー フットサル 缶コロコロゲーム ストックアウト
 カーリング 魚釣りゲーム 床ダーツ 物送り ネズミ捕り
 風船バスケ リング送り うちわ玉送り 卓上ピンポン 小玉送り
 ボトルボーリング 大玉送り ドッチボール 玉入れ シーツバレー
 輪投げ 物当て ダーツゲーム サイコロゲーム ボールエクササイズ

(14) 学習療法

本年度も引き続き、計算・漢字・音読・書き取りの教材を用いて認知症（進行）予防を図っている。脳の働きを活性化し、達成感を得ることにより喜びや自信などが生まれ、ADLの向上やコミュニケーション能力等を引き出すことを目的とする。参加者は一回につき10名前後で、希望者のみ行っている。音読においては、落語を取り入れる等興味を持って行ってもらえるように、新しい題材選びも実施した。

(15) 水彩画

午前の活動において、季節の植物や行事等の絵柄を選び、絵の具で塗っていただいた。準備・片付け等の時間を考え短時間で作品を仕上げるのは難しく、中途の作品が出てしまった為、お返しできない状況になってしまった。2月からは午前には体操等の身体的運動を行った日は、午後水彩画等の芸術的な活動、ゆっくり出来る活動を提供する事とした。

(16) 外出活動

自宅では外出が困難な利用者が多く外出活動は好評である。行事での観桜や紅葉のバスハイクとは別に、気候のいい日に散歩やドライブに出かけることは、臨機応変に可能な限り行っている。ドライブでは近くの永山から多摩市の周辺地域まで足を伸ばすこともあり、散歩は東中野公園や山王下遊歩道を散策した。散歩は人数に限られるため、少人数の認知症デイにて多く実施した。

(17) 特別活動

19年度も多くのボランティアさんを招聘し特別活動を実施した。利用者により好みがあるため無理強いする事のないようご希望を確認して参加していただいた。賛否両論別れる活動もあったが多くの活動で大変好評をいただいた。平成20年度も力を入れて実施していきたい。

実施日	活動名	参加人数	内 容
4/3(火)	マジックショー	約45名	団体名チャーリー東京から1名来荘いただいた。腹話術・ものまね・歌・ジャグリングを30分間披露して頂いた。
4/28(土)	落語	40名	中央大学落語研究会から6名の来荘でした。45分間の落語2席と大喜利を披露して頂きました。
6/9(土)	クラシックバレエ	約40名	松が谷高校より、ボランティアとして2名来荘されました。30分間で曲目・構成をし、披露して頂きました。大変好評でした。
6/18(月) 19(火) 12/17(月)	園児交流	45名	おだ幼稚園から、園児30名来荘。歌を唄ったり、ゲームをして触れ合いの機会を設けました。年忘れ週間にも来荘頂きました。
7/27(金)	大正琴演奏会	40名	偕楽荘職員1名の所属する、大正琴の会に来荘いただき大正琴の演奏を1時間披露していただきました。
8/23(木)	美容講座	12名	資生堂化粧品から、福祉美容の担当者の樋口様1名を招き、利用者の方に化粧を施して頂きました。
9/12(水) 14(金)	日本舞踊	45名	敬老週間の行事の中で宇賀神先生のご紹介から、霞会4名・かたばみ会7名の方に来荘頂き、演技を披露して頂きました。
9/13(木)	越中おわら節踊り	約40名	敬老週間の間に、利用者の方の要望も多かった為、職員2名が所属する、踊りの会より12名来荘して頂きました。30分間披露して頂きました。

9/15 (土) 12/22 (土)	ベルブ ブラスバンド	約 4 5 名	敬老週間、年忘れ週間に多摩市で活動されている小学生～大学生を中心に構成されたブラスバンドの団体に 20 名来荘頂き、演技・曲を 1 時間披露して頂きました。
9/17 (月)	松が谷高校合唱部	約 4 0 名	敬老週間中に松が谷高校から、5 名合唱部に来荘頂き 4 5 分間合唱を披露して頂きました。
10/10 (水) 1/31 (木)	アニマルセラピー	約 1 2 名 ～ 2 0 名 程度	東京ペットコミュニティ専門学院より協力を頂き、犬とふれあう機会を 1 時間設けました。
10/13 (土) 12/19 (水)	リラの会 コーラス	約 3 5 名	国立音大付属高校より、コーラスの会から学生 13 名に来荘頂き、合唱を 1 時間披露して頂きました。年忘れ週間においても再度の来荘を頂きました。大変好評でした。
11/3 (土)	東京姉妹	3 5 名	芸能界でデビューの為、老人施設にて一度披露したいとの事で 2 名小学生が来荘し、歌を 30 分間披露頂きました。
11/21 (水)	大正琴講演会 (すずかけの会)	4 0 名	すずかけ大正琴の会より、5 名来荘。1 時間演奏して頂きました。
12/21 (金)	オカリナ シャンソン	4 5 名	宇賀神先生の紹介で、タートルズより 4 名来荘し、1 時間歌を披露して頂きました。
2/6 (水)	五箇山踊り	4 5 名	職員 1 名の所属する踊りの会より、1 0 名程来荘して頂き、踊りを 30 分間披露して頂きました。
3/8 (土)	ことぶき太鼓	約 5 0 名	いきがいの特別プログラムにて、ことぶき太鼓の会より、3 名来荘され、演奏を披露して頂きました。
3/26 (水)	アコーディオン 演奏会	約 4 0 名	職員からの紹介で 1 名演奏者をお招きしました。1 時間披露して頂きました。

5. 行事報告

行事の実施においては、日常プログラムとは異なる趣向を凝らした内容（ボランティア・学校関係・サークル団体等の催し物・演奏会）で実施した。観桜や紅葉のバスハイクは季節感を味わうことができ、日常閉じこもりがちな利用者様の楽しみの一つになっている。臨機応変に実施できるよう来年度より「バスハイク」関係は「通常アクティビティ」として実施する方針である。

利用者のニーズを探りながら今後も充実した行事を企画実施していく。

（１）観桜バスハイク

桜の見所（乞田川沿い・一本杉公園・永山桜通り・愛宕通り・別所リアなどの中からピックアップしたコース）をマイクロバス等で廻った。満開から１週間程度実施した。朝送迎の到着時間等の事情もあり、午後のみの実施となった。

（２）ミニ盆踊り

日 程	場 所	参加人数	内 容
7 月 30 日（月）	デイルーム	4 1	会場（デイルーム）に提灯を飾り付けしハッピーを用意。「愛宕太鼓」より１日３～５名の協力を得て実施した。 「東京音頭」「炭坑節」「桜音頭」の曲を使用し、利用者も輪の中に入って踊り、太鼓をたたいたりする人もあった。
7 月 31 日（火）		5 4	
8 月 1 日（火）		5 1	

参加延べ人数 1 4 6 名（いきがいデイ利用者を含む）

（３）敬老会

9 月 11 日（火）	デイルーム	4 3	昼食に特別メニューを提供した。90 歳以上の利用者様へ顔写真付きメッセージカードをプレゼントし、利用者様からとても喜ばれた。特別企画として、日本舞踊・越中おわら節・ブラス演奏・高校生の合唱などを実施した。
12 日（水）		5 4	
13 日（木）		4 1	
14 日（金）		4 8	
15 日（土）		5 2	
17 日（月）		4 0	

参加延べ人数 2 7 8 名（いきがいデイ利用者を含む）

(4) 紅葉バスハイク

11月 16日(金)	多摩市 及び 八王子市内	27	紅葉の見所(松が谷・上の根通り・一本杉公園・永山6丁目・永山いちよう通り・愛宕通りなどの中からピックアップしたコース)をマイクロバス等で廻った。紅葉の見頃は場所によりバラツキが大きく、日程調整が難航した。朝送迎の到着時間等の事情もあり、午後のみ実施となった。 (人数が少ない日は音楽療法実施の為)
17日(土)		3	
19日(月)		30	
20日(火)		1	
21日(水)		15	
22日(木)		27	
23日(金)		25	
24日(土)		20	

参加延べ人数 148名(いきがいデイ利用者を含まず)

(5) 年忘れ会

12月 17日(月)	デイルーム 多目的 ホール	51	クリスマスツリー等を飾った。昼食は特別メニュー、おやつにケーキを提供した。園児交流・合唱・オカリナ演奏・ブラス演奏等を企画し実施した。クリスマスプレゼントは均一量販店にて購入し、利用者一人ひとりの趣向・好み等を考慮した様々なプレゼントが好評であった。
18日(火)		53	
19日(水)		54	
20日(木)		43	
21日(金)		48	
22日(土)		33	

参加延べ人数 282名(いきがいデイ利用者を含む)

(6) お正月

年始のご挨拶に年賀状を利用者・他事業所へ送付した。1月4日(金)～1週間程、デイルームに鏡餅や凧等お正月飾りで雰囲気演出、アクティビティにお正月ゲーム(カルタ、羽根つき、コマ回し、福笑い等)を取り入れ新年の楽しみを味わっていただいた。

(7) 節分

1月 31日(木)	デイルーム	34	職員が鬼を演じて、利用者が鬼に目掛けて節分豆を投げ厄ばらいを行った。豆を投げるという動作は楽しみながら運動機能向上の一助ともなっている。終了後転倒事故防止等の為、確実な豆の除去作業も行った。
2月 1日(金)		43	
2日(土)		45	

参加延べ人数 122名(いきがいデイ利用者を含まず)

(8) 誕生者へのお祝い

各月の担当者がバースデイカードを作成し郵送した。利用者様やご家族からも喜びの声も聞かれており好評であった。毎月デイルームに誕生者の名前を掲示すると同時に、帰りの挨拶時に誕生日当日や誕生日に近い利用者様がいる場合は「Happy Birthday To You」を歌ってお祝いをした。皆様から大変喜ばれた。

6. 各種会議

(1) 施設内会議

① 通所介護部門職員会議（第2・4（木） 計24回実施）

サービス担当者会議（利用者様の新規や再開、長期欠席や中止等の変更事項）、各種会議・研修・苦情解決・介護事故報告、いきがいデイサービス、行事アクティビティ、介護計画等の議題にて話し合い、その都度必要事項を議論した。

② 通所介護計画作成カンファレンス（16時以降開催 年間200ケース程度実施） 送迎業務のない職員数人で通所介護計画の作成と見直しを行った。

③ 朝ミーティング

④ 栄養課在宅会議

⑤ アクティビティ会議

} 関係箇所で開催

⑥ ケースカンファレンス（〔火〕 計24回実施）

デイサービス、訪問介護、食事サービス等の在宅サービス利用者様について、ケアマネ、サービス事業者から報告を行い、全体的な状況把握に努め、より良いサービス提供を目指す目的で行われた。（新規・サービス再開・定期見直し・必要時）

⑦ 午後ミーティング

(2) 外部会議

市内や市外の事業者との情報交換の場となっており交流により様々な情報を得ることができ、見直しの機会にもなった。

主 催	会議名	日 程	出席者
多摩市内 通所サービス 事業者	デイサービス・いきがい デイサービス連絡会議	5月19日（木）	田畑 向井 高田
		7月19日（木）	三宅
		9月20日（木）	三宅
		11月15日（木）	施設長 三宅 高田
		1月17日（木）	田畑 三宅
		3月20日（木）	田畑 砂原

サービス担当者会議は、他事業所より要請があった場合、可能なかぎり対応をし、連携をとっている。

7. 研修

(1) 外部研修

職員の資質向上を目的に下記の外部研修に参加した。昨年度より多くの研修に参加でき、情報を持ち帰った職員はレポートを作成し全職員が閲覧出来るよう回覧し、職員会議にて各自研修報告を行った。

研 修 名	日 程	参加者
認知症介護実践者研修	5 月 1～2 日	高橋
決算書を読み解く研修会	6 月 28 日	田畑
要介護高齢者のための口腔ケア	7 月 15 日	塚原
関東ブロック老人福祉施設研究総会	9 月 18～19 日	高田 砂原
ケアマネ研修	9 月 26, 30 日 10 月 9, 10, 20 日 11 月 18, 19 日	田畑
普通救急救命講習		向井
アクティブ福祉 in 東京	9 月 26 日	奥江
認知症介護研修公開講座	10 月 24～25 日	砂原
高齢者福祉施設などにおける感染症予防対策講習会	11 月 13 日	田畑
学習療法士 2 級研修会	11 月 17 日	小林
介護報酬事務に関わる研修会	12 月 6 日	奥江
介護サービス事業管理者研修	2 月 22 日	田畑

(2) デイサービス内部研修

非常勤職員のみでなく常勤職員も可能な限り参加し、業務の標準化、情報の共有化の機会とした。時間を作り出すことは難しく、開催を増やすことは出来なかったが、今後も継続していきたい。

日 程	テーマ	講 師
8 月 29 日 8 月 30 日 9 月 1 日	サービスマナー研修	在宅課長
9 月 28 日	手洗い・嘔吐物の処理研修	白楽荘主任看護師
12 月 4 日	機能訓練加算をスタートするにあたっての基礎知識習得（1 回目）	東京都老人総合研究所 仲 貴子氏
12 月 7 日	機能訓練加算をスタートするにあたっての基礎知識習得（2 回目）	東京都老人総合研究所 仲 貴子氏
2 月 27 日	AED使用方法について	多摩消防署

8. 地域交流

(1) 介護者教室実施報告

平成19年度は下記の通り3回実施した。

	開催日時	テーマ	講師	出席者数
第1回	平成19年5月18日（金）	「認知症を持つ家族の希望と現実」	認知症介護者会「いこいの会」 村松 啓子氏	24名
第2回	平成19年10月11日（木）	「高齢者の介護食をもっと豊かに 楽しくするために」	キューピー株式会社 大槻 利夫氏	16名
第3回	平成20年1月21日（月）	「学習療法から見た認知症の現状」	くもん学習療法センター 二瓶 澄夫氏	6名

- ・ 「認知症を持つ家族の希望と現実」
認知症介護者会「いこいの会」から桜井氏、村松氏より実際の介護体験談をお話しいただいた。
- ・ 「高齢者の介護食をもっと豊かに楽しくするために」
高齢者の食事と栄養について・咀嚼、嚥下についての講演と試食をおこなった。
- ・ 「学習療法から見た認知症の現状」
認知症のイロハ・脳の仕組みと役割・学習療法の意味と実践例について講演、学習療法の説明をおこなった。
- ・ 各回開催後にはアンケートを実施した。今後取り上げてほしいテーマについては「認知症について」「紙パズルの使用方法について」などが複数名いた。その他介護体験者の話を聞きたい、新情報を聞きたい、高齢になっても健康で暮らせるような勉強会等が挙げた。これらの意見を参考にして今後も実施していきたい。
- ・ 19年度も多摩市の広報に掲載し広く参加者を募った。また、玄関外やロビーの掲示板、白楽荘のサービス利用者の方々にお知らせを配布する等のPRを行った。

(2) ボランティア受け入れ状況

18年度と比較し、長期間に渡り活動を継続して下さっているケアワーカーの補助的ボランティアは全体的に減少している。地域に開かれた施設を目指すためにも、新たなボランティアを今後も受け入れていきたい。

【主な活動内容】

到着時の出迎え お茶出し 話し相手 簡単な移乗介助 アクティビティの手伝い 体操の準備 ベッドの準備
食後のベッドへの誘導 入浴後のドライヤー 昼休みの見守り 陶芸 行事付き添い 将棋相手 車椅子ダンス
麻雀相手

敬老週間や年忘れ週間、盆踊り、フラダンス等披露して下さったり、日々のアクティビティにおいて百人一首、折り紙などの活動を行っていた。 (詳細はアクティビティ・行事に記載)

交通費程度を支給している有償ボランティアの方々には日々の活動に多大な協力をいただいている。利用者の趣味活動の拡大を図るためにも今後も連携をとりつつ協力をお願いし、ますます幅を広げていきたい。

【有償ボランティア：主な活動内容】

レクリエーション体操 リハビリ体操 書道 絵手紙 詩吟 俳句 裁縫 パッチワーク

9. 通所サービス実習生受け入れ

(1) 在宅部門のみでの受け入れ

平成19年度は3つの団体の実習を受け入れた。理論や技術の伝授、実習生からの質問等によって、職員側も日々の介護等自分たちの行っている内容を再確認し、学び直す良い機会となっている。初めての实習という実習生に向けて、在宅部門のみでの受け入れの場合は初日の朝に相談員よりオリエンテーション（デイサービスの概要・併設施設の説明・守秘義務について・施設案内等）を行っている。資料として在宅部門のパンフレットや「実習にあたってのお願い」、実習日課を渡し、一日の流れがスムーズに把握出来るようにしている。

学校名	実習目的	日数	延べ人数
ベネッセコーポレーション	ヘルパー2級	1日	25名
野津田高校	介護福祉士	3日	24名
八王子技術専門校	ヘルパー1級	2日	20名
多摩市立東愛宕中学校	職場体験	2日	5名

(2) 特別養護老人ホーム主体の受け入れ（学校名特養部門参照）

各フロアの実習担当者等と日程を調整し受け入れている。朝のオリエンテーションは行っていないが、パンフレットと実習日課を渡している。

実習目的	延べ人数
介護福祉士	34名
社会福祉士	11名
看護師	6名

平成19年度 白楽荘通所サービス統計

1. 新規/再開利用者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規	13	6	13	5	5	8	13	6	4	8	12	11	104

2. 中止者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
中止	5	6	6	7	10	5	4	14	3	9	8	11	88

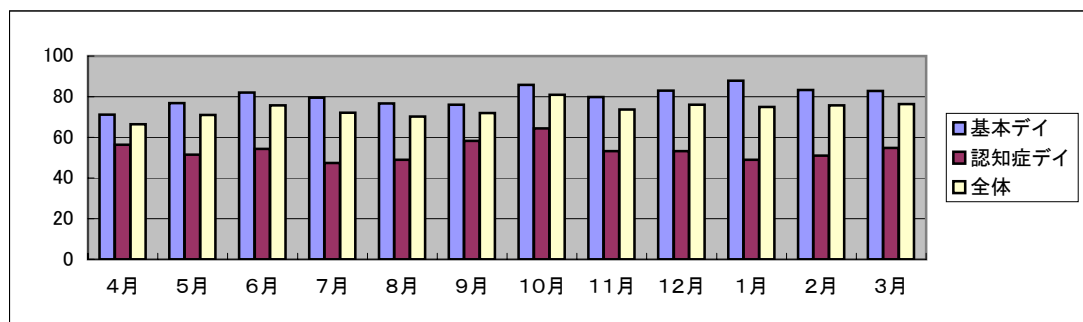
3. 利用者延べ利用回数/稼働率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開催日数	25	27	26	26	27	25	27	26	25	24	25	26	309
基本	714	830	857	844	844	761	894	830	830	799	833	861	9897
(稼働率%)	71.2	76.9	82.1	79.5	76.7	76.1	85.9	79.8	83	87.8	83.3	82.8	80.1
認知症	169	167	170	149	162	175	201	166	160	138	153	171	1981
(稼働率%)	56.3	51.5	54.4	47.4	49	58.3	64.4	53.2	53.3	48.9	51	54.8	53.4
全体	883	997	1027	993	1006	936	1095	996	990	937	986	1032	11878
(稼働率%)	66.5	71	75.7	72.1	70.3	72	80.9	73.7	76.1	75	75.8	76.3	73.9

4. 平均利用率

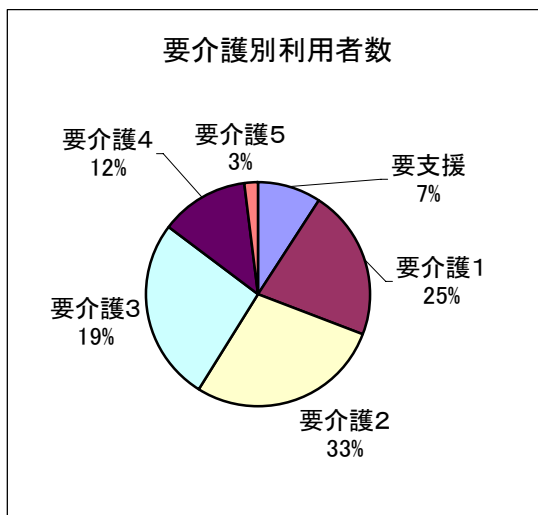
(%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
基本デイ	71.2	76.9	82.1	79.5	76.7	76.1	85.9	79.8	83	87.8	83.3	82.8	80.1
認知症デイ	56.3	51.5	54.4	47.4	49	58.3	64.4	53.2	53.3	48.9	51	54.8	53.4
全体	66.5	71	75.7	72.1	70.3	72	80.9	73.7	76.1	75	75.8	76.3	73.9



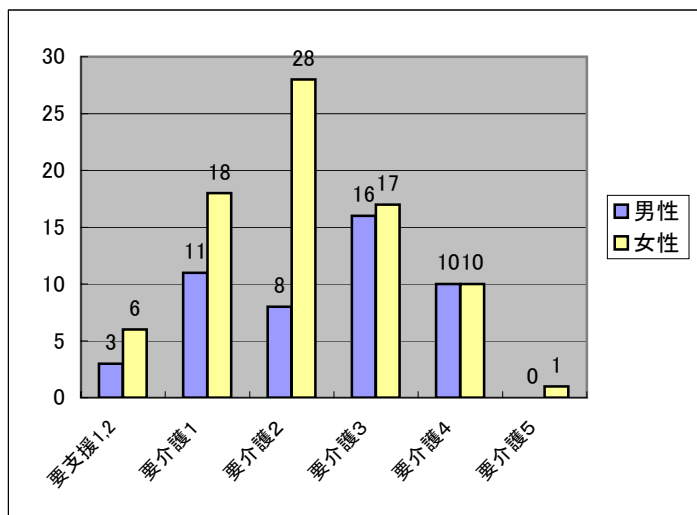
5. 介護度別年間延べ利用者数

介護区分	基本デイ	認知症デイ	合計
要支援1,2	1080	0	1080
要介護1	2485	84	2569
要介護2	2957	383	3340
要介護3	2159	971	3130
要介護4	1118	406	1524
要介護5	98	137	235
合計	9897	1981	11878



6. 介護度別登録者数 (平成20年3月末時点)

介護区分	男性	女性	合計	%
要支援1,2	3	6	9	7%
要介護1	11	18	29	23%
要介護2	8	28	36	28%
要介護3	16	17	33	26%
要介護4	10	10	20	16%
要介護5	0	1	1	1%
合計	48	80	128	



7. 男女比

(平成20年3月末時点)

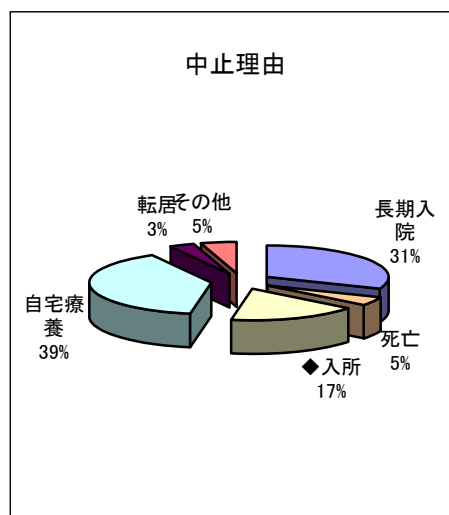
女性実利用者	80名
男性実利用者	48名

8. サービス中止者理由別

中止理由	
長期入院	27
死亡	4
◆入所	15
自宅療養	34
転居	3
その他	4
合計	87

◆入所内訳

老健	7
特養	5
グループホーム	2
有料ホーム	1
合計	15



平成19年度食事サービス（多摩市委託事業）

- ・ 食事メニューを月末から月初めに弁当と一緒に配布した。
- ・ 新規利用者や曜日変更希望の調整、欠席者の対応、配達不在時に支援センターやケアマネ等と連携を取り合い、安否確認を行った。
- ・ 新規利用希望者は増加傾向にあり、可能な限り希望の曜日の配達を行った。
- ・ 新規利用希望の依頼には早急に対応し、翌日からの配達も調整した。

食事サービス実績

月	合計食数	1日平均	月	合計食数	1日平均
4月	161	8, 1	10月	230	10, 5
5月	169	8, 0	11月	205	9, 8
6月	172	8, 2	12月	192	10, 1
7月	203	9, 7	1月	183	9, 6
8月	235	10, 2	2月	200	10, 0
9月	197	10, 9	3月	189	9, 5

参考）食事サービスメニュー配布例（A4判）

平成20年3月 食事サービスメニュー

月	火	水	木	金	土
★仕入れ具合によりメニューが変更になる場合があります。ご了承ください。					1日
					休み
3日(521kcal)	4日(506kcal)	5日(503kcal)	6日(550kcal)	7日(545kcal)	8日
ご飯 豚肉の葱味噌焼き さつま芋甘煮 いんげんのお浸し 茄子と葱の味噌汁	ご飯 シューマイ 小松菜の菜種和え 漬物 玉葱と椎茸の味噌汁	赤飯 もう一品 ホタルイカの酢味噌和え 天ぷら(海老・茄子・タラの葉・椎茸) 吸い物	ご飯 鯖のゆうあん焼き うずら豆甘煮 漬物 すいとん	ご飯 クリームシチュー スクランブルエッグ 野菜のソテー(人参・いんげん) 路の胡麻和え	休み
10日(623kcal)	11日(570kcal)	12日(533kcal)	13日(571kcal)	14日(585kcal)	15日
ご飯 天ぷら(海老・さつま芋・いんげん・茄子) カリフラワーの胡桃和え うずら豆甘煮 キャベツと玉葱の味噌汁	ワカメご飯 鯖の文化干し 炒り豆腐 漬物 清汁	ご飯 鯖の塩焼き 南瓜のいとこ煮 漬物 葱と椎茸の味噌汁	ご飯 ポークカレー ほうれん草サラダ パイナップル	ご飯 ミートボールのトマト煮 竹輪甘煮 洋梨 大根と椎茸の味噌汁	休み
17日(578kcal)	18日(450kcal)	19日(564kcal)	20日	21日(472kcal)	22日
ご飯 コロッケ(メンチ・帆立) すき昆布炒め煮 佃煮 里芋と油揚げの味噌汁	五穀ご飯 鰯の塩焼き ぜんまい炒め煮 けんちん汁	ご飯 若鶏のから揚げ 菜の花の胡麻和え 漬物 豆腐となめこの味噌汁	休み	ご飯 白身魚のフライ だし巻き卵 もずく酢 茄子と葱の味噌汁	休み
24日(504kcal)	25日(538kcal)	26日(620kcal)	27日(516kcal)	28日(693kcal)	29日
ワカメご飯 豚肉と海鮮野菜炒め 海老シューマイ 漬物 豆腐と三つ葉の味噌汁	ご飯 若鶏の照り焼き ぜんまい炒め煮 パイン 里芋と青菜の味噌汁	ご飯 サクサクヒレカツ 大根と帆立薄く煮 漬物 豆腐とワカメの味噌汁	ご飯 カレイの竜田揚げ フレッシュサラダ 漬物 キャベツとアサツキの味噌汁	ご飯 さつぱり焼肉 漬物 胡瓜と錦糸卵の酢の物 油揚げと玉葱の味噌汁	休み
31日(523kcal)					
ご飯 鰯の煮付け生姜風味 長芋含め煮 お浸し 味噌汁					

平成19年度 白楽荘在宅サービスセンター事業報告

いきがいデイサービス事業（多摩市委託事業）

1. 概要

統計 【資料1】

- ・ 登録者数（平成20年3月現在）
男性 12名 女性 28名 合計40名
- ・ 新規登録者 9名
- ・ 中止者 6名（内訳：介護保険サービスへの移行5名、本人希望1名）
- ・ 平均年齢（平成20年3月末現在） 83, 5歳

2. 事業報告

（1）サービス概要

- ・ 担当地域包括支援センター（多摩センター 西部 中部 南部）と連携を取り、見学者・体験利用者・新規利用者を受け入れ、ニーズや状況把握に努めた。また、登録者の状況変化についてもその都度、包括担当者に連絡し利用者の日常生活の安定のため連携を図った。
- ・ 介護保険とのボーダーの方が増える傾向にあり、見守りや介助を要する方も多く利用している。自立度の高い方との差があるので、活動内容のレベルに幅を持たせる必要がある。活動内容や人数によって職員配置を考慮し2名ないし3名体制をとった。
- ・ 全員の方が送迎サービスを利用している。可能な限りニーズに対応するため、2便または3便体制で送迎を行った。利用者の増加と高齢化・虚弱化に伴い、今年度から運転専属職員を配置し、送迎時の安全を確保した。また、送迎に時間がかかるため、活動の提供に影響が出ないよう3便の場合は必ず人員配置を3名で行った。
- ・ 翌月の広報誌（活動スケジュール・食事メニュー）を20日過ぎから配布し、目的意識をもって利用できるよう情報の提供を行った。 【資料2】
- ・ 年度末にアンケートを実施し利用者のニーズ把握に努めた。今後のサービスへの参考にしていく。 【資料3】

（2）健康増進

① 体操

通常は体操を午前・午後の2回行い、利用者様の健康維持を図っている。一日の利用人数から、いきがいデイの部屋での実施は困難なため、多目的室や会議室等にて行った。気分転換や運動も兼ねて、天気の良い日には近くの公園にて実施した。

② 健康管理

センター到着後、バイタルチェックや様子観察を行い、状態変化を見逃さないよう努めた。また、風邪の流行る冬季には朝の到着時に、うがい・手洗いも実施した。

③ 散歩

気候が良い日には外出の機会を持ち、体力作りにつなげた。

散策した公園： 中沢池公園 東中野公園 山王下緑地 高幡不動尊 薬師池公園
桜ヶ丘聖蹟記念公園

④ ゲーム

体を楽しく動かすゲームを取り入れ、心身機能の活発化を図った。

〔内容〕 室内ゲートボール スカイクロスゲーム ボーリング 人間すごろく等

⑤ 手先の運動

手先を使った運動やゲームも日々の体操や活動の中に取り入れ、脳の活性化を図った。

〔内容〕 指遊び、じゃんけんゲーム、将棋、オセロ、ジェンガ、カードゲーム等

(3) 趣味活動・アクティビティ

利用者のレベルに差があり、それぞれの希望や能力に合った趣味活動が提供出来るよう、毎月活動内容を検討した。

① 制作活動

(個別作品)

個々にレベルに合うものをそれぞれのペースで作成できるよう援助した。

〔内容〕 小物入れ 六角形小箱 七夕飾り 折り紙 タオル犬
あんでるせん手芸 クリスマスリース 布ふくろう 花瓶敷き
大人のぬりえ 鉛筆たて 卓上ゴミ箱 折り紙人形 スツール
クッションカバー 折り紙くす玉 巾着袋 ティッシュボックス
ひょうたん押し絵など

(共同作品)

空き時間を利用してどの利用者でもできるよう配慮した壁面作品を制作した。

〔内容〕 クリスマスツリーとサンタクロース (折り紙)
梅にうぐいす (折り紙・切り絵)

② 陶芸

毎月陶芸週間を設け、月～木の4日間実施。昨年同様、職員が講師を務めながら行った。

〔作品〕 小さめの器 湯のみ お皿 いのししの置物 花器 自由作品

月	作 品 ・ 内 容	参加人数
4 月	小鉢などの成形	3 1 名
5 月	小鉢などの釉薬がけ	3 1 名
6 月	湯のみ、お茶碗などの成形	3 1 名
7 月	湯のみ、お茶碗などの釉薬がけ	3 0 名
8 月	お皿の成形	3 2 名
9 月	お皿の釉薬がけ	3 2 名
1 0 月	ねずみの置物の成形	3 2 名
1 1 月	ねずみの置物の成形	3 1 名
1 2 月	花器の成形	3 1 名
1 月	花器の釉薬がけ	2 7 名
2 月	自由成形	2 6 名
3 月	自由成形の釉薬がけ	3 2 名

延べ参加人数 3 6 6 名

③ パッチワーク

毎月第 2 ・ 4 （金）に実施。講師が家庭の事情で 1 8 年度をもって辞められたため、1 9 年度は職員が講師を務めながら行った。作品は職員と利用者が一緒に考えながら決定した。元講師からは随時アドバイスをいただいたり、材料も提供していただいた。

月	主 な 作 品	参加人数
4 月	サッカーボール ポシェット クッションカバー	1 7 名
5 月	手さげ フラワーピンククッション コースター	1 4 名
6 月	サッカーボール ヨーヨー敷物 クッションカバー	1 4 名
7 月	サッカーボール クッションカバー ヨーヨー敷物	1 3 名
8 月	サッカーボール クッションカバー 巾着袋	1 5 名
9 月	サッカーボール ポシェット コースター 敷物	1 4 名
1 0 月	ペンタゴンボール ポシェット 手さげ 巾着袋	1 5 名
1 1 月	ペンタゴンボール サッカーボール 巾着袋 敷物	1 8 名
1 2 月	ペンタゴンボール クリスマスツリー クッションカバー	1 0 名
1 月	ペンタゴンボール スカラップ小物入れ 手さげ	1 2 名
2 月	クッションカバー スカラップ小物入れ 手さげ	1 0 名
3 月	ティッシュカバー ポシェット ソーイングバスケット	1 6 名

参加延べ人数 1 6 8 名

④ 裁縫

原則として毎月第 1 ・ 3 水曜日に実施。例年どおり栗田講師の指導の下で作品作りを楽しんだ。（1 月～ 2 月は講師の都合で休み）

月	主 な 作 品	参加人数
4月	刺し子 パッチワーク (マット)	10名
5月	パッチワーク (マット)	11名
6月	パッチワーク (マット)	11名
7月	パッチワーク (マット) 皿状小物入れ	9名
8月	皿状小物入れ	8名
9月	皿状小物入れ クリスマスツリー	9名
10月	クリスマスツリー	9名
11月	クリスマスツリー	11名
12月	ひな人形	12名
3月	3面縫い合わせ小物入れ	9名

参加延べ人数 99名

⑤ パソコン

年度当初はパソコンで囲碁を楽しむ方もいたが、興味を持つ方が広がらず現在ではほとんど利用されていない。

(4) 特別活動

自宅から一人での外出が困難な利用者が多い為、外出機会のニーズは変わらず高い。特別活動プログラムでの外出や施設内での催しを盛り込み、リフレッシュしていただくと共に、心身の活性化につなげた。

① ショッピング

主にスーパー三和堀之内店、サンキへショッピングに出かけた。平成19年度は計24回実施、延べ196名参加された。

日 程	人 数	日 程	人 数
4月11・16	20名	10月2・29	19名
5月2・14	16名	11月1・5	17名
6月11・13	15名	12月5・17	15名
7月4	4名	1月16・28	20名
8月8・13	17名	2月13・25	19名
9月21・26	17名	3月5・31	17名

② その他の外出・特別プログラム

利用者の希望を取り入れながら定期的に外出の機会を調整した。普段と異なる外出の機会はリフレッシュになるため、今後もニーズを把握しながら継続していきたい。

日 程	内 容	外 出 先	参加人数
4月2日～5日	観桜バスハイク	乞田川沿い・貝取～永山さくら通り・一本杉公園～唐木田しだれ桜・長池公園	延べ 33名
4月12日	外出活動	桜ヶ丘聖蹟記念館	9名
5月19日	特別プログラム	神代植物公園散策と 深大寺そば御膳の昼食	21名
6月 7日	外出活動	貝取甘味処 遊夢	10名
7月 5日	外出活動	絹の道資料館	8名
7月 9日	外出活動	多摩歴史ミュージアム	9名
7月14日	特別プログラム	食事会 桜ヶ丘旭鮎	28名
7月20日	外出活動	八王子長池 柚子木庵	7名
8月27日	外出活動	八王子 花畑かたくり	11名
9月15日	敬老行事 特別プログラム	AM ボーリング大会 PM ブラスバンド演奏会	13名
9月28日	外出活動	八王子 長池自然館他	6名
10月12日	外出活動	唐木田 カフェドスール	8名
11月26日	外出活動	多摩中央公園 ウェルサンピア多摩	9名
11月 7日 ～22日	紅葉バスハイク	一本杉公園・上之根大通り・ 尾根幹線・永山桜通り 諏訪の谷通り	56名
11月17日	特別プログラム	出張江戸前寿司と ビデオ（寅さん）鑑賞会	25名
12月 7日	外出活動	高幡不動尊	8名
2月 1日	外出活動	薬師池公園（町田市）	5名
2月14日～ 3月17日	観梅ドライブ	瓜生緑地公園 青木葉通り 永山 桜ヶ丘原峰公園 高幡不動尊	52名
3月 8日	特別プログラム	出張江戸前寿司と 寿太鼓の会	26名
3月28日～ 4月 4日	観桜ドライブ	乞田川、永山桜通り、一本杉公園、川井家のしだれ桜、唐木田、長池ひかん桜	53名

参加延べ人数 397名

(5) その他

① 喫茶・図書コーナー

希望者は楽友会の喫茶コーナーや図書コーナーを利用し、主に昼休みの時間に団欒・読書等を楽しんでいる。

② 基本デイサービスとの活動

レクリエーション体操・音楽療法・書道等、基本デイサービスで行われる活動に希望により参加している。ボランティアによる特別プログラム（発表会）等が基本デイルームで行われる時には合同で参加した。

〔内容〕 ・マジックショー（４月） ・おだ学園幼稚園園児交流（６月）
・大正琴演奏会（７、１１月） ・愛宕子ども太鼓ミニ盆踊り（７、８月）
・資生堂 美容講座（８月） ・アニマルセラピー（１０月）
・五箇山踊り（２月） ・ことぶき太鼓の会（３月）

③ 防災避難訓練

基本デイサービスにて２ヶ月に１回行われている訓練に合同で参加した。避難場所や施設内の設備について再確認出来る機会となった。

(6) いきがいデイサービス施設内行事

① 敬老週間

９月１０日（月）～９月１５日（金） 延べ５７名参加

期間中は特別プログラムを組む等、普段と違う雰囲気を出した。

１１日：音楽療法（敬老バージョン） １２日：日舞鑑賞

１３日：越中おわら節鑑賞 １４日：日舞鑑賞（別グループによる）

また、いきがいデイサービスをご利用の皆様へ、ご長寿のお祝いとしてフォトスタンドをプレゼントした。さらに期間中は行事食やねりきりのおやつで楽しんでもらった。

② 年忘れ会週間

１２月１７日（月）～１２月２１日（金） 延べ４９名参加

各日特別プログラムを実施した。

１７日：おだ幼稚園園児交流 １８日：音楽療法（クリスマスバージョン）

１９日：音楽塾リラの会合唱等鑑賞会 ２０日：職員によるお楽しみ会

２１日：オカリナ・シャンソン鑑賞会

期間中はクリスマスの飾りつけや行事食・おやつ（クリスマスケーキ）で雰囲気を味わっていただけたよう工夫した。

※ その他、希望により基本デイサービスの行事に参加。

※ 各活動におけるボランティア数は指定通所介護事業報告に計上。

3. 多摩市いきがいデイサービス全体の動き

- ・ 隔月に開催された多摩市デイサービス・いきがいデイサービス連絡会に参加し、市内にある各団体と情報交換を行った。

★ その他は、指定通所介護事業に同じ

【資料1】

平成19年度いきがいデイサービス月別統計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施日数	20	22	21	22	23	19	22	22	19	19	20	21	250
登録者	37	36	38	38	39	39	38	38	38	38	38	40	平均 38.08名
利用実人数	33	34	36	37	35	35	35	37	35	34	32	37	平均 35
利用延人数	193	229	212	241	214	192	237	251	196	192	180	235	2572
1日平均 人数	9.7	10.4	10.1	11.0	9.3	10.1	10.8	11.4	10.3	10.1	9	11.1	平均 10.2

【資料2】 月間スケジュール配布例

3月 いきがいデイサービス予定表

月	火	水	木	金
			1	2
★桜の開花状況でスケジュールが変更になることがあります★			製作	製作
5	6	7	8	9
レクリエーション体操	製作	裁縫	書道	書道 パッチワーク
12	13	14	15	16
ショッピング	音楽療法	裁縫	レクリエーション体操	ショッピング
		書道		
19	20	21	22	23
書道	レクリエーション体操	春分の日	絵手紙	音楽療法 パッチワーク
26	27	28	29	30
絵手紙 陶芸	絵手紙	絵手紙 陶芸	大正琴演奏会 陶芸	レクリエーション体操
	陶芸 書道			

平成19年度 白楽荘いきがいデイサービス アンケート集計結果

※意見、感想は原文のまま

アンケート期間 : 平成19年12月～20年1月
 登録利用者数 : 41名 回収35名
 アンケート方法 : 本人記入または職員による聞き取り

1 期待すること

友達をつくりたい	17
食事が楽しみ	19
身体を動かしたい	19
活動が楽しみ	13
会話が楽しみ	20
新しい体験がしたい	10
その他意見 「体操で十分」	

2 活動内容

① 良かった活動、継続希望

パッチワーク	8
陶芸	22
絵手紙	13
書道	13
裁縫	4
折り紙	10
工作	12
運動系ゲーム	8
カードゲーム等	4
音楽療法	5
レクリエーション体操	12
ショッピング	12
散歩	20
ドライブ	18
その他意見 パソコン1 お茶会2	

② やってみたい活動 「今迄人生体けん発表」 「このまま続けたい」「生花」

③ 材料費の負担について

負担無しを希望	4
負担可	21
意見 「ひどく高額でなければよいと思う」	

④ 負担してもよい金額

1000円程度	16
300円～500円	6
200円～300円	2

3 特別プログラム

① 良かったもの

A: 深大寺そば御膳昼食と神代植物園散策	17
B: 聖蹟桜ヶ丘旭鮎 お食事会	18
C: 敬老週間ベルブプラスバンド演奏会	4
D: 出張寿司と『男はつらいよ』映画鑑賞会	20

② 実費負担可能金額

A: 利用料の範囲内	4
B: 1000円～2000円未満	3
C: 2000円～3000円未満	15
D: 3000円～4000円未満	4
E: 4000円～5000円未満	3
F: 5000円以上	1

③ 今後の特別プログラムへの希望

「今まで通りで良」「別にありません。おまかせします」
「映画鑑賞会」「食事会」

4 食事・おやつ

① 通常の食事・おやつについて

満足	21
ほぼ満足	8
やや不満	0
不満	0

③ 行事食

満足	24
ほぼ満足	6
やや不満	0
不満	0

5 いきがいと介護予防

① 「いきがい」の利用効果

気分や体調が良くなった	21
あまり変わらない	9
悪くなったこともある	1

② 日常生活での健康状態は？

A:健康で心配はない	15
B:心配なことがある	8
具体的に:「腰痛」「足と腰が悪い」「歩行が困難になってきている」 「物忘れが多くなりました」「通風が時々ある」	

6 その他(職員の対応や活動内容)*原文のまま

「スタッフ方々心切ですね」

「大変満足しています」

「親切ていねいで有りがたい」

「大変よい」

「職員の方は、みなさんご親切で手のかかることでも、いやなかおもなならず、誠にてきぱきと対応なさって下さいます。同様の施設がたくさんあるなかで、ほんとによいデイ、サービスにお世話になることが出来たと、感謝しております。今後もきつとなにかとお手をわずらわせることが多くなっていくと思いますがどうぞよろしくおねがいたします。」

「皆様のご奉仕お気づかい感謝のみです」

「行届いて、友達が出来、会話が出来楽しみに参加してゐます」

「体調が悪い時は、体操がきつい時がある」

「楽しみにしてきている」

「通常のみで結構です。」

「大変すばらしい」

「利用者に対する接客態度と活動内容がいいので。これからもよろしく」

「特になし。満足している」

「皆様親切に身の廻りよく気をつけて下さいます。」

平成19年度 白楽荘在宅サービスセンター 事業報告書

訪問介護部門

1. 訪問介護事業概要

(1) 登録利用者数 (平成20年3月31日現在)

・介護予防訪問介護	9名	
・訪問介護	41名	合計 50名

(2) 動向

・新規 介護予防訪問介護	2名	
訪問介護	5名	合計 7名
・中止者	14名 (入院4名・入所5名・家族同居5名・死亡5名)	

(3) 職員体制 (平成20年3月31日現在)

・管理者	1名	
・サービス提供責任者	2名 (常勤 2名)	
・登録訪問介護員	17名 (女性 17名・男性 0名)	
資格:介護福祉士	4名	ヘルパー1級 2名 ヘルパー2級 11名

2. 運営状況

平成17年11月を境に訪問介護請求事業所数が訪問介護受給者数の伸びを上回ってきているという統計結果がでている。又18年度より介護保険のサービス内容の見直しが行われ、清掃、調理等の生活援助は原則として同居の家族がいる方は利用できず、又通院介助でも病院内の院内介助は介護保険の対象外となった。このような状況下では利用者の方は介護保険外(自費サービス)のサービスを利用せざるを得ない状況であり、自費サービス事業を実施している事業所が有利となっている。介護職員の離職率はマスコミでも報道されているとおりであるが、当法人のヘルパーの募集には19年度は1名も応募がない状況である。

このような厳しい環境の中であるが、介護保険の理念である利用者の自立支援に向けて訪問介護計画を作成し事業を行ってきた。

3. サービス提供状況

(1) 訪問介護計画について

- ・居宅サービス計画書を基に必要性や時間調整などを行い、自立支援に基づく具体的な訪問介護計画書を作成した。
- ・新規利用者については、事前面接とアセスメントを行いヘルパー派遣の計画を立てた。

(2) 予防訪問介護計画について

- ・利用者の体調に留意しながら残存機能の維持、向上を念頭におき計画を作成した。
- ・行える事がより一層増えるように予防訪問計画書を作成した。
- ・利用者の意欲を引き出す事が出来るように計画を立てた。

(3) 登録ヘルパー派遣業務について

- ・ケアマネジャーからの居宅サービス計画書を基に、登録ヘルパーを派遣し、計画に沿った援助を行なった。
- ・利用者のニーズに合わせケアマネジャーと連携をとり、担当者会議を行い、内容の見直しや訪問日・訪問時間の変更を行った。
- ・登録ヘルパーからの情報をケアマネジャーに連絡し、情報の共有化を図った。
- ・食欲不振時の利用者には栄養課に相談し、利用者に合わせた調理方法にするように心がけた。
- ・職員、登録ヘルパーの健康診断、インフルエンザの予防注射を行い職員の健康保持や利用者への感染予防を行った。

(4) 連絡調整

- ・利用者宅に「連絡ノート」を置き、利用者・家族・ヘルパー間での連携が密になるように調整した。
- ・利用者の体調変化等は早めに関係機関と連携をとることにより病気の予防、重篤化の防止に努めた。

(5) 苦情解決

- ・19年度は1件の苦情報告があった。「言葉の行き違い」からの苦情であったが言葉は心身の状況によって受け方がかわる。利用者は人生の先輩であり、お客様である。サービスマナーの徹底を図らなければならない。

(6) 介護事故・ヒヤリハット

- ・19年度は5件の事故が発生した。爪切り介助中の事故は痛みを訴える事はなかったが心身に傷を付けるような事故については十分に注意をするよう再発防止に取り組んでいく。

爪切り介助中の事故	1件
砂糖壺の破損	1件
利用料の請求ミス	1件
猫を柵から出したことによる事故	1件
訪問中に起きた転倒事故	1件

4. 年間の動向

- ・訪問介護の利用者から予防訪問介護に移行した人が3名
- ・予防訪問介護の利用者から訪問介護に移行した利用者が2名・新規予防訪問介護の利用者は2名であった。
- ・介護保険法第115条に基づく「介護サービス情報の公表」を行った。

5. ヘルパー研修

- ・外部研修の参加を呼びかけたが時間等の問題もあり、参加ゼロの研修が複数ある等参加率が大変低い。内部研修の実施等20年度の課題としたい。

(1) 登録ヘルパー向け外部研修

研修内容	研修日	出席人数
感染症予防研修（内部研修）	平成19年10月2	3名
「地域におけるホームヘルパーの役割」	平成20年2月1日	1名

(2) 多摩市健康福祉部介護保険課 ヘルパー部会（サービス提供責任者）

平成19年7月12日	1名
平成19年9月20日	1名
平成19年11月20日	1名

(3) 外部研修 出席状況

主催・研修名	日程	参加人数
多摩市介護保険事業者連絡協議会 『同居家族について』 情報交換会	平成19年5月18日	3名
多摩市健康福祉部介護保険課 認知症高齢者への支援の実際 『在宅における様々な工夫』	平成19年12月25日	2名
NPO法人 東京都介護福祉士会 『平成19年度介護福祉士現任研修』	平成20年1月13日	1名

6 実習生受け入れ

- ・実習生を受け入れてくれる家庭が年々減少し18年度は1軒のみになった。家庭内に他人を入れる事の拒否感も多くの人が抱いておりその結果とも言えるが、介護職員の育成の為にも20年度も受け入れ家庭を増やす努力をしていきたい。

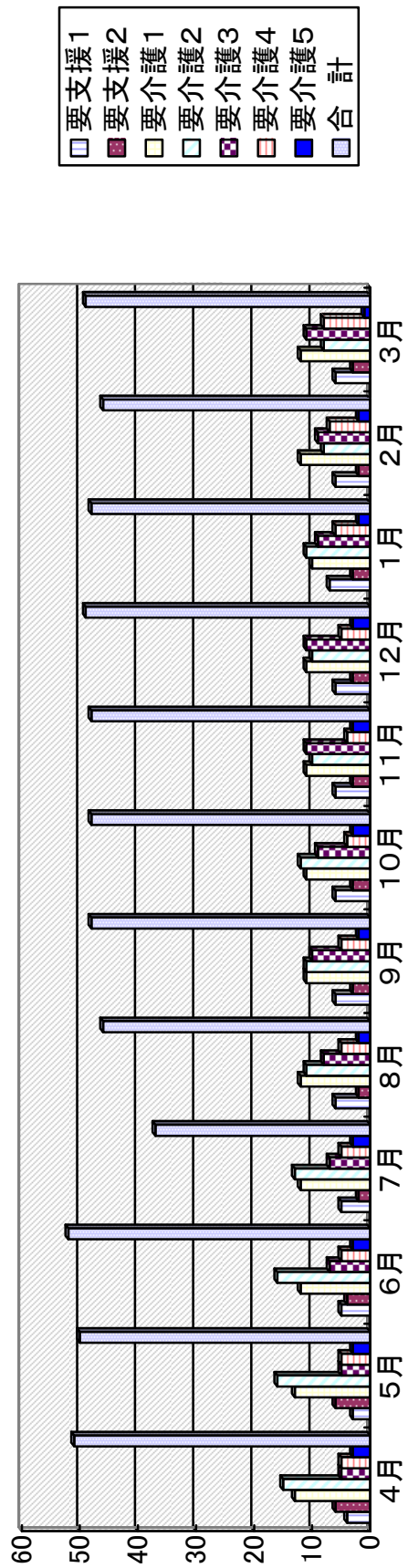
学校名	実習目的	人数	実習日数
都立八王子技術専門校	チームケア実習	8名	2日間

日本福祉教育専門学校	介護福祉士	3 名	1 日
町田福祉専門学校	介護福祉士	3 名	1 日
ベネッセコーポレーション	ヘルパー 2 級	22 名	1 日

7. 訪問介護 介護度別利用者数

H20年3月31日現在

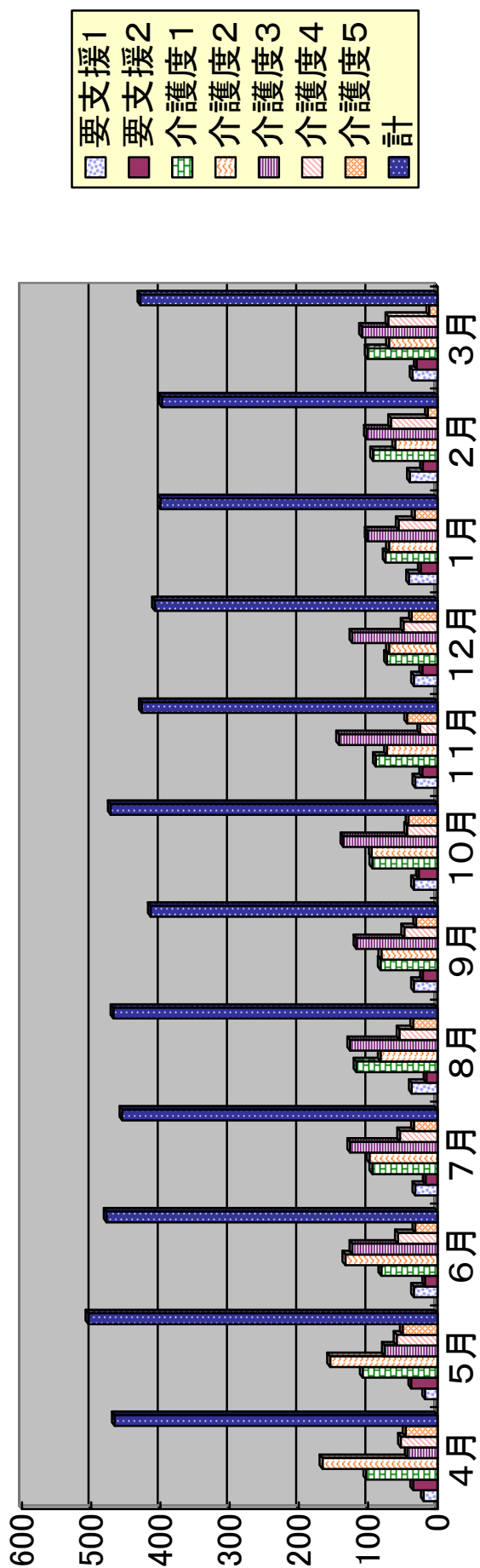
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要支援1	4	3	5	5	6	6	6	6	6	7	6	6
要支援2	6	6	4	2	2	3	3	3	3	3	2	3
要介護1	13	13	12	12	12	11	11	11	11	10	12	12
要介護2	15	16	16	13	11	11	12	10	10	11	8	8
要介護3	5	5	7	7	8	10	9	11	11	9	9	11
要介護4	5	5	5	5	5	5	4	4	5	6	7	8
要介護5	3	3	3	3	2	2	3	3	3	2	2	1
合 計	51	50	52	37	46	48	48	48	49	48	46	49



8. 訪問介護 介護度別のべ利用者数

平成20年3月31日現在

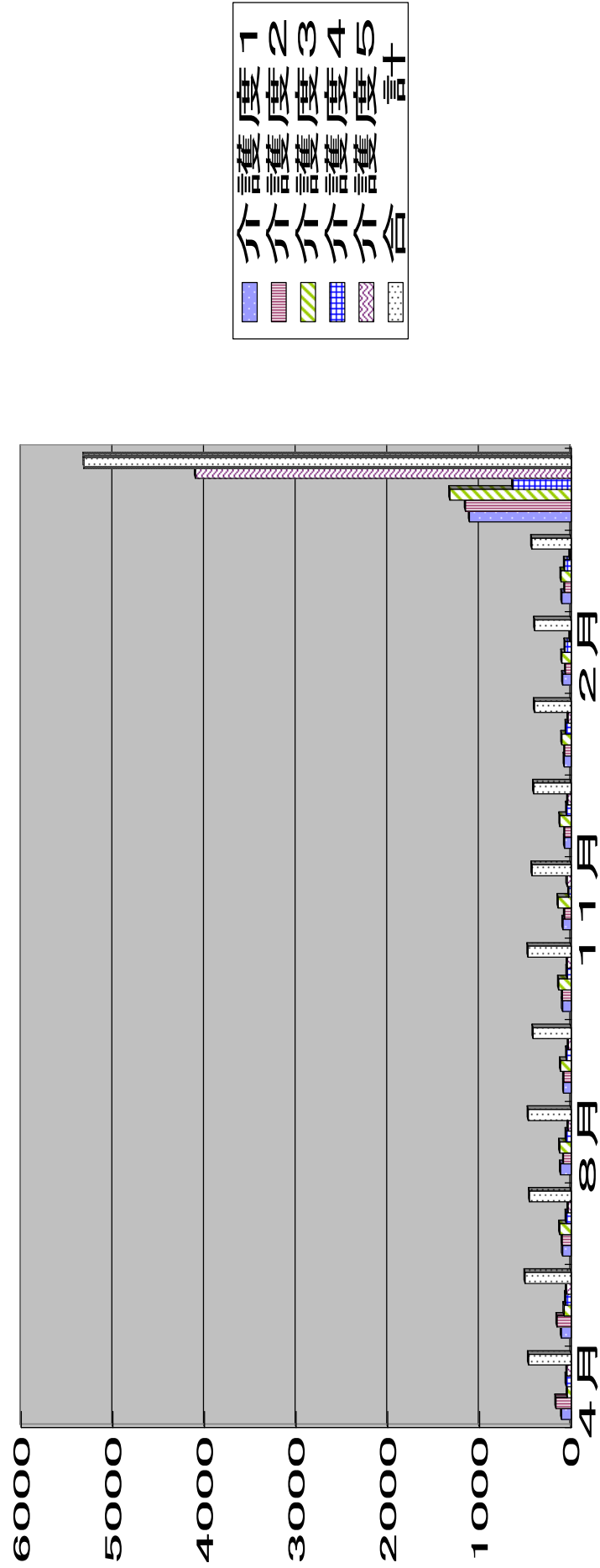
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(人)
要支援1	20	18	34	32	37	34	34	32	34	41	40	36	392
要支援2	35	38	18	17	16	21	27	22	22	24	21	30	291
介護度1	103	108	81	94	117	82	94	89	73	75	93	101	1110
介護度2	166	155	133	98	82	81	95	73	70	70	61	70	1154
介護度3	43	76	123	126	126	117	136	142	123	101	102	109	1324
介護度4	53	59	57	54	55	48	44	25	49	56	67	71	638
介護度5	46	50	32	34	35	31	42	44	37	33	14	12	4100
合 計	466	504	478	455	468	414	472	427	408	400	398	429	5319



8. 訪問介護 介護度別のべ利用者数

平成20年3月31日現在

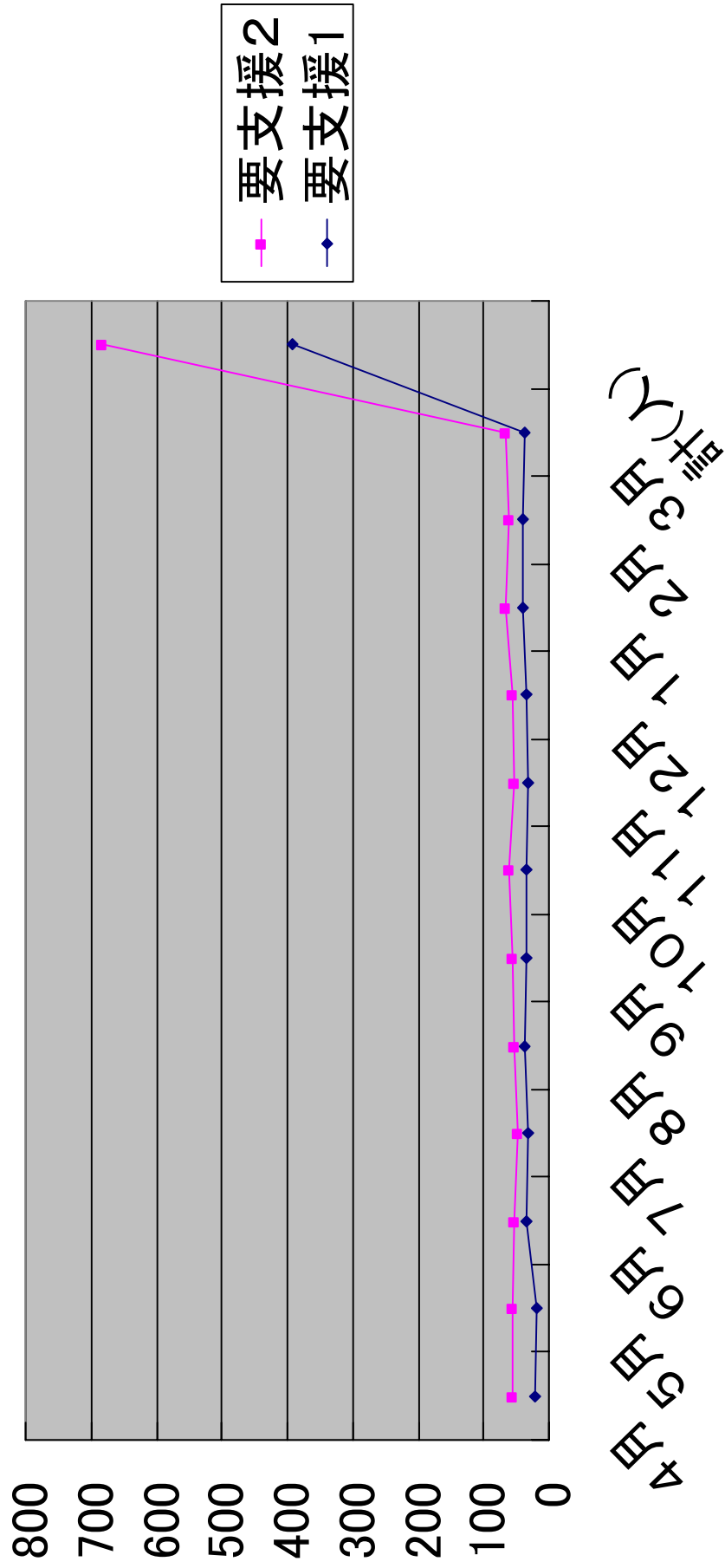
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(人)
介護度1	103	108	81	94	117	82	94	89	73	75	93	101	1110
介護度2	166	155	133	98	82	81	95	73	70	70	61	70	1154
介護度3	43	76	123	126	126	117	136	142	123	101	102	109	1324
介護度4	53	59	57	54	55	48	44	25	49	56	67	71	638
介護度5	46	50	32	34	35	31	42	44	37	33	14	12	4100
合 計	466	504	478	455	468	414	472	427	408	400	398	429	5319



9. 介護予防訪問介護 介護度別のべ利用者数

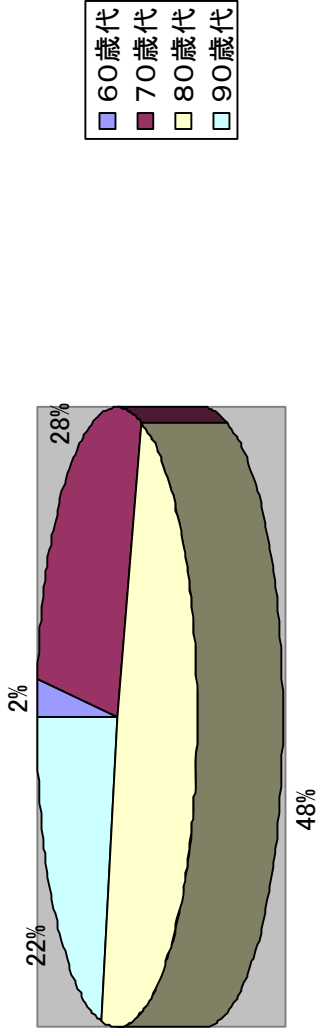
平成20年3月31日

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(人)
要支援1	20	18	34	32	37	34	34	32	34	41	40	36	392
要支援2	35	38	18	17	16	21	27	22	22	24	21	30	291



10・訪問介護・介護予防訪問介護 年代別利用者数 平成20年3月31日

	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	合計(人)
訪問介護 予防訪問介護	1	14	24	11	50



平成19年度 多摩市多摩センター地域包括支援センター事業報告

地域包括支援センターが設置されて2年目の平成19年度も昨年に引き続き、地域の介護予防、介護、一般福祉サービスの相談、また、高齢者虐待、成年後見制度などの相談、各関係機関との協働による地域ネットワークづくりなど、包括支援センターに求められる、保健福祉の総合相談窓口としての取り組み、また、地域の各種団体へのアプローチのなかでは、介護予防、認知症サポーター養成など、包括支援センターが管轄する地域との連携を深めることに取り組んだ。

1. 総合相談業務について

平成19年度も地域の総合相談窓口として、介護、福祉、保健などのあらゆる相談に対して対応をしている。相談者としては、対象者本人が最も多い。また、介護支援専門員からの相談に関しては、個別援助に関する相談が多く寄せられている。医療機関や関係機関からは、初めて介護保険を利用する、退院後の生活に不安があるなどの相談や社会福祉協議会からの連絡で相談が開始されるなどが多くあった。地域の民生委員や住民からの相談もあり、地域包括支援センターが管轄する地域とのつながりが少しずつではあるが構築されてきている。

月別相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規相談	15	20	22	20	16	10	14	11	10	15	17	10	180
年度初回相談	78	13	39	25	28	9	19	19	14	12	9	14	279
継続相談(延べ)	0	141	139	133	149	134	147	147	157	159	168	178	1652

月別相談者内訳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本人	97	125	111	108	105	89	119	130	110	97	101	120	1312
配偶者	38	50	47	59	54	50	54	65	61	42	28	40	588
子・孫・親族	51	52	50	57	47	45	42	51	58	57	68	78	656
介護支援専門員	23	33	31	29	33	23	23	20	16	14	28	29	302
医療機関	10	12	8	4	2	4	9	17	16	13	12	19	126
民生委員	4	2	3	8	0	3	3	1	0	0	1	0	25
地域住民	1	7	3	5	1	2	0	1	0	2	2	1	25
行政	6	13	5	14	10	5	4	8	16	7	15	18	121
関係機関	53	64	44	52	66	38	63	78	70	59	71	59	717
官公庁	3	1	0	3	0	0	0	0	0	0	3	1	11
その他	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	1	1	5

年間相談件数対象別

種別	件数
介護給付対象者	238
予防給付対象者	761
特定高齢者	39
一般高齢者	535
合計	1573

年間相談方法別

種別	件数
電話	671
来所	77
訪問	874
その他	235
計	1857

2. 介護予防支援給付管理について

介護予防支援給付管理数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
給付管理件数	53	57	54	60	61	62	63	60	63	66	61	64	724
(委託件数)	7	7	8	5	6	6	7	6	6	8	8	10	84

平成19年度も介護予防支援サービス計画の作成を行い、介護予防支援給付管理をおこなった。委託先居宅介護支援事業は9事業所であった。

予防サービス計画の作成にあたっては、アセスメントや担当者会議を経て、本人、家族の意向を取り入れた計画作りに努めた。また、3ヶ月に1度のモニタリング訪問を行い、サービス計画の目標達成状況や本人状況の変化について確認を行い、適時対応を行った。

平成19年度も予防給付対象者は増加傾向であり、今後もさらに増加していくことが予想されている。しかし、委託可能な居宅介護支援事業所は増加しておらず、包括支援センターでの給付管理件数が急激に増加した場合に、介護予防サービス計画の作成や給付管理業務が飽和状態になることが危惧される。

3. 介護予防事業について

予防マネジメント：介護予防一般高齢者事業としてイキイキ健康体操教室等の事業への働きかけや虚弱高齢者に対して、いきがいデイサービス・生活支援ヘルプ・食事サービス・一般福祉サービスに繋げるためのプラン作成やモニタリングを実施した。

特定高齢者事業：特定高齢者の判定基準改正に伴い、前年度に比べ包括に挙がってくる対象者は少なからず増加し、39名の方に地域包括支援センターから「総合型介護予防事業(全部アップ教室)」や「低栄養予防(楽笑栄養教室)」 「マシン筋トレ(元気アップ教室)」 「転倒予防(安心外出教室)」 「口腔機能向上(健口倶楽部)」といった各予防事業に向けてのアプローチを行った。しかし、事業の開催時期や場所との兼ね合い、生活機能評価が誕生月健診に合わせて行われているため、地域包括支援センターからのアプローチまでに時間がかかってしまったこと、介護予防についての認識が地域住民に浸透されていないこともあり、実際に事業に結びついた件数は少なかった。

4. 地域活動について

平成19年度も多摩センター地域包括支援センターが管轄する地域に積極的にかかわりを持つことで、住民への地域包括支援センターの周知活動、地域のネットワークづくり、また

健康維持や認知症についての啓蒙活動などについて取り組んだ。

平成19年多摩センター地域包括支援センター地域活動一覧

日時	会名	相談件数	内容
4／25（水）	さくらんぼの会	2件	個別ケース相談 新規サロン活動相談
5／8（火）	食事懇談会	5件	血圧測定
5／23（水）	さくらんぼの会	5件	介護予防教室案内配布と申し込み受付
6／3（日）	鶴牧管理組合 環の会	参加30人	介護予防教室
6／5（火）	落合3－3三々五々の会	10人	包括PR、社協
6／7（木）	鶴牧管理組合 環の会	15人	6／3の反省会等
6／7（木）	落合3－2体操教室	25名	イキイキ健康体操出張
6／14（木）	民生委員施設見学	18人	包括今年度予定説明 質疑応答
6／20（水）	多摩サポートセンターいち	10数名	包括案内・今後の活動打合せ
6／29（金）	NPO センター	3名	制度、活動案内等
7／5（木）	落合3－2体操教室	15名	イキイキ健康体操出張
7／10（火）	落合3－3三々五々の会	8名	新メンバー自己紹介 多摩手箱プランの話と社協、包括の 関係性について、多摩ラジオ中継、 70才以上の独居の方の見守りにつ いて等
7／17（火）	民生委員地区連絡会 落合商店街エリア	8名	包括活動方針確認と地域の現状課題 について
7／19（木）	民生委員地区連絡会 都営・団地エリア	8名	同上
7／20（金）	民生委員地区連絡会	12名	同上
8／2（木）	落合星寿会小宮会長打合	1名	今後の老人会との関わりについて
8／28（火）	環の会予防教室打合せ	1名	9／13脳トレについて企画
9／11（火）	トムハウス食事懇談会	6名	血圧測定3名、見守り活動3名
9／19（水）	落合星寿会地区連絡会	25名	包括案内
9／20（木）	鶴牧管理組合 環の会	10名	認知症予防教室
9／27（木）	山王下老人会	6名	包括案内、軽体操
10／6（土）	トムまつり	70名	脳トレ
10／9（火）	トムハウス食事懇談会	5名	血圧測定、その他相談
10／24（水）	さくらんぼの会	40名	認知症勉強会
10／31（水）	認知症サポーター養成講座	16名	トムハウス

11/13 (火)	高齢者食事懇談会	5名	血圧測定、見守り活動、その他相談 ※川原崎さん(包括協議会メンバー)
11/21 (水)	多摩サポートセンターいち	14名	認知症勉強会
11/28 (水)	さくらんぼの会	13名	血圧測定、見守り活動、その他相談
12/11 (火)	高齢者食事懇談会	4名	血圧測定、見守り活動、その他相談
12/19 (水)	さくらんぼの会	7名	血圧測定、見守り活動
12/20 (木)	落合3-3三々五々の会	10名	社協同席、今年度予定確認と反省会
1/12 (土)	ふらっと麻の葉	11名	認知症サポーター養成講座
1/23 (水)	さくらんぼの会	4名	血圧測定、介護相談等
1/23 (水)	ブリリアシニアの会	21名	包括支援センター案内
2/7 (木)	落合3-2体操教室	16名	介護予防講演会・防犯案内
2/12 (火)	高齢者食事懇談会	10名	血圧測定、見守り活動
2/12 (火)	落合3-2ふれあいサロン	40名	包括案内
2/13 (水)	多摩サポートセンターいち	30名	認知症サポーター養成講座
3/4 (火)	落合3-3三々五々の会	10名	介護予防教室
3/11 (火)	高齢者食事懇談会	7名	血圧測定・見守り活動
3/26 (水)	さくらんぼの会	9名	血圧測定・見守り活動

5. 高齢福祉課と多摩市内6地域包括支援センターとの協同

- 主任介護支援専門員の役割である包括的・継続的ケアマネジメント支援として、居宅介護支援事業所の介護支援専門員からの支援困難事例等への指導・助言に加え、多摩市の6地域包括支援センターの主任介護支援専門員が、多摩市高齢福祉課、多摩市医師会の協力を要請し、多摩市内の居宅介護支援事業所、医療機関、介護老人福祉施設、介護老人保険施設、グループホーム、軽費老人ホームなどの関係者を対象として「高齢者医療・福祉ネットワーク会議」を開催した。また、多摩市介護保険事業者連絡協議会に設置されているケアマネ部会への後方的支援として、2ヶ月に一度開催されるケアマネ部会に参加した。そこでは、部会役員と共に医療と福祉の連携を目指し取り組まれている「ケアマネタイム」を円滑に活用するための方策として「医師会との連絡調整」「医師との連絡用FAX」「関係機関在宅介護ノート」などの検討を行った。
- 「高齢者のこころのネットワークを結ぶ」ことをテーマに「介護予防の普及啓発」「認知症の普及啓発」「見守りネットワークの推進」の3つのテーマを設け、多摩市内6地域包括支援センターで横断的にチーム編成し、多摩市高齢福祉課と共に活動に取り組んだ。

平成19年度 白楽荘居宅介護支援事業所 事業報告

平成19年度の白楽荘居宅介護支援事業所は介護支援専門員4名体制にて居宅介護支援事業を行った。4名の介護支援専門員の内訳は以下のとおりである。

介護支援専門員の構成

職 種	人数(兼務人数)
介護福祉士	3(1)
社会福祉士	1
計	4(1)

居宅介護支援業務については、適切なアセスメントをとおして利用者様及びご家族のニーズを把握し、居宅介護サービス計画の作成を行った。

1. 居宅サービス計画作成に関する報告

以下に居宅サービス計画作成に関する集計を掲示する。

月別新規居宅介護計画作成依頼件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	2	3	4	2	2	2	1	1	1	3	2	3	26

平成19年度における白楽荘居宅介護支援事業所への居宅サービス計画作成依頼の新規件数は26件であった。新規依頼者の相談経路としては多摩市内の地域包括支援センターや近隣医療機関からの紹介、直接の依頼であるが、地域包括支援センターからの依頼には前年度から開始された介護予防支援で移行した要支援1・2認定者が再び要介護認定を受け、再移行するケースが増加している。

月別居宅介護計画作成件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	118	119	127	125	125	124	126	128	129	128	130	126	1505

平成19年度の居宅サービス計画作成件数（給付管理票作成件数）は1505件であった。前年度と比べて92件減少しているが、専従の介護支援専門員が1名減員となったため、介護支援専門員一人あたりの担当件数は上限である35件弱と前年度同様となっている。

月別居宅支援利用終了者件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	1	1	1	4	4	2	1	2	3	2	5	5	31

利用者終了理由内訳

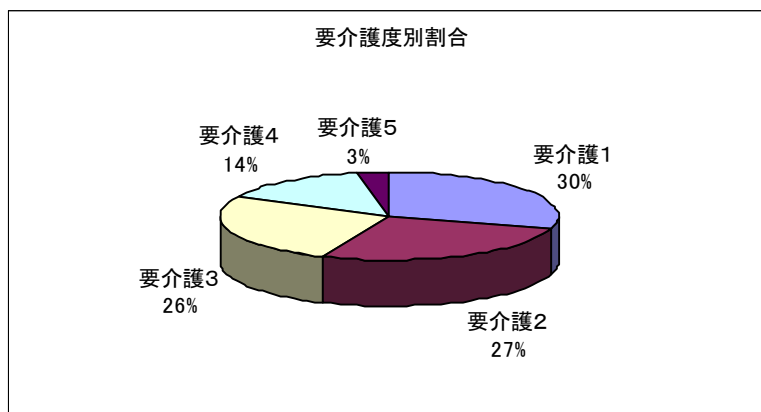
終了理由	件数
死亡	14
施設入所	9
要支援認定	5
居宅事業所変更	2
計	31

平成19年度の利用終了者数は31件であった。死亡するケースでは体調の悪化から医療機関に入院しそのまま死亡するケースが多くある中、在宅で終末を看取るケースも若干ではあるが増加している。介護保険制度においては在宅重視の方向性であるが、実際に要介護の高齢者を介護している家族は最終的には施設入所を希望するケースが依然として多く存在しており、特別養護老人ホームや老人保健施設などへの入所も前年度同様に多くあった。

平成19年度給付管理件数の内訳は以下のとおり。

要介護度別件数

介護度	延べ件数
要介護1	445
要介護2	405
要介護3	392
要介護4	215
要介護5	47
計	1504



保険者別年間利用者数

保険者	延べ件数
杉並区	6
八千代市	12
板橋区	12
八王子市	201
府中市	2
調布市	6
多摩市	1232
横浜市	22
川崎市	12
相模原市	1
計	1506

要介護度別では要介護1及び要介護2で全体の半数以上を占めていた。利用者の状態変化により、前年度より要介護3・要介護4の割合が増加している。

保険者別では多摩市が多数を占めている。八王子市は近隣の地区がほとんどであった。その他の保険者に関しては住民票上の保険者であり、実際には多摩市などの親族宅にてサービスを利用している。

【参考】

多摩市要介護(要支援)認定者数(H19年12月1日現在)

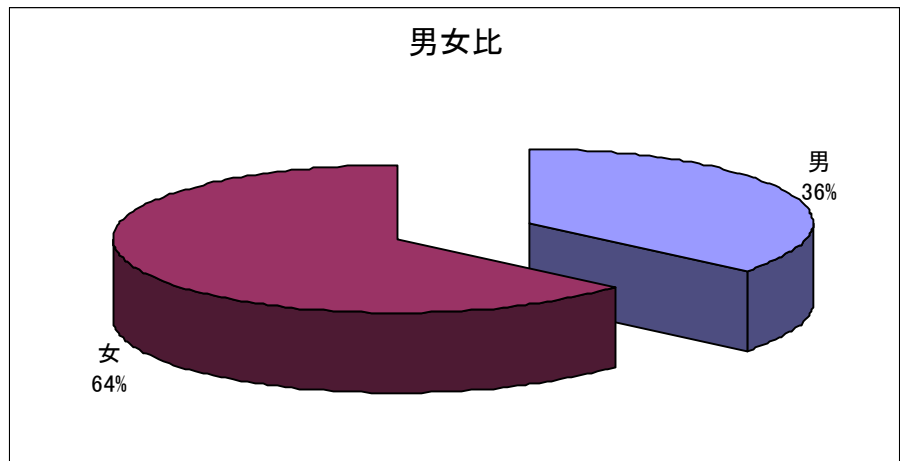
	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
認定者数	220	378	550	546	515	390	420	3019

(多摩市ホームページより)

平成19年度利用者の性別構成及び年代別構成は以下のとおり。

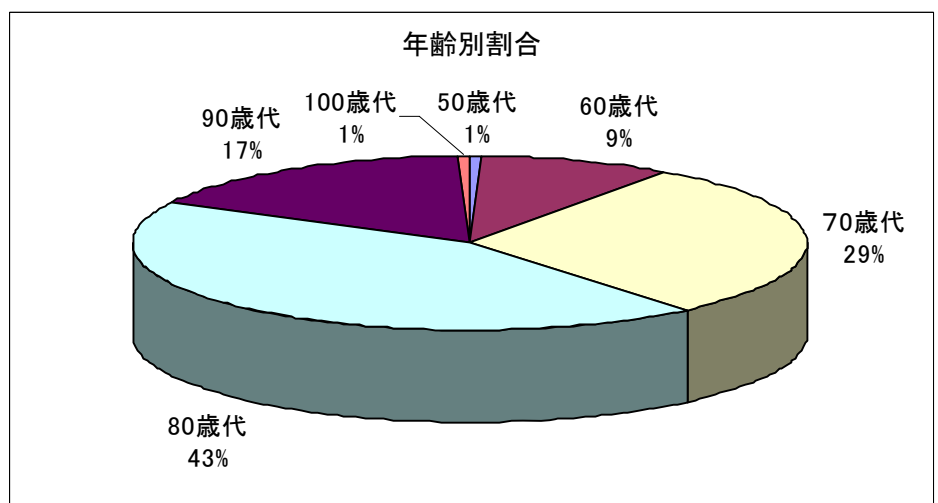
性別構成

男	71
女	125
計	196



年齢構成

50歳代	1
60歳代	18
70歳代	57
80歳代	86
90歳代	33
100歳代	1
計	196



2. 介護予防支援に関する報告

平成18年度から介護予防支援事業を行っているが、今年度の介護予防支援利用者は3名であった。地域包括支援センターより委託を受け、介護予防プランの作成を行った。3名の委託元である地域包括支援センターは以下のとおり。

- ・ 多摩市南部地域包括支援センター
- ・ 八王子市地域包括支援センター堀之内
- ・ 横浜市六ッ川地域ケアプラザ地域包括支援センター

3. 要介護認定調査に関する報告

平成19年度も多摩市など各保険者からの委託により在宅における要介護認定調査を行なった。

月別認定調査件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
調査件数	16	11	10	11	13	11	21	9	13	8	11	20	154

保険者別調査依頼件数

多摩市	142
横浜市	1
川口市	1
江戸川区	1
中野区	2
杉並区	5
北区	2
八王子市	0

介護認定調査依頼の大多数は要介護認定の更新に関する調査であったが、なかには各保険者が対応できない土曜日や休日などの新規認定調査の依頼に関しても行なうことがあった。また、東京都外からの認定調査依頼も数件あり、それらにも対応した。前年度11件あった八王子市からの認定調査依頼はなかった。

平成19年度 高齢者住宅あたごシルバーピア事業報告

(多摩市委託事業)

○ 対象住宅

シルバーピアあたご第1	18戸（内 夫婦世帯6） 24名 生活協力員（L S A）1名
シルバーピアあたご第2	15戸（内 夫婦世帯4） 19名 生活協力員（L S A）1名
シルバーピアあたご第3	42戸（内 夫婦世帯12） 54名 生活協力員（L S A）2名 内1名は通勤型

昨年度（平成18年度）の事業報告において、下のように記した。

身分的には毎年委嘱状を発行し、ピアの職員の仕事を任せてある格好だが、身分保障について疑義を呈される協力員もいらっしゃり、最初にピアの職員を委嘱した時と全く事情が変わってしまった方もいて、なかなか解決が難しい問題である。居住権などとの関係でよく分からないが、これからのピアがそれらの問題で実質的な効果をあげられなくなるのなら協力員を通いのタイプに変更した方がよいのではないか。

今年度は、この事案が本格的に表面化し、ピアのL S Aの一人が「自分は法人の正職員である」と主張し、主に金銭面での保障を平成11年まで遡って要求し簡易裁判所に調停を申した。それが不調に終わると、さらに本訴訟を起こし法人として現在（3月末を過ぎても）対応中である。ピアの事業は多摩市の委託事業であり、L S Aを募集する当初から多摩市はかかわっているので、本来三者は緊密な協力関係であらねばならない。しかし、平成19年度のこの件に対する多摩市の動きは決して法人として納得のいくものではなく残念な経過をたどった。新年度となり、体制も変わっていくので、当法人が社会福祉法人として本来の役割を果たせるように、新たな展開があることを期待しつつ平成19年度は終わりを迎えた。

平成 19 年 度

事 業 報 告 書

軽費老人ホーム

偕楽荘

平成19年度事業報告書

1 施設概要

- 1) 利用定員 50名
- 2) 利用者数 49名 (平成20年3月31日現在)
男 性 7名
女 性 42名
(利用者の状況;128ページ参照)
- 3) 待機者数 23名 (平成20年3月31日現在)
- 4) 職員数 9名(5)
施設長 1名 栄養士 1名
相談員 1名 調理員 0名(業務委託)
介護職 4名(3) 事務員 1名(1)
看護師 1名 医師 0名(1)
*()は非常勤職員の別掲
- 5) 敷地面積 5,440.25㎡
- 6) 建物面積 10,287.93㎡
- 7) 構 造 鉄筋コンクリート造 陸屋根8階地下1階付
(偕楽荘使用部分1階～3階)

2 施設運営の概況

平成19年7月1日に発出予定の「軽費老人ホームの設備及び運営に関する基準」についての省令は、行政からの説明も無いまま、昨年同様見通しの立たない情勢での1年間ではあったが、偕楽荘は社会福祉法人楽友会の事業運営の基本方針に基づき軽費老人ホームとしての役割を十分に認識し、利用者が安心して心身共に自立し健康で明るく楽しい日常生活が送れるよう、事業計画に基づき信頼と納得の得られる各種サービスの提供に努めた。以下の活動状況を報告します。

1) 福祉サービス第三者評価を受審

東京都が実施している「福祉サービス第三者評価」を今年度も受審した。
評価の結果は、介護予防支援体制、利用者の健康状態や要望を反映した食事サービスに高い評価を得ることができた。今後も利用者のサービス向上に職員一丸となって良質なサービスの提供に努めることとしたい。

2) 家族会を開催

9月9日に家族会を開催し、平成19年度「偕楽荘の事業計画」の実施状況と、利用者の現状について報告した。偕楽荘のあり方については厚生労働省の方針案が定まらない為、省令が発出された段階で改めて次回の家族会で説明し、ご理解とご協力を得る事とした。

3) 介護予防教室の実施

自立施設として健康で安全、安心な日常生活を過ごしていただくため、利用者の健康維持増進を考え昨年に引き続き今年度も日医大永山病院リハビリ室と委託契約を結び年4回介護予防教室を開催した。また介護予防体操を取り入れた活動を継続的に行い介護予防に取り組んだ。

3 利用者支援状況

1) 日常生活

年々加齢とともに心身の機能低下等により、自立した生活を維持することが困難となっている利用者が増えている。このような利用者の安全確保を最重要課題に、一人ひとりの現状を把握する為、保証人、本人と職員で三者面談を実施し支援の内容や対応などの相談を行い、ご理解を頂いた。

また、日常的に介護を必要とする利用者には、介護保険の仕組みや特別養護老人ホーム、老人保健施設等の情報を提供するとともに、介護保険のサービスの利用方法家族の係わりの必要性についても助言し、必要な支援を行った。
(要介護認定・サービス利用の状況;131ページ参照)

2) 食事

個人差の大きい嗜好面や味付け等は、各種調査の結果を参考に食事の提供に取り組んだ。

また、今年度は新たに治療食等にも考慮した食事の提供にも取り組んだ。

① 嗜好・残菜調査

- ・ 嗜好調査を行い「味付け・盛り付け」等の改善を図った。併せて「止め食調査」を行い、嗜好による代替食の提供など全体のレベルアップに取り組んだ。

② 昨年度より実施した朝食の選択制も好評を得ている。

③ 衛生管理

食中毒発生の予防・防止及びリスクの管理の為次の事に取り組んだ。

- ・ 調理時の温度管理の徹底
- ・ 喫食までの時間の短縮を図る。
- ・ 洗浄作業の徹底。野菜等の食品、食器・器具類取り扱い。

- ・ 納品時の温度チェック
 - ・ チェック表による、清掃状況の確認
- ③ 調理指導員による調理講習を行い厨房スタッフの技術の向上を継続して行った。
- ④ 相互支援協定
南多摩給食協会と南多摩保健所の協力により、近隣10福祉施設と食中毒発生時の相互支援協定を締結後に、食中毒発生時を考慮したシュミレーションも実施し支援体制の確認を行った。

3) 入浴

- ① 日曜日を除く毎日、午前10時30分から11時30分まで、13時30分から17時まで19時から20時30分の間自由に入浴出来るよう配慮した。
- ② 安全対策として複数での利用を勧め入浴中の事故発生の防止に取り組んだ。
- ③ 毎日の浴室清掃とレジオネラ検査の実施により衛生面の徹底を図った。

4) 保健・医療・介護予防

利用者の老化防止と健康維持のため以下の活動に取り組んだ。

- ① 毎日9時20分から、ラジオ体操と老人体操を組み合わせた健康体操を行い併せて健康状態のチェックを行った。
- ② 利用者連絡会等を通じ健康管理に関する身近なテーマの話題を提供した。更に栄養士・看護師が講師となり健康講座を開催。健康予防の観点からの講座を主に実施した。医療面では、施設内診療、年1回の定期健康診断、医療機関での誕生月健診及び毎週定期的に希望者には、血圧測定を行った。なお、インフルエンザ予防接種を希望する利用者に対しては全員実施した。
- ③ 通院同行、入院等に関する各種相談、援助等を行った。また、医療機関との連携を強化し受診しやすい体制の確保に努めた。
- ④ 日本医科大学多摩永山病院のリハビリ室と業務提携を行い、介護予防教室を年4回実施した。また、日常的に介護予防体操を行った。
(保健・医療・介護予防教室等実績表;135～137ページ参照)

5) 行事

利用者の生活を豊かな明るいものとするため、利用者の健康状態等を十分考慮し無理のない範囲で実施した。端午の節句会食会、ひな祭り会食会では、利用者全員で、外食を行い好評であった。外出行事は今後も積極的に実施していきたい。
(平成19年度年間行事実施状況;137～139ページ参照)

6) クラブ活動

利用者間の親睦を深め、利用者個々が生きがいを持って楽しく生活していただくため、

12のクラブ活動を行った。各クラブ活動の成果は、文化祭、各種季節の行事等に発表し好評を得た。

しかし、複数のクラブに参加する利用者がある一方、参加されない利用者が4割近くいる。このような利用者に対応するため、生活相談を通じて意向を把握し参加を呼びかけた。

また、カラオケ、マージャンをサークル活動として取り組んだ。職員も参加することで利用者の親睦と交流を図る一助となった。

(平成19年度クラブ活動実施状況;139～141ページ参照)

4 各種会議

施設運営の適正化と利用者サービスの向上を期するため、以下の会議を行った。

1) 職員会議

毎月1回、法人および施設業務全体の指示事項・連絡・協議のため、原則として職員全員参加のもとに開催し共有化を図った。

2) ケアワーカー会議

毎月1回、ケアワーカー業務の充実、方向性を確認するため、相談員、ケアワーカー等で協議検討し共有化を図った。

3) サービス検討会議

毎月1回、サービスの向上のため、相談員、ケアワーカー、看護師、栄養士で業務内容を点検し改善に取り組んだ。

4) 支援会議

毎月1回、利用者個々及び全体の支援について協議検討し情報の共有化を図った。

5) 給食会議

毎月1回、施設長、栄養士及び相談員、看護師、ケアワーカー、委託業者の担当責任者が参加して、献立、給食内容等の充実について協議検討し改善に取り組んだ。

6) 朝 会

前日の業務事項の申し送り、利用者の支援内容の報告、また、当日の業務予定等の確認および周知を図るため毎日実施した。

7) 利用者連絡会

毎月1回、全利用者と全職員が参加し、連絡事項の確認や情報交換を行った。連絡会の内容は、報告書を作成し全員に配布した。

8) 階別懇談会

毎月1回、身近な問題点や要望を聞くため、相談員、担当ケアワーカー及び、栄養士等が参加して階別に行った。懇談会の内容は、報告書にまとめ各階のロビーに掲示した。

9) 施設長との懇談会

利用者全員の意向、希望等について施設長と懇談するため、随時、開催し意見交換を行った。

5 職員研修

利用者支援及び、各職種毎に職務能力の向上のため、必要不可欠な研修には業務に支障ない限り積極的に参加した。

(平成 19 年度職員研修参加状況;141～142ページ参照)

6 災害対策

法人全体の総合防災訓練に積極的に参加するとともに、偕楽荘独自の防災訓練を毎月実施し不慮の災害に備えた。

地震時の夜間訓練を積極的に行い、少ない職員での対応方法など検討し訓練を行った。

また、優良防火対象物認定を多摩地区の老人ホームで1番早く取得し、積極的に安全対策に取り組んだ。

(平成 19 年度防災訓練等実施状況;142ページ参照)

平成19年度活動資料

1 利用者の状況 (平成20年3月31日現在)

1) 年齢別利用状況

単位：人

年齢	男	女	計
60～64	0	0	0
65～69	0	1	1
70～74	2	4	6
75～79	1	10	11
80～84	2	16	18
85～89	2	7	9
90～94	0	4	4
95歳以上	0	0	0
合 計	7	42	49
最年少者(歳)	72	69	69
最高齢者(歳)	88	94	94
平均年齢(歳)	80.1	81.5	80.8

2) 入荘前居住地の状況

単位：人

居住地	男	女	計
多摩市	2	19	21
八王子市	3	5	8
三鷹市	0	2	2
府中市	0	0	0
町田市	0	6	6
東村山市	1	0	1
調布市	0	1	1
日野市	0	1	1
稲城市	0	1	1
市部計	6	35	41
区部計	1	7	8
合 計	7	42	49

3) 在荘期間

単位：人

区 分	男	女	計
1年未満	0	5	5
1年以上 2年未満	2	6	8
2年以上 3年未満	1	4	5
3年以上 4年未満	1	3	4
4年以上 5年未満	0	3	3
5年以上 10年未満	3	11	14
10年以上 15年未満	0	6	6
15年以上	0	4	4
合 計	7	42	49

4) 平成 19 年度入退荘状況

入荘者

単位：人

月	自宅		施設		病院		その他		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	
4 月									
5 月									
6 月									
7 月									
8 月									
9 月		1							1
10 月		1							1
11 月									
12 月									
1 月									
2 月									
3 月									
合計		2							2

退荘者

単位：人

月	特養・老健		入院		死亡		家庭復帰		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	
4 月									
5 月									
6 月									
7 月									
8 月	1			1					2
9 月									
10 月									
11 月									
12 月									
1 月									
2 月									
3 月		1							1
合計	1	1		1					3

5) 平成19年度介護事故報告書

【事故件数】 8件

番号	当事者	場所	事故発生場所・経緯・状況	対応・処置
1	81歳 女性	4階 玄関	買物帰り、施設前に駐車してあった車に軽くぶつかり転倒。	救急車要請。看護師同行。 CT異常なし。
2	93歳 女性	2階 ディルーム	入浴に来た途中、他利用者が置いていたシルバーカーにつまずき転倒。	相談員同行整形外科受診。 打撲、湿布薬処方。
3	79歳 女性	食堂	食事時、職員がお茶を片付けようとした時にぶつかり左前腕にお茶がかかった。	軟膏塗布。 2日後、火傷跡消失。
4	77歳 女性	食堂	食事外膳時、他利用者のシルバーカーが後ろからぶつかり転倒しそうになった。	シルバーカーの取り扱いを検討。
5	73歳 女性	4階 玄関付近	飲酒後ふらつきあるままゴミ捨てに行き、近道をしようと段差を降りたところ、転落。	整形外科受診、左前腕亀裂骨折。
6	91歳 女性 (要介護2)	居室	衣装箆箆一番上の引出しを開けようと引っ張った時、箆箆ごと倒れてきた。	整形外科受診。異状無。消毒・湿布薬処方。
7	85歳 女性 (要支援1)	居室	深夜居室内で転倒し、左顔面打ち内出血、義歯が壊れた。	脳外受診。CT異常なし。 後日受診後、頭に水が溜まっており入院。
8	82歳 女性 (要介護2)	居室	干してある洗濯物を回転イスに乗って取ろうとして転倒。	救急車要請。整形外科受診、大腿骨頸部骨折、入院。

6) 平成19年度サービス推進費加算対象者数

単位：人

加算の種類	対 象 月												合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
重度者加算	6	7	7	8	8	8	8	8	8	8	8	8	92
通院同行加算	2	0	1	0	0	2	0	0	1	2	0	0	8
介護予防加算	38	37	37	35	36	36	36	35	37	36	36	36	435

- * 重度者加算：要支援、要介護非該当者であり、かつ、継続的な援護を要する方。
- * 通院同行加算：要支援、要介護非該当者であり、かつ、継続的な援護を要する方で、医師の診断に基づき医療機関への通院が必要な方。
- * 介護予防加算：介護予防計画に基づく支援を実施した方。要介護認定者を除く。

7) 要介護認定の状況（平成20年3月31日現在）

単位：人

性別	要支援1	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男	1						1
女	1	2	2				5
計	2	2	2				6

8) 介護保険サービス利用状況（平成20年3月31日現在）

単位：人

サービスの内容	男	女	計
家事援助	1	3	4
デイサービス	0	0	0
福祉用具	0	0	0

9) 医療保険の状況（平成20年3月31日現在）

単位：人

国民健康保険	社会保険（家族）	退職者医療	老人医療（福）	障害者医療
45	4	1	1	3
老人医療も併用	老人医療も併用	退職者	国保併用	医療費免除

10) 年金受給状況 (平成20年3月31日現在)

単位:人

種 類	男	女	計
厚生年金	6	25	31
国民年金		20	20
遺族年金		18	18
共済年金	1	3	4
企業年金	1	7	8
恩 給		3	3
その他の収入		9	9

* 重複受給者あり

11) 平成19年度家族交流等

面会回数

単位:人

回 数	利用者数	回 数	利用者数
な し	5	26～30回	1
1～5回	29	31～35回	1
6～10回	7	36～40回	0
11～15回	4	41～50回	1
16～20回	2	51回以上	1
21～25回	1	合 計	52

外泊回数

単位:人

回 数	な し	1～5回	6～10回	11～15回	15回以上	合 計
利用者数	1	32	2	3	3	52

2 給食実施状況

1) 年間供給量

平成19年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
エネルギー (Kcal)	1884	1706	1728	1799	1753	1710	1721	1736	1780	1824	1641	1683	1747
蛋白質 (g)	82.6	74.6	74.8	78.2	75.8	71.9	72.5	73.9	75.8	81.5	68.8	71.7	75.2
脂 質 (g)	56.5	48.4	52.7	51.8	48.9	49.9	50.4	51.9	54.7	52.1	49.5	49.3	51.3
カルシウム (mg)	700	632	669	643	632	605	617	669	663	691	589	619	644
鉄 (mg)	11.2	9.7	9.9	10.2	9.5	9.4	9.6	10.2	10	10	9.6	9.6	9.9
ビタミンA (IU)	2588	2360	2905	2493	2488	2321	2198	2412	2402	2561	2.037	2260	2249
ビタミンB1 (μ g)	1.21	1.07	1.01	1.17	1.09	1.08	1.01	1.03	1.09	1.12	1	1.01	1.07
ビタミンB2 (μ g)	1.34	1.24	1.24	1.29	1.25	1.16	1.2	1.22	1.22	1.28	1.14	1.24	1.24
ビタミンC (mg)	131	114	115	111	116	109	110	119	116	118	104	112	115
塩 分 (g)	11.7	10.2	10.8	11.0	10.8	9.7	10.5	10.0	10.4	10.5	9.5	9.5	10.4

年間供給量	エネルギー	蛋白質	脂質	カルシウム	V.A	VB1	VB2	VC	塩分
基準値	1628	56.8	40	600	2000	1	1.1	100	10
実績率%	107%	132%	128%	107%	112%	107%	112%	115%	104%
18年度比%	97%	97%	97%	98%	66%	97%	100%	97%	97%

今年度より、利用者 ADL の低下に伴い食事供給量の少しづつ見直を行った。

2) 行事・特別食

19.04.04	特 別 食	桜おこわ・お刺身(マグロ・真鯛)・天麩羅(うど・たらの芽・アスパラ・南瓜)・酢味噌和え(ほたるいか・わけぎ・わかめ)・茶碗蒸(ほき・むき海老・三つ葉)清まし汁(生麩・菜花)・ゼリー
19.06.08	特 別 食	御飯・鮎の塩焼き・煮物盛り合わせ(里芋・蓮根・筍・ふき・生麩)・茶碗蒸し(赤板・笹身・三つ葉)・清まし汁(花麩・白髪ねぎ)・フルーツ(びわ)
19.08.08	特 別 食	赤飯・夏野菜の天麩羅(アスパラ・南瓜・茄子・海老・キス)・石川芋の田楽・茶碗蒸し(ささ身・三つ葉・赤板)・酢の物(若布・鰻・胡瓜・みょうが)野菜碗・フルーツのコンポート
19.09.11	敬 老 会	握り寿司・天麩羅(きす・春菊・椎茸・みょうが)・秋刀魚の有馬煮・秋の盛り合わせ(栗の甘露煮・銀杏・生麩)・茶碗蒸(くり・鶏肉・赤板)・清まし汁(素麺・生麩・むきえび)・
19.10.03	特 別 食	松茸御飯・お刺身(まぐろ・帆立貝)・精進揚げ(おくら・茄子・薩摩芋・アスパラ)・空きの盛り合わせ(栗・銀杏・他)・菊花と青菜のお浸し・茶碗蒸(笹身・三つ葉・赤板)・清まし汁(松茸・すだち)・フルーツ(巨峰)
19.12.05	特 別 食	鉄火丼・山芋の白煮(山芋・生麩・椎茸)・百合根と蒟蒻の胡麻味噌和え(ゆりね・板蒟蒻・法連草)・茶碗蒸(笹身・銀杏・赤板・三つ葉)・清まし汁(生麩・みずかけな)・フルーツ(洋ナシ)
20.01.01	新年祝賀会	お雑煮・お刺身(まぐろ・真鯛・甘えび)・おせち料理(柚子釜・栗金団・黒豆・海老の塩焼き・数の子・西京焼き・のし鶏・海老しんじょう・鱧のけんちん焼き)・煮物(くわい・蓮根・生麩・絹さや・椎茸・筍・里芋)・茶碗蒸(鶏肉・赤板・三つ葉)
20.02.08	特 別 食	御飯・海鮮鍋(真鯛・帆立貝・車海老・白菜・大根・法連草・椎茸・くずきり)・五色なます(大根・菊のり・人参・胡瓜・油揚げ)・茶碗蒸(百合根・赤板・しめじ)・甘納豆のみつ豆・糠漬け

提供食の実績

	腎臓食	減塩食	キザミ食
4月	1		
5月	2		
6月	2		
7月	3		
8月	3		
9月	3	1	
10月	3	1	
11月	3	1	
12月	3	1	
1月	3	1	
2月	3	1	
3月	2	2	1

利用者のADLに合わせた食事の提供に取り組み、今年度より治療食も導入して施設での充実した生活が出来る様にした。

3 平成19年度保健・医療・介護予防等実績表

1) 荘内診療等の状況

単位：人

	診 察	投 薬	検 査	注 射	処 置
4月	60	60	13		2
5月	42	42	20		1
6月	35	35	20	3	1
7月	40	40	4		
8月	36	36	30	1	3
9月	45	45	6		1
10月	33	33	8		
11月	40	40	6	41	2
12月	41	41	6		1
1月	42	42	3		
2月	35	35	8		4
3月	40	40	3		5

2) 外部受診状況

単位:人

内科	外科(脳下)	整形外科	眼科	歯科	精神科
456	4(7)	180	65	117	28

耳鼻科	皮膚科	泌尿器科	合計	年間入院者数	治療食者数
4	7	7	875	16	4

3) 障害者手帳交付状況

単位:人

障 害 区 分		男	女	合計
肢体不自由	3級以上		1	1
	3級以下		2	2
視覚障害	3級以上			
	3級以下			
聴覚障害	3級以上			
	3級以下		1	1
その他	3級以上	1	3	4
	3級以下			

4) 健康講座等実施状況

月	健康講座	その他	職員検診等
4月	毎日の快適な生活のために		
5月		介護予防教室	
6月	メタボリックシンドロームについて		
7月	脱水の原因と予防について		
8月		介護予防教室	
10月	インフルエンザの予防		成人病健康診断
11月		インフルエンザワクチン 43名	インフルエンザワクチン

		介護予防教室	12名
12月	音楽療法		
3月	転倒予防について	介護予防教室 (2月)	検 便 (赤 痢 菌)

＊ 健康相談は随時実施した。

5) 介護予防教室

月	内 容	参加人数
5月	グループ別活動	18名
8月	体力測定	23名
11月	筋力測定	23名
2月	個別面談	20名

※介護予防体操は随時実施

4 平成19年度年間行事実施状況

日 時	行 事 名	場 所	参加者数	内 容
3月30日	観桜会	桜ヶ丘記念館	12名	近所の大塚公園に散歩しおはぎを食べる予定であったが、あいにくの雨天のため、バスハイクで桜ヶ丘記念館に行き、雲の切れ間に外に出て散策をする事が出来た。
4月27日	端午の節句会	三笠会館	46名	公共機関を利用しての外出の機会を設け給食では味合う事の出来ない鉄板焼きで節句を祝った。弱者対応には施設車で送迎を行った。
5月30日	春の小旅行	①小金井公園とサントリールビール工場見学コース	13名	小金井公園では、昭和初期の街並みが再現されており、懐かしい風景を観賞した。また、午後はビール工場に行き、ビールが出来るまでの工程や試飲など楽しい一時を過ごした。
6月12日		②薬師池花	20名	近隣の薬師池公園に出かけお茶と

6 月 14 日		しょうぶ観賞コース ③多摩テック温泉コース	6 名	お団子を頂きながら花しょうぶを観賞した。お天気にも恵まれ弱者対応であったが大勢参加され楽しい一時を過ごした。 多摩テックの温泉、クアガーデンにて温泉に入り日頃の疲れを癒し、昼食に中華料理を食べた。少人数であったため、時間的にもゆとりのあるコースとなった。
7 月 6 日	七夕祭り	食堂	全員	折り紙を折り、短冊に願いを託した笹飾りを食堂と各フロアーに飾った。当日は、バイキング形式の食事のほかにバーベキューを提供。焼きたての料理を楽しんでいただいた。食後はカラオケを行い夏の気分を満喫した。
7 月 26 日	納涼会	4 階正面玄関前	全員	法人主催で実施した。例年通り愛宕太鼓同好会やボランティアの踊りがあり盛況に行われた。偕楽荘でも当日に向けて練習をしてきた盆踊りを皆さんに披露した。地元の皆さんやご家族の皆さんの協力があり会場も模擬店も好評でした。
9 月 9 日	敬老の日長寿を祝う会	4 階多目的ホール・偕楽荘食堂	全員	法人主催で開催した。 来賓の祝辞に続いて、90歳以上の長寿者、88歳の米寿を迎えられた方々へ花束の贈呈を行った後、ボランティアによる踊りや歌を楽しんだ。偕楽荘では、昼食にお寿司を提供しご家族と一緒に長寿を祝った。午後は、家族会を開催し現状の説明と情報交換を行った。

10月10日	日帰り旅行	鎌倉散策・江ノ島水族館	29名	鎌倉小町通りを散策後、鎌倉プリンスホテルで昼食、午後は江ノ島水族館とイルカショーを楽しんで頂き、ドライブしながら帰路に着く。
11月9日 10日	文化祭	偕楽荘 3階 フロアー及び食堂	全員	3階フロアーと食堂を利用し各クラブ作品や共同作品、個人の趣味活動の作品を多数展示し日頃の活動を発表した。FM多摩の生放送の取材もあり2日間大勢の方の来場を得賑やかな作品展となった。
12月20日	クリスマス忘年会	食堂	全員	19年最後の行事で、クラブの練習成果や個人の歌声を披露した。最後に退職する非常勤職員の出し物で盛り上がり、1年の締めくくりとなった。
1月1日	新年祝賀会	食堂	全員	新年を迎えた慶び祝膳を囲み、1年のご健康とご多幸を祈念した。
2月3日	節分	食堂・各居室	全員	年女5名の方に節分衣装を着け、昼食後食堂及び各居室を回って鬼打ち豆を行い、今年1年の健康を祈願し厄払いをした。
3月3日	ひな祭り会 食会		全員	外部での会食会を実施した。全員外出の機会を設け和風庭園を眺めながら美味しい懐石弁当を頂き利用者間の親睦を深めた。

5 平成19年度クラブ活動実施報告

クラブ名	部員	活 動 内 容
書道	4名	毎月2回、第2、第4木曜日にボランティア講師の指導のもとに活動した。敬老会、文化祭、デイルームに自分の作品を展示するのを楽しみにしていて、日々の練習に励んだ。
絵手紙	11名	17年度からサークル活動よりクラブ活動に発展させ、月1回ボランティア講師指導のもと活動した。四季折々のテーマと画材を取り入れて実施している。文化祭に練習の成果を展示した。

さわやか体操	10名	毎月2回第2第4月曜日ボランティア講師の指導のもとに活動した。ストレッチ体操を基本にリズム体操を取入れ楽しく続けられる様工夫している。		
手芸	3名	毎月2回ボランティア講師の指導のもと活動した。今年度も文化祭や、デイルームに袋物、小物入れを作り展示した。		
コーラス	12名	ボランティア講師の指導のもとに、毎月第2、4水曜日に活動を開始し部員も増員、意欲的に活動を行った。楽しく歌える曲や懐かしい唱歌の練習を行いクリスマス会には合唱し好評を得た。		
邦楽	4名	毎月2回第2第4月曜日ボランティア講師の指導のもとに琴曲を練習した。クリスマス忘年会では利用者の皆さんが知っている曲を演奏し全員で合唱した。		
自彊術	5名	毎月2回第1、第3火曜日にボランティア講師の指導のもと活動した。各自それぞれのペースで無理のないよう体を動かしている。少人数ではあるが、毎回元気に活動した。		
民踊	10名	毎月2回ボランティア講師の指導のもと練習を行った。納涼祭で東京音頭などの盆踊りを、新年会では南部盆歌を披露し、日頃の練習の成果を発表した。		
道端の花の会	5名	毎月1回、多摩市緑化相談員の指導により、歩道脇の花壇に季節の草花を植え成長を楽しんだ。クラブで育てた季節の草花を行事で生けたり、また写真に撮り各階のデイルームに掲示する。		
俳句	7名	毎月2回第1、第3月曜日ボランティア講師の指導のもと活動した。講師より出された兼題を基に句会で作品を発表した。毎回講師の仲間も参加され地域との交流の場になっている。		
シネマ	全員	毎月1回邦画中心に実施。今年度はヒット作が多く、好評でした。		
		上 映 作 品 一 覧		
		回数	上映日	参加人数
		1	4月10日	10名
		2	5月15日	9名
		3	6月22日	7名
		4	7月10日	8名
		5	8月13日	10名
		6	9月14日	9名

	7	10月23日	同胞	8名
	8	12月15日	鉄道員	12名
	9	1月8日	天まであがれ	10名
	10	2月15日	眉山	15名
	11	3月19日	武士の一分	9名

6 平成19年度職員研修参加状況

管理者研修	施設長研修 全国軽費老人ホーム協議会 (厚労省老人福祉局情勢報告)	: 1名
	高齢者福祉施設部会軽費分科会 (東社協)	: 1名
	高齢者の心理 (全軽協関東ブロック会)	: 1名
相談員研修	高齢者施設福祉部会・相談員研修 (東社協)	
	相談員ワークショップ研修他	: 1名
	高齢者の心理と記録のとりかた (全軽協)	: 1名
	福祉職員職務階層別研修「指導的職員」(都福祉人材センター)	: 1名
	アクトイブ 東京 07 (東社協)	: 1名
ワーカー研修	社会福祉事業従事者人権研修(都福祉保健局)	: 1名
	福祉職員職務階層別研修「中堅職員」(都福祉人材センター)	: 1名
	高齢者の心理と記録のとりかた (全軽協)	: 1名
	全国老人福祉施設大会 (老施協)	: 1名
	介護職員における記録に関する研修 (東社協)	: 2名
	チームケアワークショップ研修 (東社協)	: 1名
	関東ブロック老人福祉施設研究総会 (老施協)	: 1名
	全国老人福祉施設大会 (老施協)	: 1名
	アクトイブ 東京 07 (東社協)	: 1名
看護師研修	都感染症対策指導者養成研修 (都福祉保健局)	: 1名
	新任看護職員研修会 (東社協)	: 1名
	高齢者福祉施設等における感染症予防対策研修 (南多摩保健所)	: 1名
	機能訓練指導員研修委員会研修 (東社協)	: 1名
栄養士研修	特定給食施設栄養管理研修他 (南多摩保健所)	: 1名

全国福祉栄養士協議会研修（東社協）	： 1 名
ノロウィルス食中毒対策衛生講習(都福祉保健局)	： 1 名
自治指導員講習会（多摩稲城食品衛生協会）	： 1 名
事務員研修 社会福祉法人・施設決算実務研修（東社協）	： 1 名
介護保険制度改正対応（全社協）	： 1 名
事務職員研修会（東社協）	： 1 名
労基法等研修会（東社協）	： 1 名

7 平成19年度防災訓練等実施状況

実施期日	内 容	場 所	備 考
4月24日	避難訓練	1階対象	地震時の避難訓練（夜間想定）
5月29日	避難訓練	2階対象	地震時の避難訓練（夜間想定）
6月26日	避難訓練	3階対象	避難訓練、役割確認
7月5日	避難訓練	3階厨房	優良防火対象物認定訓練
8月31日	避難訓練	2階多目的室	避難訓練、役割確認
9月25日	避難訓練	1階西側倉庫	避難訓練、役割確認
10月30日	避難訓練	3階医務室	避難訓練、通報訓練
11月13日	総合防災訓練	5階西側（配膳室）	全員の避難訓練 消防署長より講評
12月25日	ビデオ訓練	3階食堂	「実践、地震予防について」を学習
1月29日	避難訓練	1階ゲストルーム	避難訓練、通報訓練
2月26日	避難訓練	2階多目的室	避難訓練、通報訓練
3月25日	避難訓練	2階ワーカー室	全員の避難訓練

